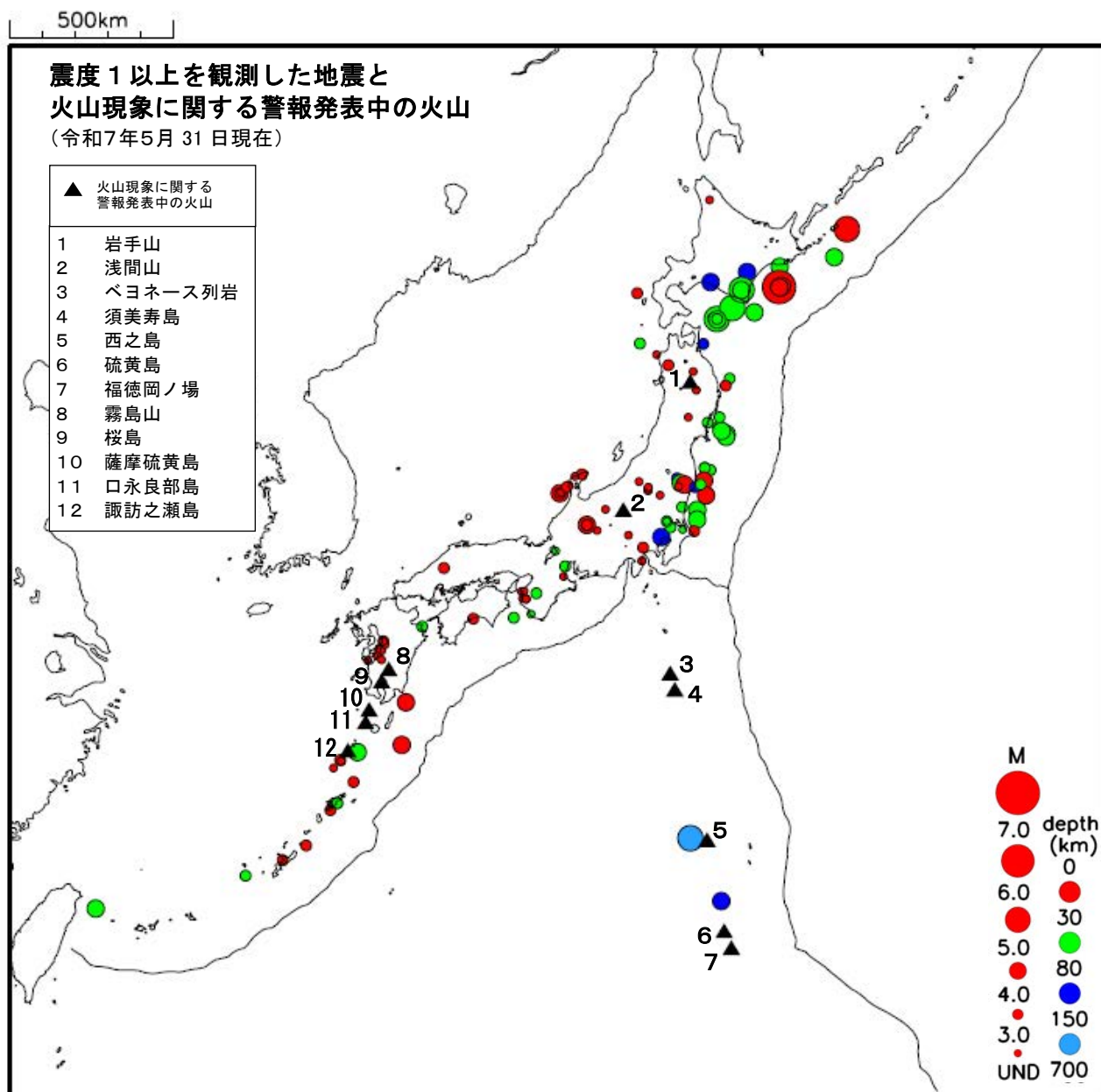


令和7年5月 地震・火山月報(防災編)

Monthly Report on Earthquakes and Volcanoes in Japan

May 2025



気 象 庁

Japan Meteorological Agency

令和7年5月 地震・火山月報（防災編）

※ 本資料中のデータについて

気象庁では、平成9年11月10日より、国・地方公共団体及び住民が一体となった緊急防災対応の迅速かつ円滑な実施に資するため、気象庁の震度計の観測データに合わせて地方公共団体*及び国立研究開発法人防災科学技術研究所から提供されたものも震度情報として発表している。

また、気象庁では、地震防災対策特別措置法の趣旨に沿って、平成9年10月1日より、大学や国立研究開発法人防災科学技術研究所等の関係機関から地震観測データの提供を受け**、文部科学省と協力してこれを整理し、整理結果等を、同法に基づいて設置された地震調査研究推進本部地震調査委員会に提供するとともに、気象業務の一環として防災情報として適宜発表する等活用している。

注* 令和7年6月3日現在：北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県、札幌市（北海道）、千葉市（千葉県）、横浜市（神奈川県）、川崎市（神奈川県）、相模原市（神奈川県）、名古屋市（愛知県）、京都市（京都府）の47都道府県、7政令指定都市。

注** 令和7年6月3日現在：国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成している。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、EarthScope Consortiumの観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成している。

※ 本資料中の図について

本資料中の地図は、『数値地図25000（行政界・海岸線）』（国土地理院）を加工して作成した。

また、一部の図版作成にはGMT(Generic Mapping Tool [Wessel, P., and W.H.F. Smith, New, improved version of Generic Mapping Tools released, *EOS Trans. Amer. Geophys. U.*, vol. 79 (47), pp. 579, 1998]) を使用した。

※ 本資料利用上の注意

・資料中の語句について

M：マグニチュード（通常、揺れの最大振幅から推定した気象庁マグニチュードだが、気象庁CMT解のモーメントマグニチュードの場合がある。）

Mw：モーメントマグニチュード（特にことわりがない限り、気象庁CMT解のモーメントマグニチュードを表す。）

depth：深さ（km）

UND：マグニチュードの決まらない地震が含まれていることを意味する。

N= xx, yy/ZZ：図中表示している地震の回数を表す（通常図の右上に示してある）。ZZは回数の総数を表し、xx, yyは期間別に表示色を変更している場合に、期間毎の回数を表す。

・発震機構解について

発震機構解の図は下半球投影である。また、特にことわりがない限り、P波初動による発震機構解である。初動発震機構解が求められない場合や、十分な精度が得られない場合には、初動発震機構解に替えてCMT解を掲載する場合がある。なお、CMT解はベストダブルカップル解を示す。

・発震機構解の図中の語句について

P：P軸（圧力軸） T：T軸（張力軸） N：N軸（中立軸）

・Global CMT 解について

Global CMT 解は、米国のコロンビア大学とハーバード大学で行っている、世界で発生した規模の大きな地震のCMT解を求めるプロジェクト（Global CMT Project）により求められた解である。

・M-T図について

縦軸にマグニチュード（M）、横軸に時間（T）を表示した図で、地震活動の経過を見るために用いる。

・震央地名について

本資料での震央地名は、原則として情報発表時に使用したものをを用いるが、震央を精査した結果により、情報発表時とは異なる震央地名を用いる場合がある。なお、情報発表時の震央地名及びその領域については、各年の「地震・火山月報（防災編）」1月号の付録「地震・火山月報（防災編）で用いる震央地名」を参照のこと。

・震源と震央について

震源とは地震の発生原因である地球内部の岩石の破壊が開始した点であり、震源の真上の地点を震央という。

・地震の震源要素等について

2016年4月1日以降の震源では、Mの小さな地震は、自動処理による震源を表示している場合がある。自動処理による震源は、震源誤差の大きなものが表示されることがある。

2020年9月以降に発生した地震を含む図については、2020年8月以前までに発生した地震のみによる図と比較して、日本海溝海底地震津波観測網（S-net）や紀伊水道沖の地震・津波観測監視システム（DONET2）による海域観測網の観測データの活用、震源計算処理における海域速度構造の導入及び標高を考慮した震源決定等それまでのデータ処理方法との違いにより、震源の位置や決定数に見かけ上の変化がみられることがある。

震源の深さを「CMT解による」とした場合は、気象庁CMT解のセントロイドの深さをを用いている。

地震の震源要素、発震機構解、震度データ等は、再調査後、修正することがある。確定した値、算出方法については地震月報（カタログ編）[気象庁ホームページ：<https://www.data.jma.go.jp/egev/data/bulletin/index.html>]に掲載する。

なお、本誌で使用している震源位置・マグニチュードは世界測地系（Japanese Geodetic Datum 2000）に基づいて計算したものである。

・火山の活動解説の火山性地震回数等について

火山性地震や火山性微動の回数等は、再調査後、修正することがある。確定した値については、火山月報（カタログ編）[気象庁ホームページ：https://www.data.jma.go.jp/vois/data/filing/bulletin/index_vcatalog.html]に掲載する。

目次

● 日本及びその周辺での主な地震活動	1
北海道地方の地震活動	6
東北地方の地震活動	12
最近の日本海溝・千島海溝周辺の地震活動	15
関東・中部地方の地震活動	16
近畿・中国・四国地方の地震活動	20
九州地方の地震活動	21
沖縄地方の地震活動	22
その他の地域の地震活動	24
● 南海トラフ周辺の地殻活動	25
● 日本の主な火山活動	28
北海道地方の火山活動	40
東北地方の火山活動	42
関東・中部地方及び伊豆・小笠原諸島の火山活動	44
近畿・中国・四国地方の火山活動	48
九州地方の火山活動	49
沖縄地方の火山活動	53
火山現象に関する特別警報、警報、予報及び情報等の発表履歴	54
● 世界の主な地震	56
● 世界の主な火山活動	58
● 付録	
1. 震度1以上を観測した地震の表	59
2. 過去1年間に震度1以上を観測した地震の最大震度別の月別回数	75
3. 日本及びその周辺におけるマグニチュード（M）別の月別地震回数	76
4. 長周期地震動階級1以上を観測した地震	77
5. 緊急地震速報の提供状況	78

● 日本及びその周辺での主な地震活動

2025 05 01 00:00 -- 2025 05 31 24:00

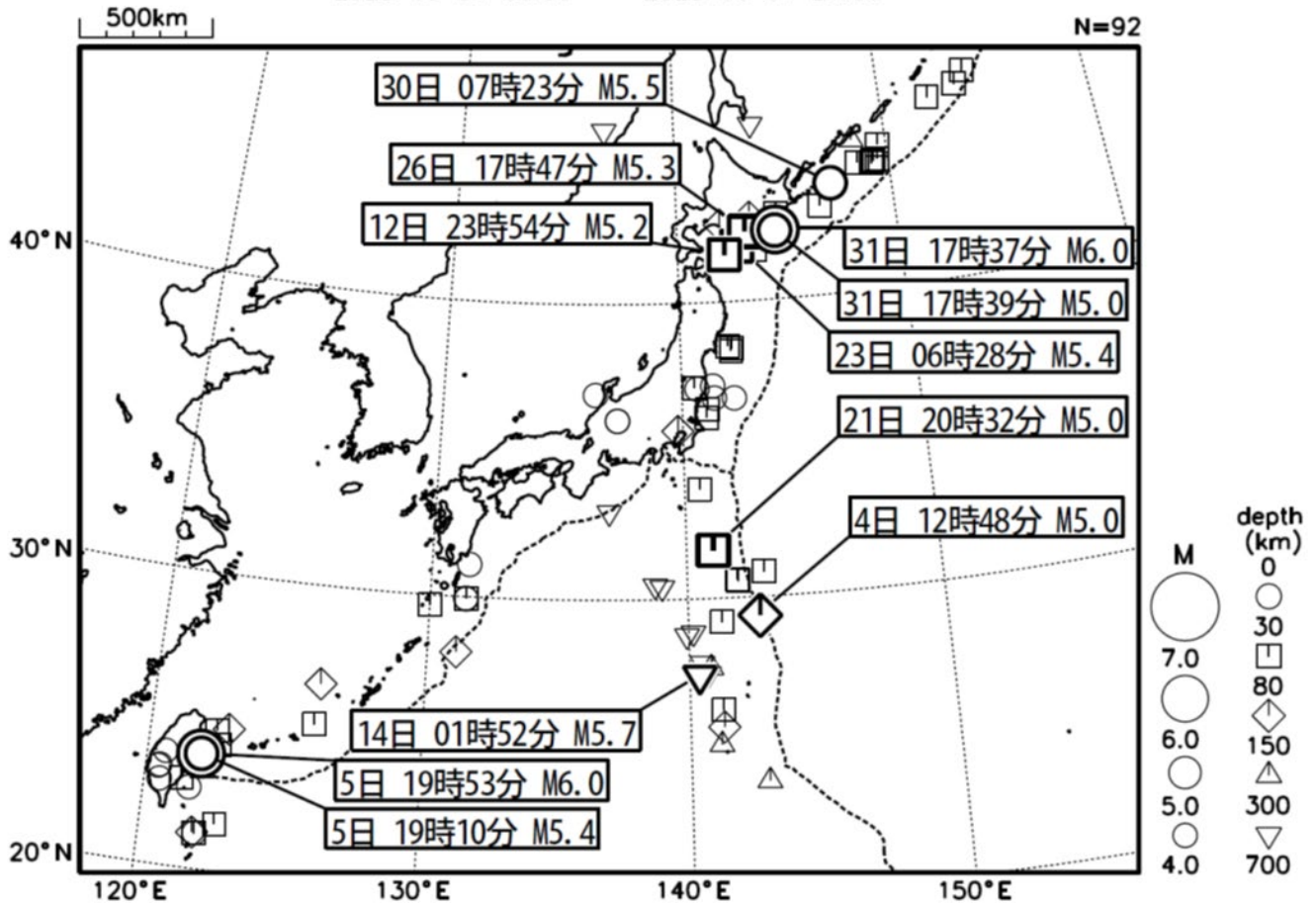


図1 令和7年5月に日本及びその周辺で発生したM4.0以上の地震の震央分布図

（図中に日時分、マグニチュードを付した地震はM5.0以上の地震、またはM4.0以上で最大震度5弱以上を観測した地震である。）

令和7年（2025年）5月に日本国内で震度4以上を観測した地震は5回（4月も5回）、日本及びその周辺で発生したM4.0以上の地震の回数は92回（4月は91回）であった（図1）。

5月中に発生した主な地震を表1、震度1以上を観測した地震の震央を図2、M4.0以上の地震の震央を図3、震度4以上を観測した地震の震度分布図を図4に示す。5月中に震度5弱以上を観測した地震及び津波を観測した地震はなかった（4月は震度5弱以上を観測した地震は1回、津波を観測した地震はなかった）。

令和7年5月 地震・火山月報（防災編）

表1 令和7年5月に日本及びその周辺で発生した主な地震（注1）（注2）（注3）

No.	震源時 月 日 時 分	震央地名	M	Mw (注4)	M H S T (注5)	最大震度・被害状況等（注6）	掲載 ページ
1	5 5 19 53	台湾付近	6.0	5.7	M . . .	日本国内で震度1以上を観測した地点はなし	23
2	5 12 23 54	青森県東方沖（注7）	5.2	5.4		3 : 北海道 函館市泊町＊ 青森県 階上町道仏＊ 東通村砂子又沢内＊	13
3	5 13 10 37	福島県中通り	4.6	4.5		3 : 福島県 郡山市朝日 茨城県 大小町池田＊ 栃木県 大田原市湯津上＊ など3県29地点	14
4	5 15 22 5	十勝地方中部	4.7	4.7	. . S .	4 : 北海道 浦幌町桜町＊	4、7
5	5 23 6 28	浦河沖	5.4	5.5	. . S .	4 : 北海道 浦河町潮見 浦河町築地＊ 様似町栄町＊	4、8
6	5 26 17 47	十勝地方南部	5.3	5.4	. . S .	4 : 北海道 浦河町潮見 浦河町築地＊	4、9
7	5 29 15 28	岐阜県飛騨地方（注8）	4.5	—	. . S .	4 : 岐阜県 高山市消防署＊ 高山市朝日町＊	4、19
	5 29 15 29		4.5	—	. . S .		
8	5 30 7 23	北海道東方沖	5.5	5.4		3 : 北海道 根室市落石東＊	10
9	5 31 17 37	釧路沖（注8）	6.0	6.1	M . S .	4 : 北海道 えりも町目黒＊ 浦幌町桜町＊ など1道6地点 津波予報（若干の海面変動）を北海道に発表 （17時37分の地震に対して発表）	5、11
	5 31 17 39		5.0	—	. . S .		
10		「令和6年能登半島地震」の地震活動				「令和6年能登半島地震」の地震活動 5月中に震度1以上を観測した地震が8回（震度3：1回、震度2：1回、震度1：6回）	17、18

- （注1）主な地震とは、図1の領域内で発生した①M6.0以上、②震度4以上、③内陸 M4.5以上かつ震度3、④海域 M5.0以上かつ震度3、⑤その他注目した地震を指す。
- （注2）震源時、震央地名、マグニチュードは再調査後、修正することがある。
- （注3）空欄については、複数の地震による活動のため、記載していない場合がある。
- （注4）Mw欄の「—」はMwが求められていないことを示す。
- （注5）M H S Tの各項目について、M:M6.0以上の地震、H:被害を伴った地震、S:震度4以上を観測した地震、T:津波を観測した地震、として該当項目にそれぞれの記号を記した。
- （注6）最大震度の観測点名にある＊印は地方公共団体もしくは国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点であることを表す。被害状況について出典の記載がないものは総務省消防庁による。
- （注7）情報発表に用いた震央地名は「浦河沖」である。
- （注8）これら二つの地震は、ほぼ同時刻に、ほぼ同規模の地震が発生しており、震度の分離ができない。

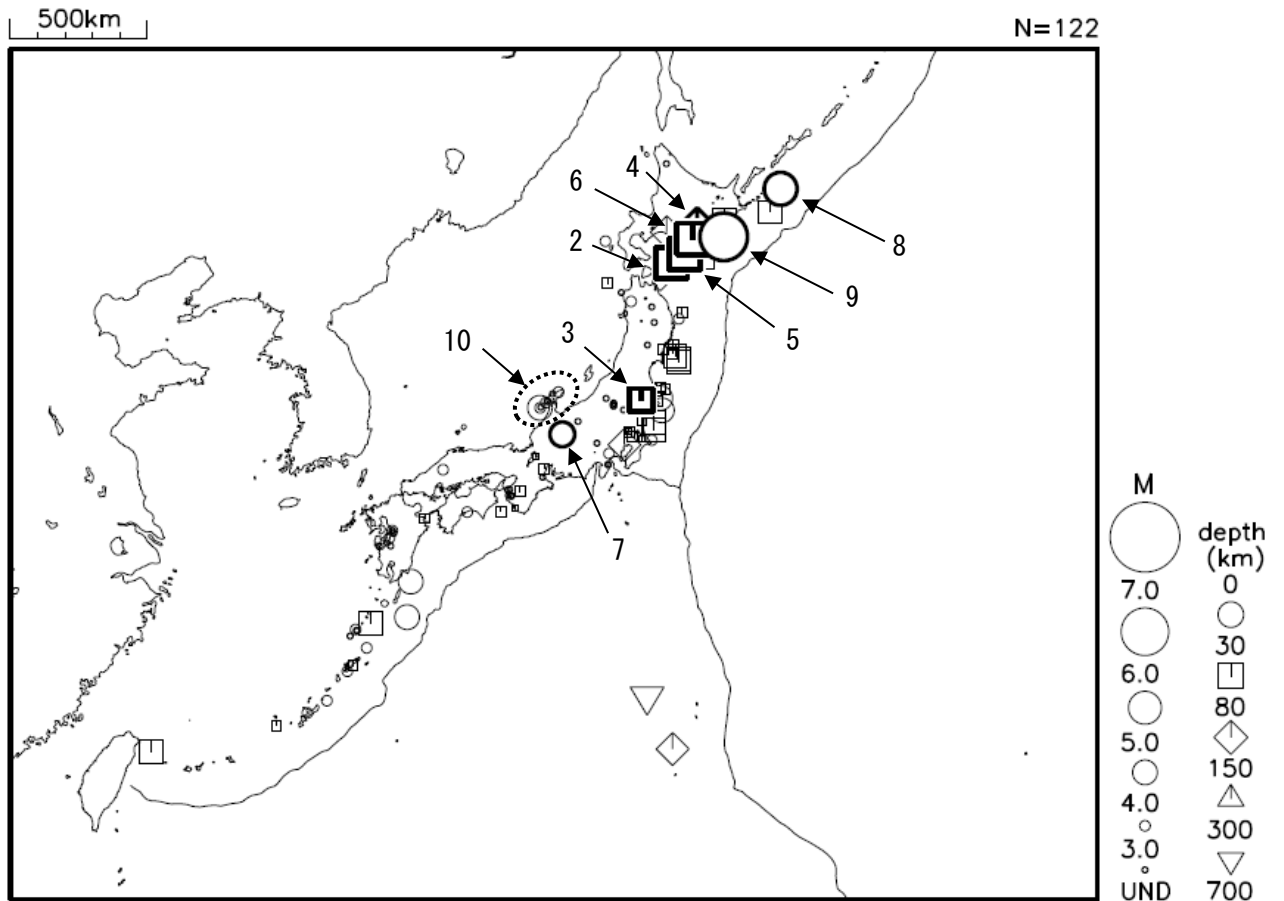


図2 令和7年5月に震度1以上を観測した地震（図中の番号は、表の番号に対応）

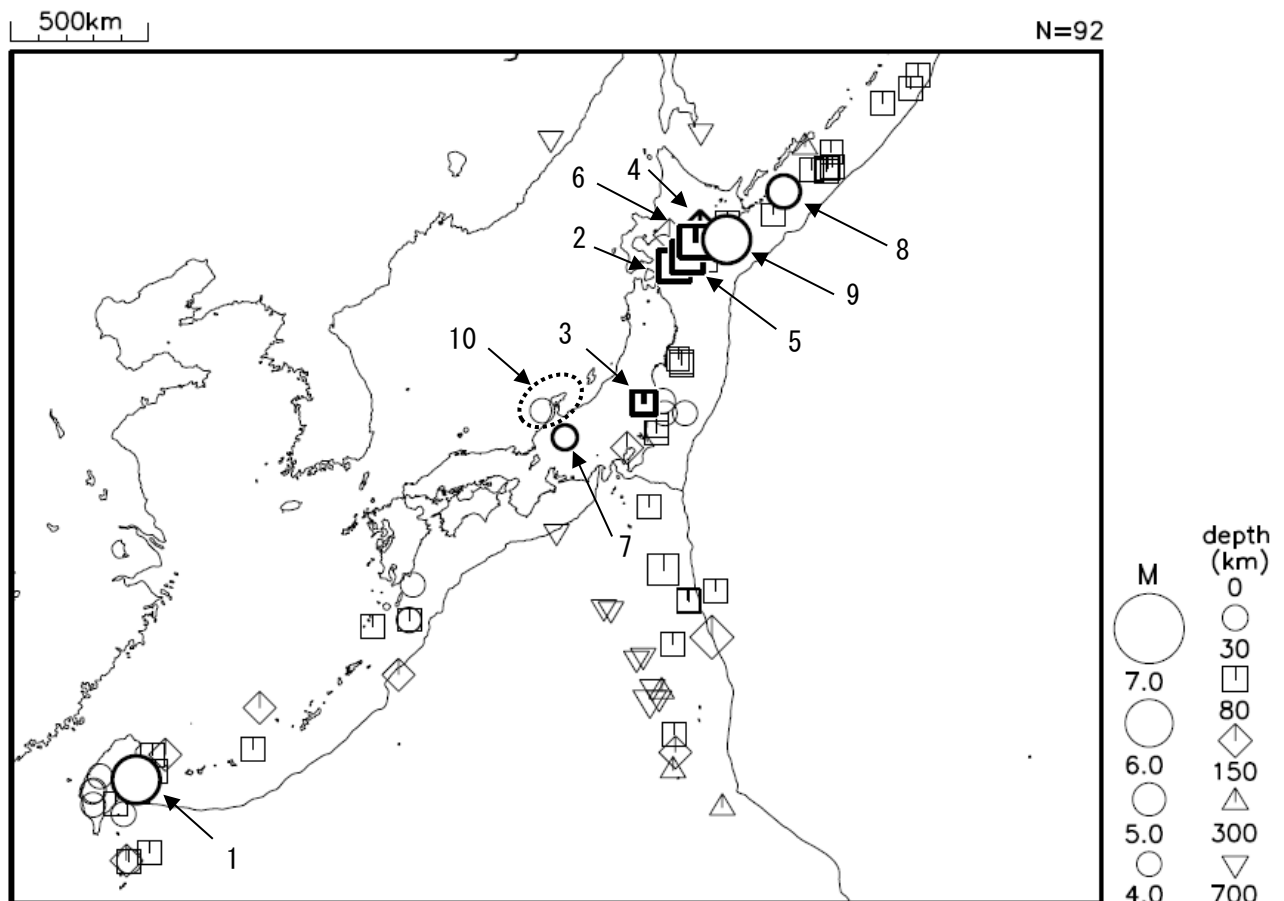
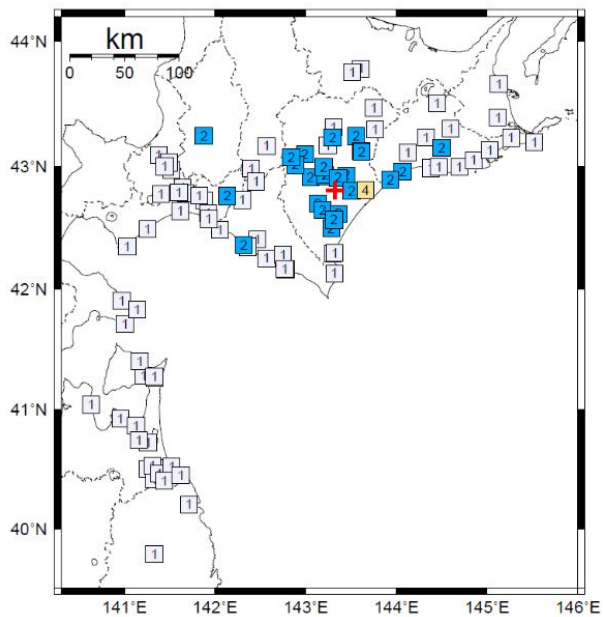


図3 令和7年5月に発生したM4.0以上の地震（図中の番号は、表の番号に対応）

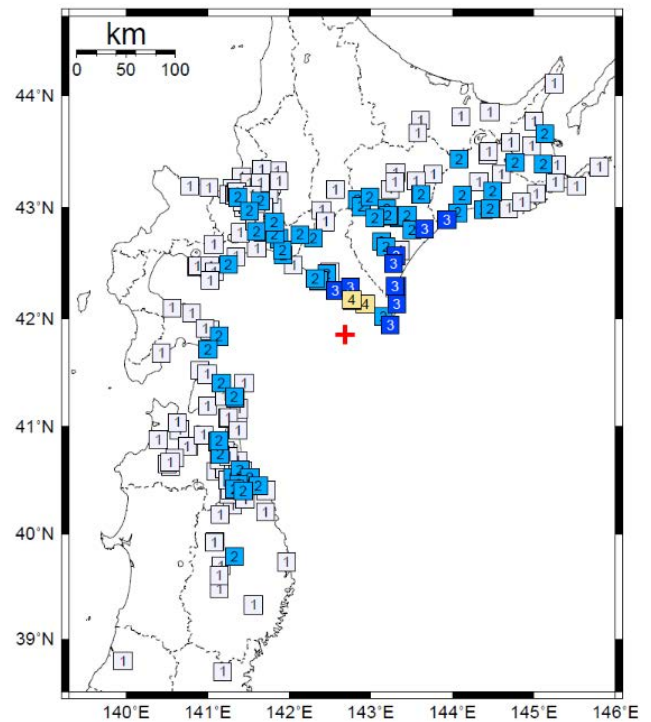
4

5月15日22時05分 十勝地方中部
(M4.7、深さ95km、最大震度4)



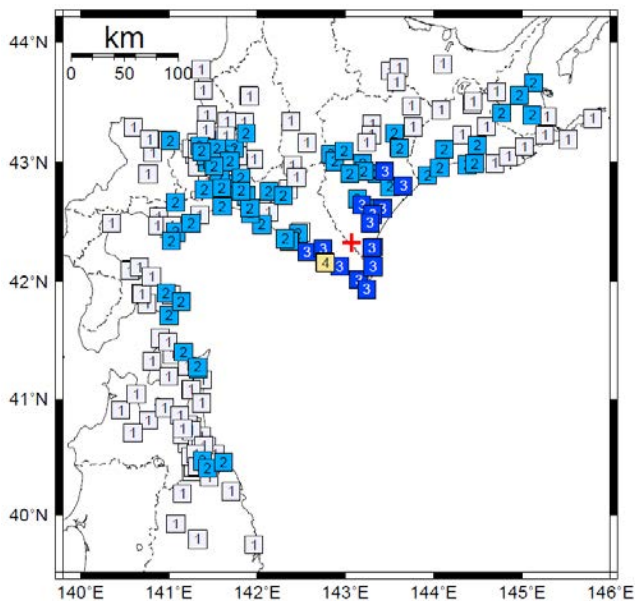
5

5月23日06時28分 浦河沖
(M5.4、深さ53km、最大震度4)



6

5月26日17時47分 十勝地方南部
(M5.3、深さ50km、最大震度4)



7

5月29日15時28分 岐阜県飛騨地方
(M4.5、深さ12km、最大震度4)

5月29日15時29分 岐阜県飛騨地方
(M4.5、深さ13km、最大震度4)

※これらの地震はほぼ同時刻に、ほぼ同じ場所で発生しており、震度の分離ができない。

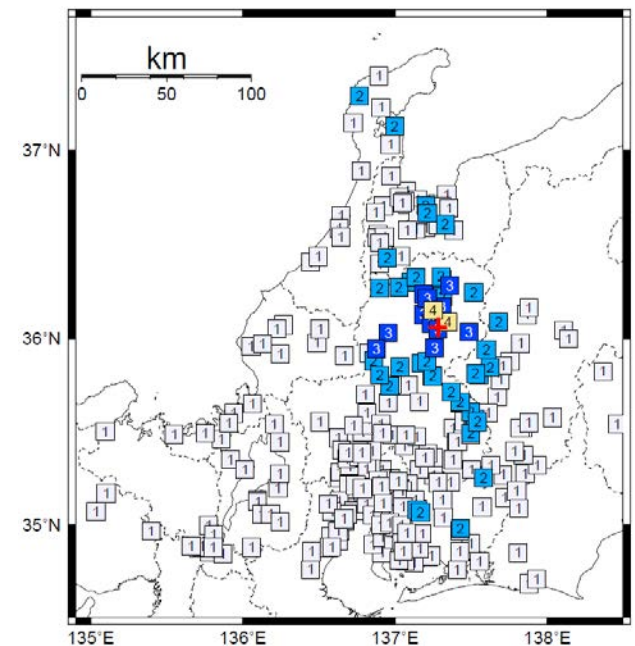


図4 震度分布図（続く）

（各図の左上の数字は表1、図2、図3の番号に対応する。赤の+印又は黒の+印は震央を示す）

※その他の地震の震度分布図については、気象庁HPの震度データベース

(<https://www.data.jma.go.jp/eqdb/data/shindo/index.php>) をご覧ください。

- 9 5月31日17時37分 釧路沖
(M6.0、深さ20km、最大震度4)
5月31日17時39分 釧路沖
(M5.0、深さ12km、最大震度4)
※これらの地震はほぼ同時刻に、ほぼ同じ場所で発生しており、震度の分離ができない。

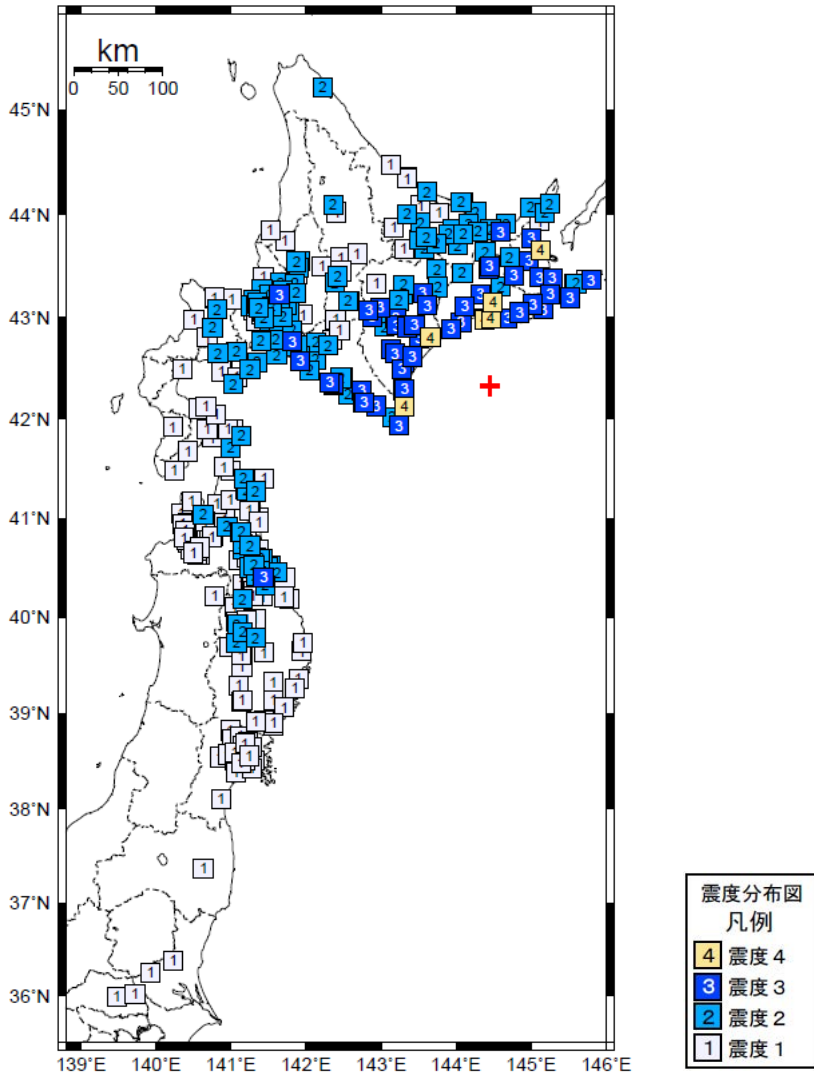


図4 震度分布図（続き）

（各図の左上の数字は表1、図2、図3の番号に対応する。赤の+印は震央を示す）

※その他の地震の震度分布図については、気象庁HPの震度データベース

(<https://www.data.jma.go.jp/eqdb/data/shindo/index.php>) をご覧ください。

○北海道地方の地震活動

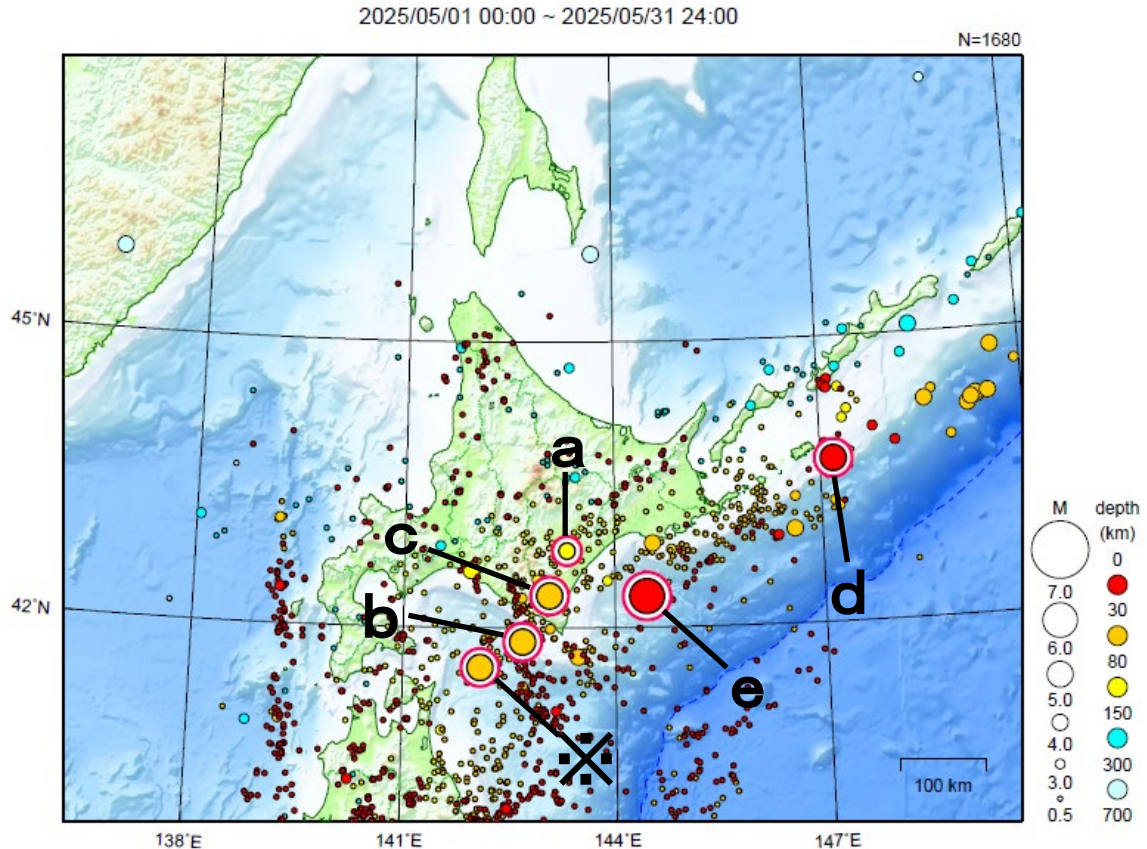


図5 北海道地方の震央分布図（2025年5月1日～5月31日、 $M \geq 0.5$ ）

地形データは日本海洋データセンターのJ-EGG500、米国地質調査所のGTOPO30及び米国国立地球物理データセンターのETOPO2v2を使用

〔概況〕

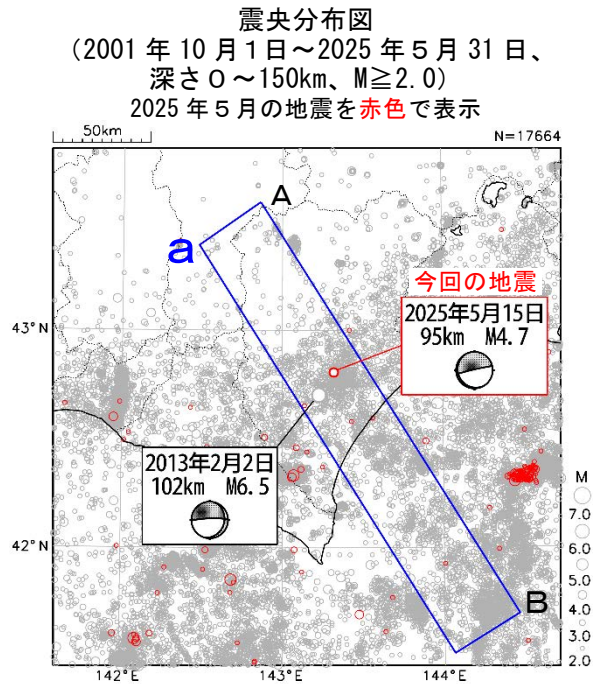
5月に北海道地方で震度1以上を観測した地震は23回（4月は19回）であった。

5月中の主な地震活動はつぎのとおりである。

- a 15日22時05分に十勝地方中部の深さ95kmでM4.7の地震が発生し、北海道浦幌町で震度4を観測したほか、北海道、青森県及び岩手県で震度2～1を観測した（p. 4、7参照）。
- b 23日06時28分に浦河沖の深さ53kmでM5.4の地震が発生し、北海道浦河町と様似町で震度4を観測したほか、北海道及び東北地方で震度3～1を観測した（p. 4、8参照）。
- c 26日17時47分に十勝地方南部の深さ50kmでM5.3の地震が発生し、北海道浦河町で震度4を観測したほか、北海道、青森県及び岩手県で震度3～1を観測した（p. 4、9参照）。
- d 30日07時23分に北海道東方沖の深さ31km（CMT解による）でM5.5の地震が発生し、北海道根室市で震度3を観測したほか、北海道、青森県及び岩手県で震度2～1を観測した（p. 10参照）。
- e 31日17時37分に釧路沖の深さ20kmでM6.0の地震が発生した。この地震の約2分後に、ほぼ同じ場所でM5.0の地震が発生した。これらの地震により、北海道太平洋側で震度4を観測したほか、北海道から関東地方にかけて震度3～1を観測した（p. 5、11参照）。

※ 東北地方の地震活動を参照（p. 12、13参照）。

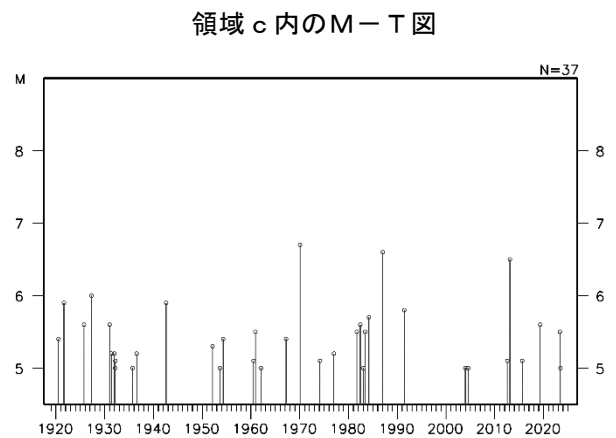
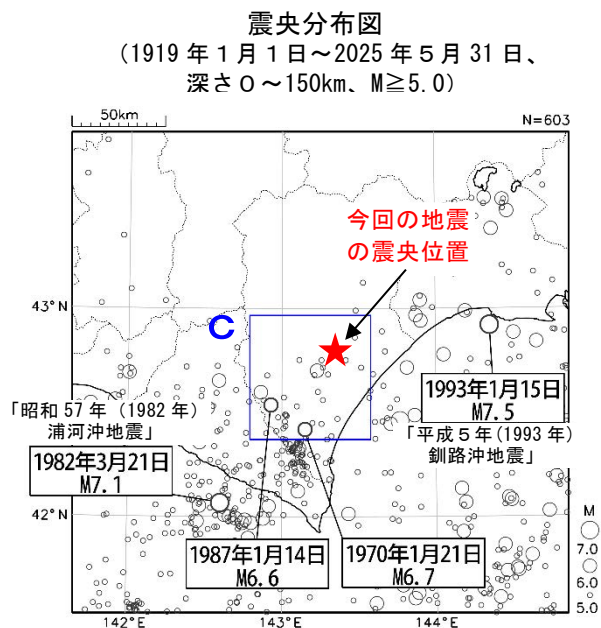
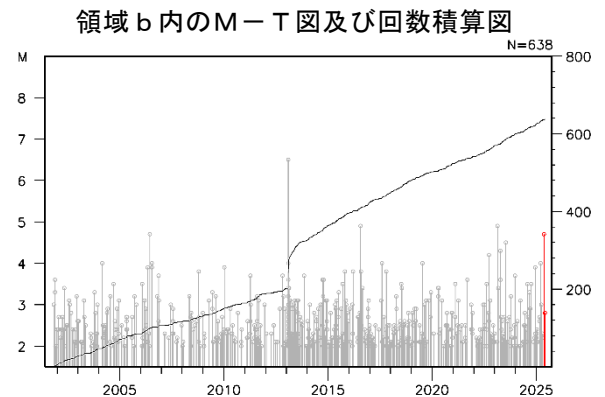
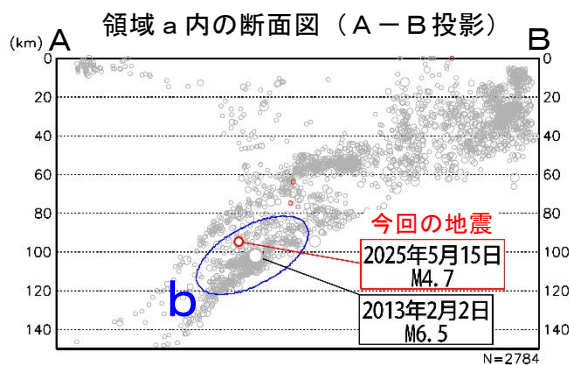
5月15日 十勝地方中部の地震



2025年5月15日22時05分に十勝地方中部の深さ95kmで $M 4.7$ の地震（最大震度4）が発生した。この地震は、太平洋プレート内部で発生した。発震機構は太平洋プレートの傾斜方向に張力軸を持つ型である。

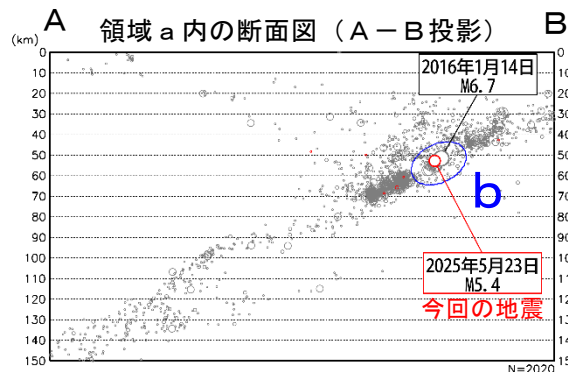
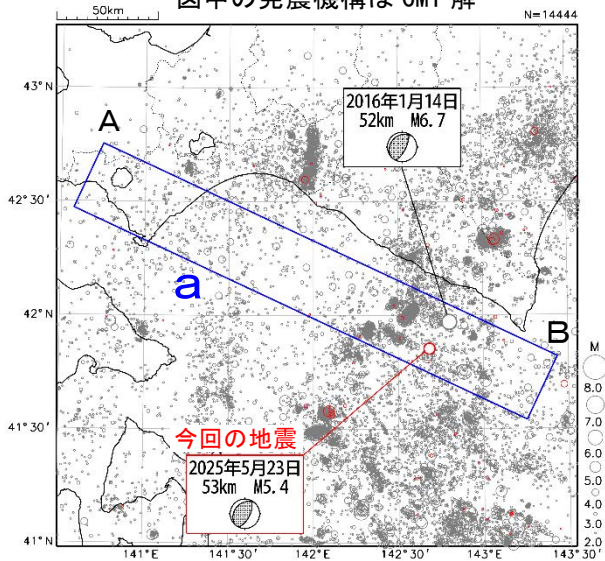
2001年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域b）では、 $M 4.0$ 以上の地震が時々発生している。 $M 5.0$ 以上の地震は1回発生しており、2013年2月2日の $M 6.5$ の地震（最大震度5強）では、負傷者14人、住家一部破損1棟の被害が生じた（総務省消防庁による）。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域c）では、 $M 6.0$ 以上の地震がまれに発生しており、1970年1月21日に発生した $M 6.7$ の地震（最大震度5）により、負傷者32人、住家被害148棟などの被害が生じた（「日本被害地震総覧」による）。

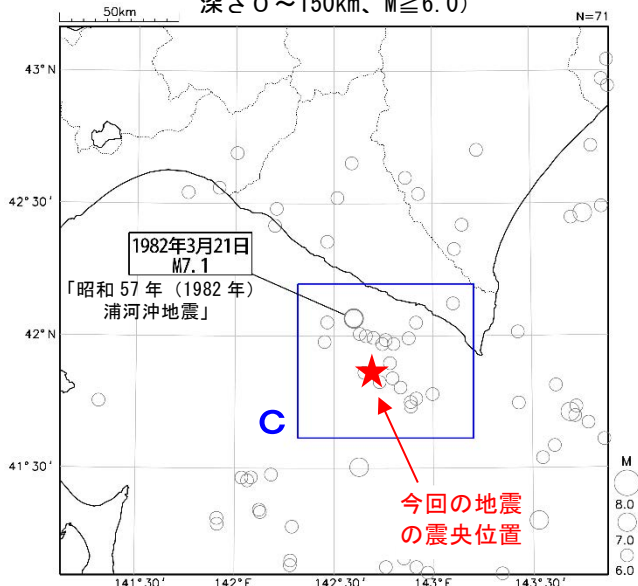


5月23日 浦河沖の地震

震央分布図
(2001年10月1日～2025年5月31日、
深さ0～150km、 $M \geq 2.0$)
2025年5月に発生した地震を赤色で表示
図中の発震機構はCMT解



震央分布図
(1919年1月1日～2025年5月31日、
深さ0～150km、 $M \geq 6.0$)

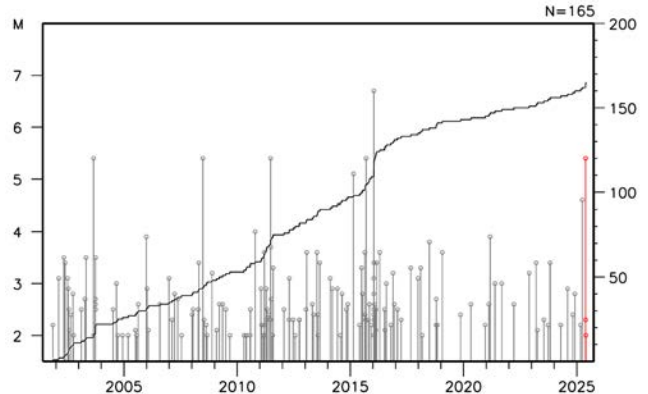


2025年5月23日06時28分に浦河沖の深さ53kmで $M 5.4$ の地震（最大震度4）が発生した。この地震は、発震機構（CMT解）が西-北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

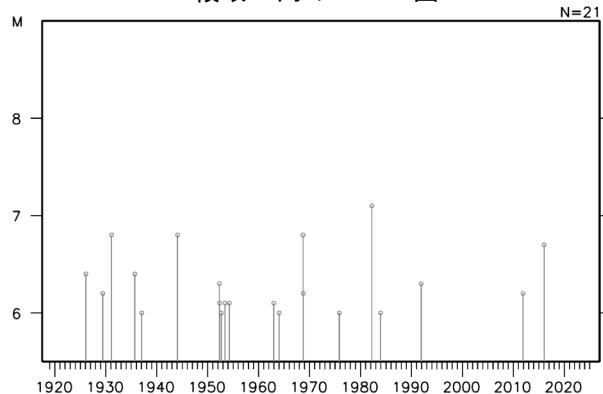
2001年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域b）では、 $M 5.0$ 以上の地震が時々発生しており、2016年1月14日には $M 6.7$ の地震（最大震度5弱）が発生し、負傷者2人の被害が生じた（総務省消防庁による）。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域c）では、 $M 6.0$ 以上の地震がしばしば発生している。「昭和57年（1982年）浦河沖地震」（ $M 7.1$ 、最大震度6）では、北海道浦河で78cm（平常潮位からの最大の高さ）の津波など、北海道と東北地方の太平洋沿岸で津波を観測した（「験震時報第47巻」による）。また、負傷者167人、建物被害210棟などの被害が生じた（被害は「日本被害地震総覧」による）。

領域b内のM-T図及び回数積算図

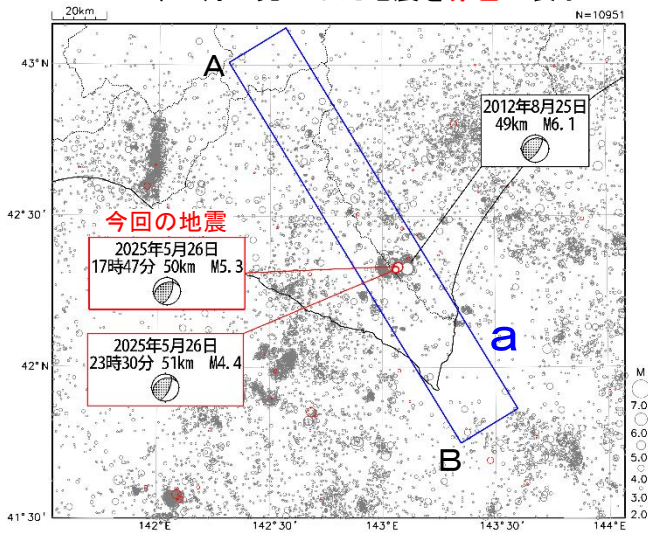


領域c内のM-T図



5月26日 十勝地方南部の地震

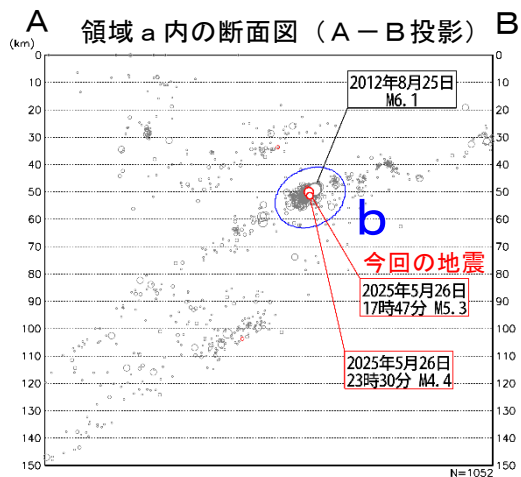
震央分布図
(2001年10月1日～2025年5月31日、
深さ0～150km、 $M \geq 2.0$)
2025年5月に発生した地震を赤色で表示



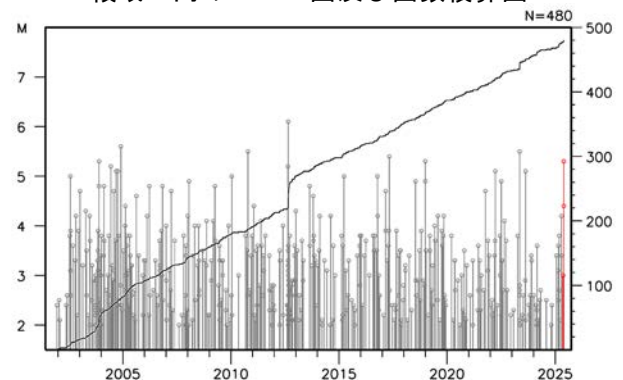
2025年5月26日17時47分に十勝地方南部の深さ50kmでM5.3の地震（最大震度4）が発生した。この地震は、発震機構が北西－南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。また、同日23時30分にほぼ同じ場所でM4.4の地震（最大震度2）が発生した。

2001年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域b）では、M5.0以上の地震がしばしば発生しており、2012年8月25日にはM6.1の地震（最大震度5弱）が発生した。

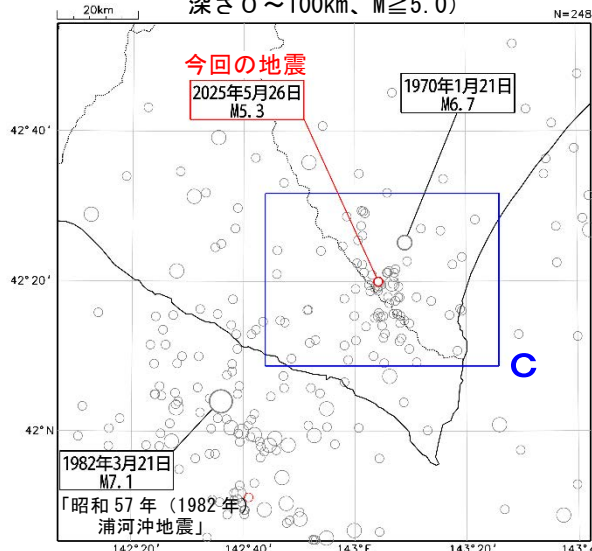
1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域c）では、M6.0以上の地震が2回発生しており、1970年1月21日に発生したM6.7の地震（最大震度5）により、負傷者32人、住家被害148棟などの被害が生じた（「日本被害地震総覧」による）。



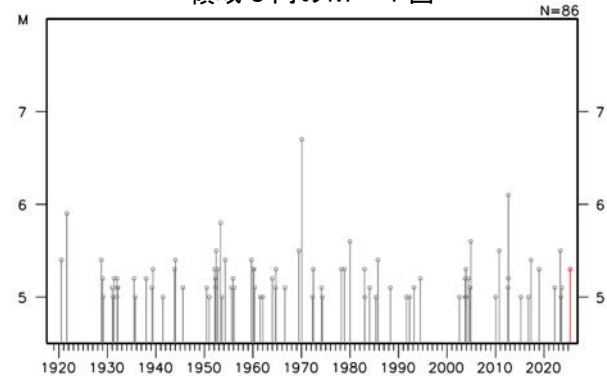
領域b内のM-T図及び回数積算図



震央分布図
(1919年1月1日～2025年5月31日、
深さ0～100km、 $M \geq 5.0$)

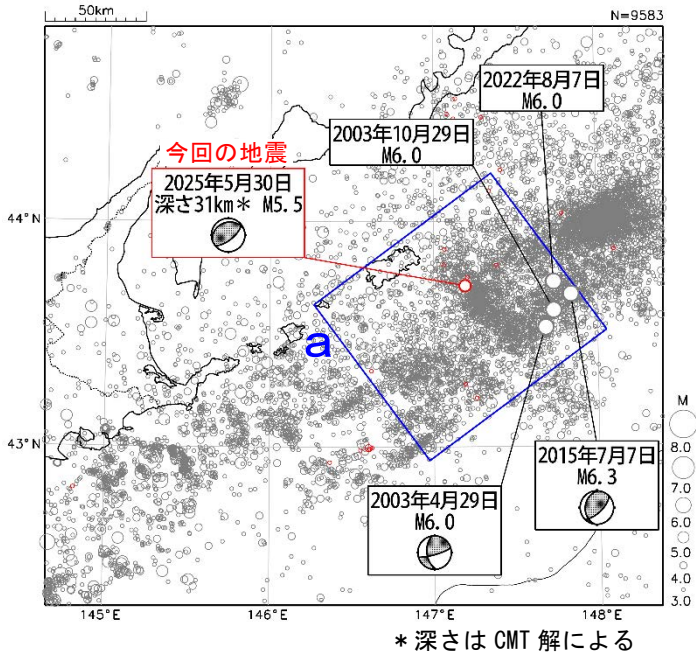


領域c内のM-T図



5月30日 北海道東方沖の地震

震央分布図
(2001年10月1日～2025年5月31日、
深さ0～150km、 $M \geq 3.0$)
2025年5月に発生した地震を**赤色**で表示
図中の発震機構はCMT解

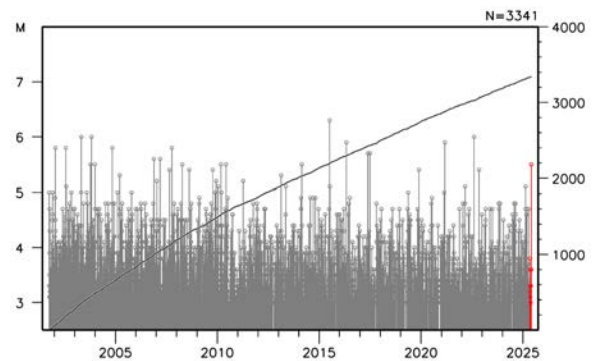


2025年5月30日07時23分に北海道東方沖の深さ31km (CMT解による) で $M 5.5$ の地震 (最大震度3) が発生した。この地震は、発震機構 (CMT解) が北北西-南南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

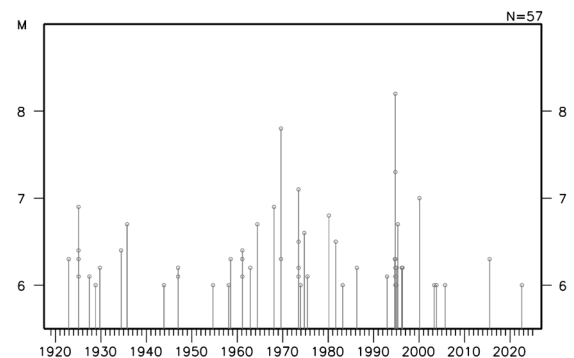
2001年10月以降の活動をみると、今回の地震の震央付近 (領域a) では、 $M 6.0$ 以上の地震が4回発生しており、2015年7月7日には $M 6.3$ の地震 (最大震度3) が発生した。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域b) では、 $M 6.0$ 以上の地震がしばしば発生しており、「平成6年 (1994年) 北海道東方沖地震」 ($M 8.2$ 、最大震度6) では、北海道根室市花咲で168cm (平常潮位からの最大の高さ) の津波など、北海道から沖縄の太平洋沿岸などで津波を観測した。この地震により、重軽傷者436人、住家被害4,586棟などの被害が生じた (被害は「日本被害地震総覧」による)。

領域a内のM-T図及び回数積算図

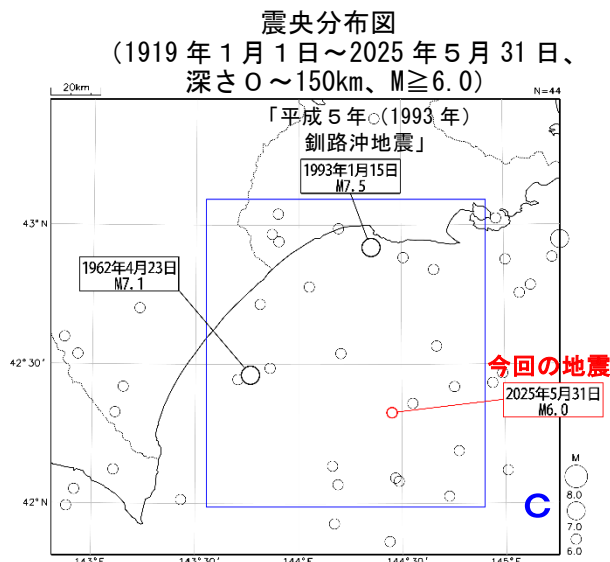
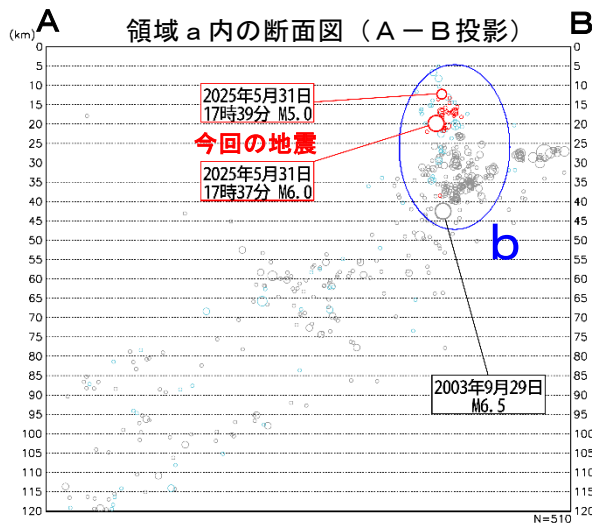
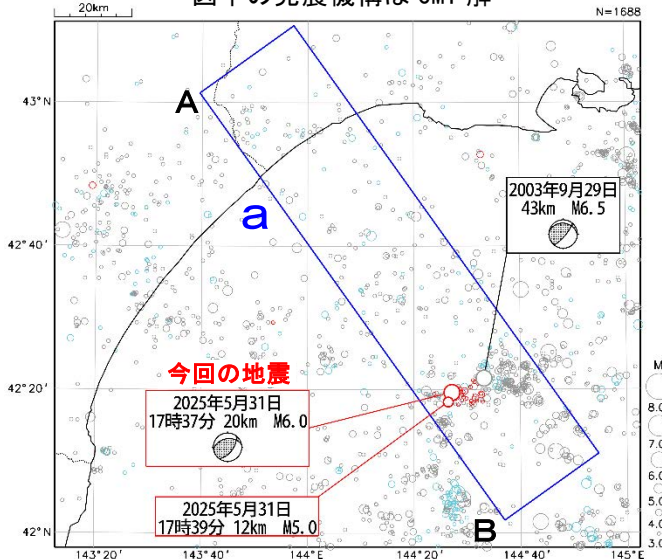


領域b内のM-T図



5月31日 釧路沖の地震

震央分布図
(2001年10月1日～2025年6月3日、
深さ0～120km、 $M \geq 3.0$)
2020年9月以降に発生した地震を**水色**、
2025年5月に発生した地震を**赤色**で表示
図中の発震機構はCMT解

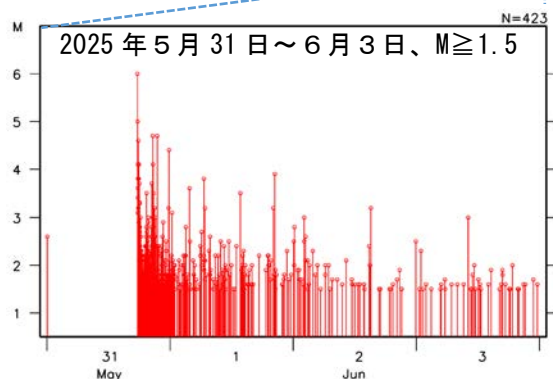
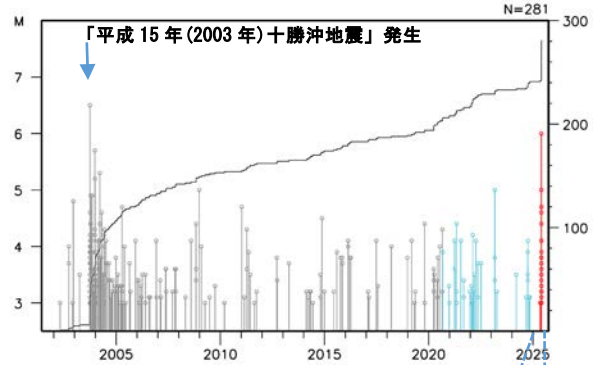


2025年5月31日17時37分に釧路沖の深さ20kmで $M6.0$ の地震（最大震度4）が発生した。この地震は、陸のプレート内で発生した。発震機構（CMT解）は北西－南東方向に圧力軸を持つ逆断層型である。また、同日17時39分にはほぼ同じ場所で $M5.0$ の地震が発生した。

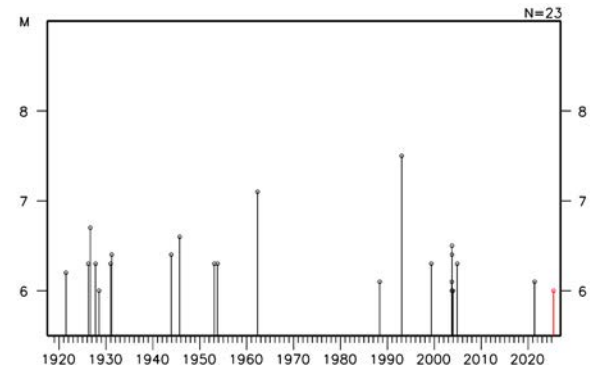
2001年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域b）では、2003年9月29日に $M6.5$ の地震（最大震度4）が発生している。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域c）では、 $M7.0$ 以上の地震が2回発生しており、「平成5年（1993年）釧路沖地震」（ $M7.5$ 、最大震度6）では、死者1人、重軽傷者716人、住家被害2,552棟などの被害が生じた。（「日本被害地震総覧」による）。

領域b内のM-T図及び回数積算図



領域c内のM-T図



○東北地方の地震活動

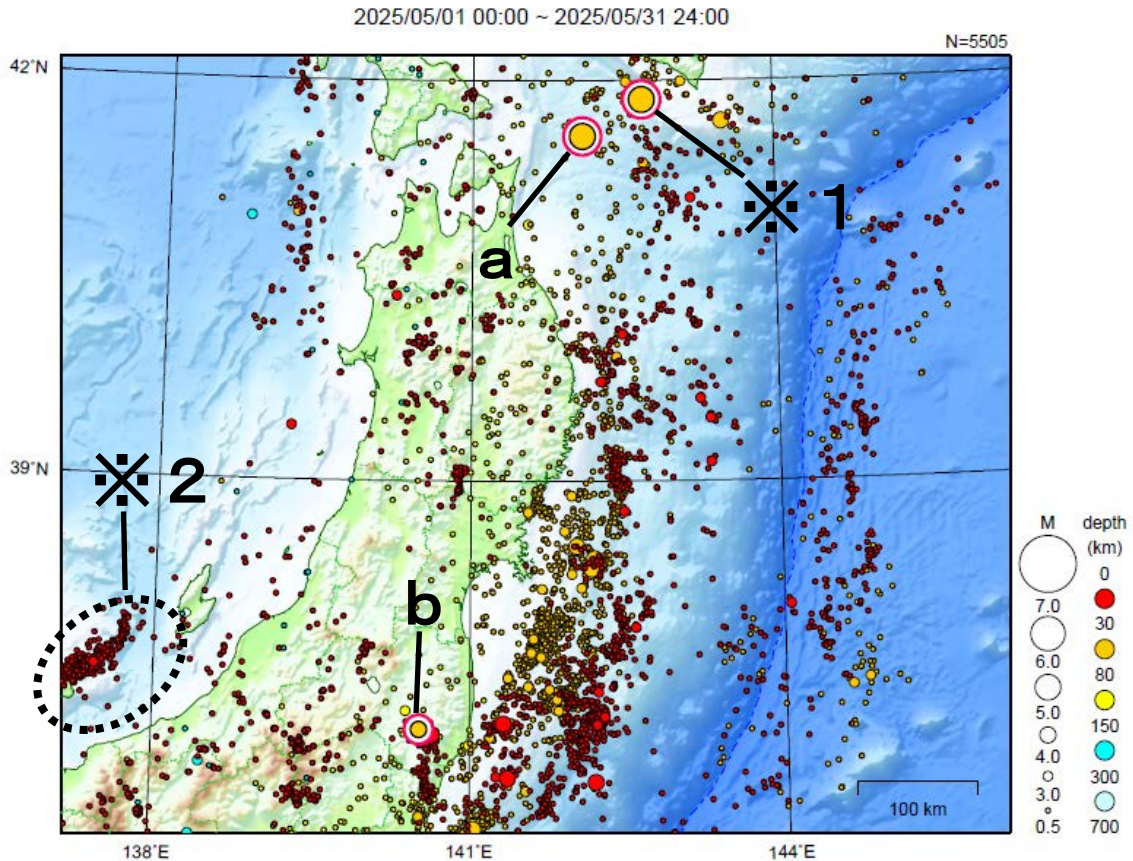


図6 東北地方の震央分布図（2025年5月1日～5月31日、 $M \geq 0.5$ ）

地形データは日本海洋データセンターのJ-EGG500、米国地質調査所のGTOP030及び米国国立地球物理データセンターのETOPO2v2を使用

〔概況〕

5月に東北地方で震度1以上を観測した地震は44回（4月は38回）であった。
5月中の主な活動は次のとおりである。

- a 12日23時54分に青森県東方沖の深さ55kmでM5.2の地震が発生し、北海道函館市、青森県階上町及び青森県東通村で震度3を観測したほか、北海道及び東北北部で震度2～1を観測した（p.13参照）。

情報発表に用いた震央地名は〔浦河沖〕である。

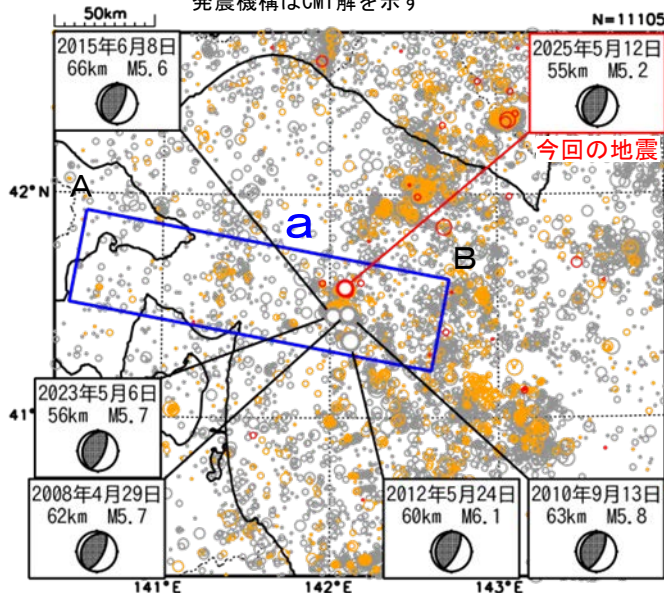
- b 13日10時37分に福島県中通りの深さ79kmでM4.6の地震が発生し、福島県、茨城県及び栃木県で震度3を観測したほか、東北南部、関東地方及び新潟県で震度2～1を観測した（p.14参照）

※1 北海道地方の地震活動を参照（p.4、6、8参照）。

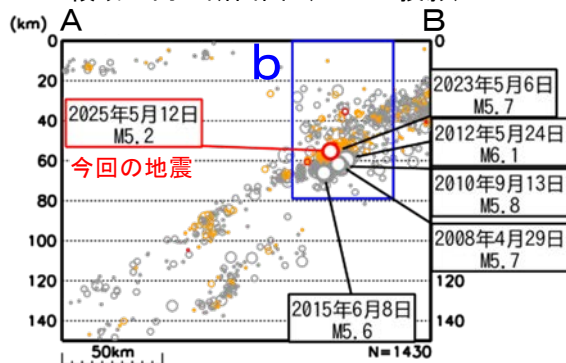
※2 関東・中部地方の地震活動を参照（p.16～18参照）。

5月12日 青森県東方沖の地震

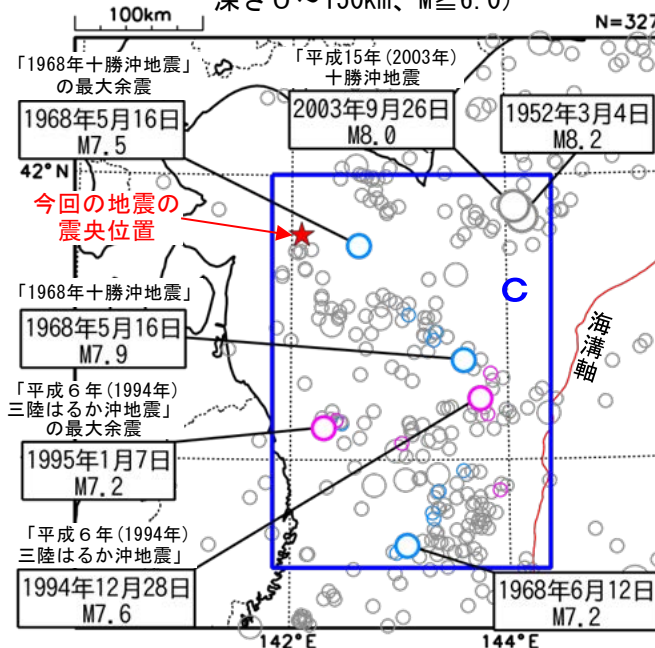
震央分布図

(1997年10月1日～2025年5月31日、
深さ0～150km、 $M \geq 2.5$)○1997年10月1日～2020年8月31日
●2020年9月1日～2025年4月30日 ○2025年5月1日以降
発震機構はCMT解を示す

領域a内の断面図 (A-B投影)



震央分布図

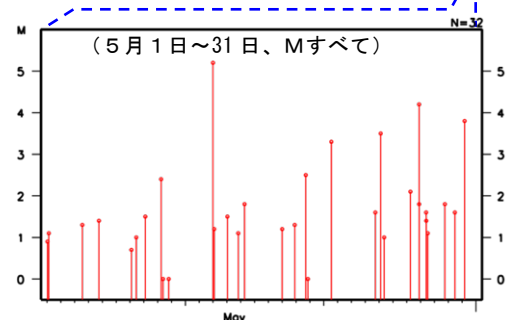
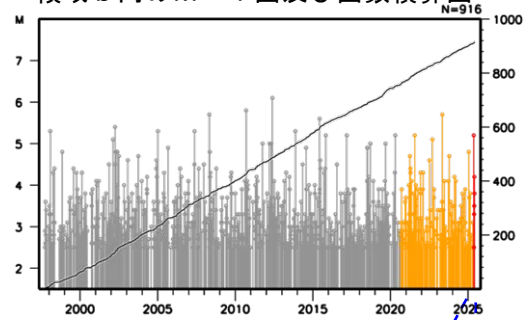
(1919年1月1日～2025年5月31日、
深さ0～150km、 $M \geq 6.0$)

情報発表に用いた震央地名は「浦河沖」である

2025年5月12日23時54分に青森県東方沖の深さ55kmでM5.2の地震（最大震度3）が発生した。この地震は、発震機構（CMT解）が西北西－東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。この地震の発生以降、震源付近（領域b）では、5月12日から31日までに震度1以上を観測する地震が4回（震度2：2回、震度1：2回）発生した。

1997年10月以降の活動をみると、2012年5月24日にM6.1の地震（最大震度5強）など、M5を超える地震が度々発生している。

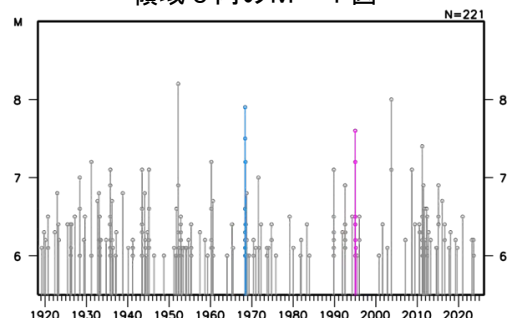
領域b内のM-T図及び回数積算図



1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域c）では、M7を超える地震が度々発生している。「1968年十勝沖地震」(M7.9、最大震度5)では死者52人、負傷者330人等の被害が生じたほか、八戸〔火力発電所〕で295cm（平常潮位からの最大の高さ）の津波を観測した。また、「平成6年(1994年)三陸はるか沖地震」(M7.6、最大震度6)では、死者3人、負傷者688人等の被害が生じたほか、八戸と宮古で50cm（平常潮位からの最大の高さ）の津波を観測した（「験震時報第63巻」による）（被害は「日本被害地震総覧」による）。

- : 1968年5月16日～1968年7月31日
- : 1994年12月28日～1995年2月28日
- : 上記以外の期間

領域c内のM-T図

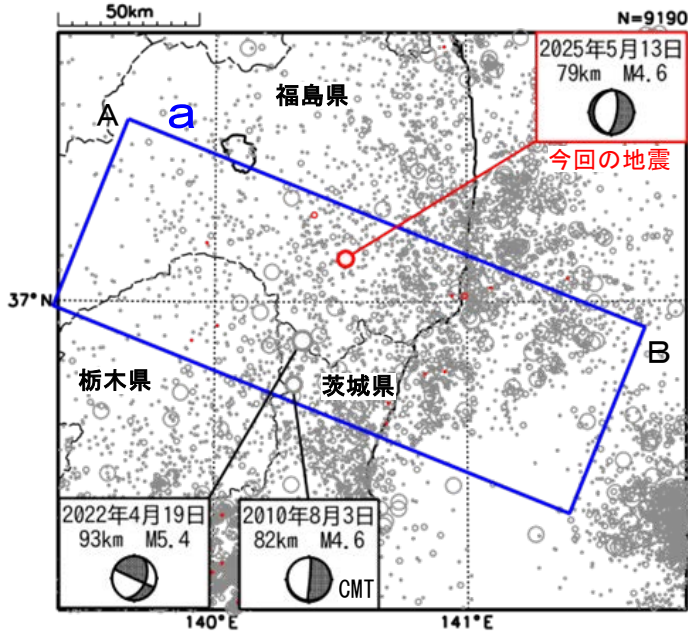


5月13日 福島県中通りの地震

震央分布図

(1997年10月1日～2025年5月31日、
深さ60～160km、 $M \geq 2.0$)

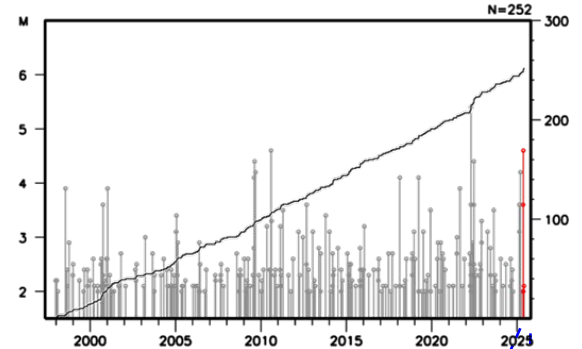
○1997年10月1日～2025年4月30日 ○2025年5月1日以降



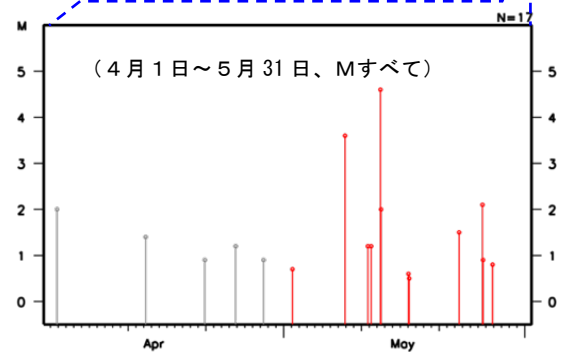
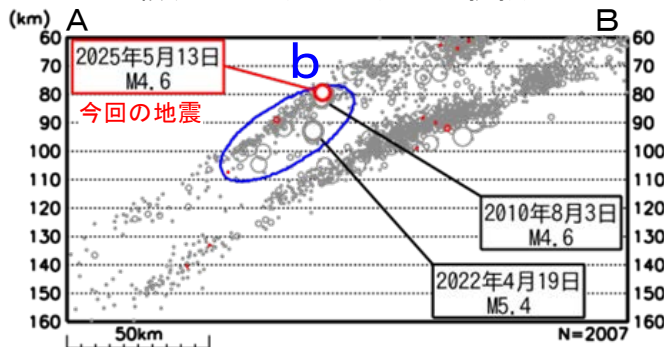
2025年5月13日10時37分に福島県中通りの深さ79kmで $M4.6$ の地震（最大震度3）が発生した。この地震は、発震機構が西北西－東南東方向に張力軸を持つ正断層型で、太平洋プレート内部（二重地震面の上面）で発生した。

1997年10月以降の活動をみると、2022年4月19日に $M5.4$ の地震（最大震度5弱）など、 $M4$ を超える地震が時々発生している。

領域b内のM-T図及び回数積算図

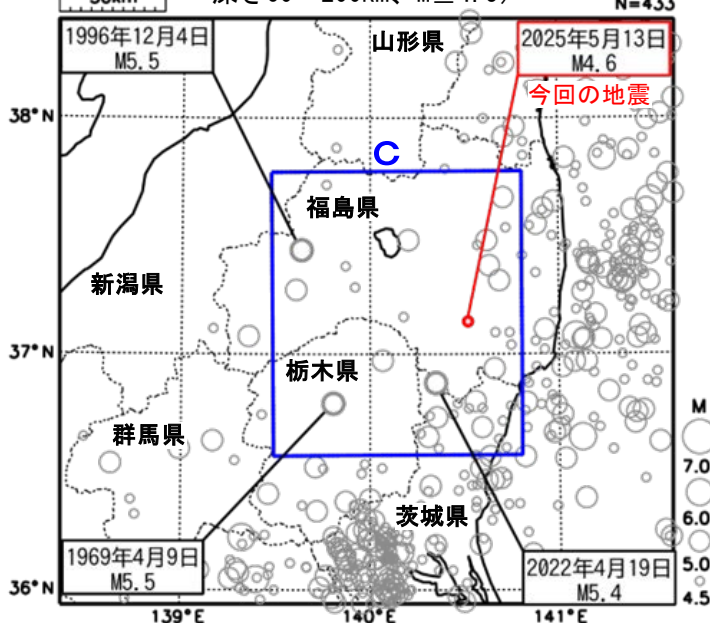


領域a内の断面図（A-B投影）



震央分布図

(1919年1月1日～2025年5月31日、
深さ60～200km、 $M \geq 4.5$)

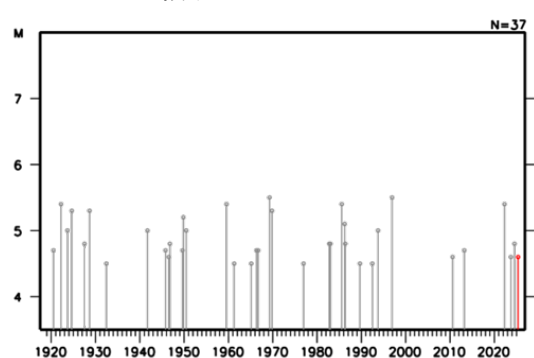


1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域c）では、1996年12月4日に $M5.5$ の地震（最大震度3）が発生するなど、 $M5$ を超える地震が時々発生している。

○1919年1月1日～2025年4月30日

○2025年5月1日以降

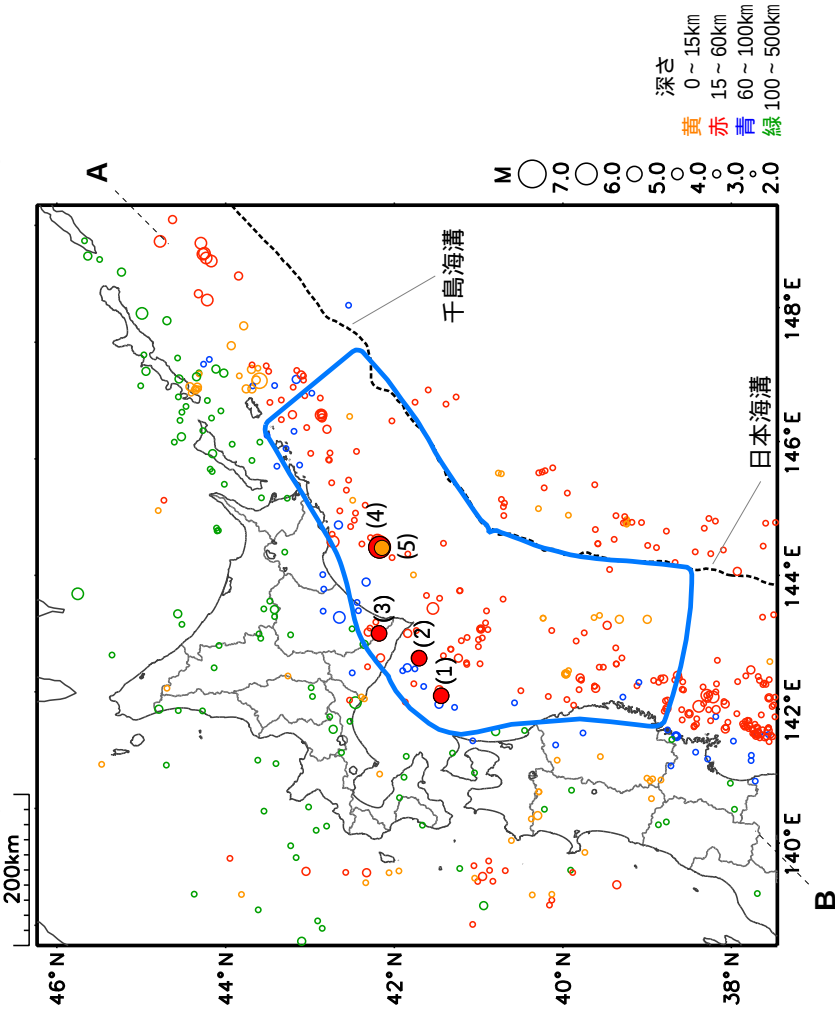
領域c内のM-T図



最近の日本海溝・千島海溝周辺の地震活動

2025年5月1日～5月31日

震央分布図（2025年5月1日～5月31日、M 2.0、深さ0～500km）



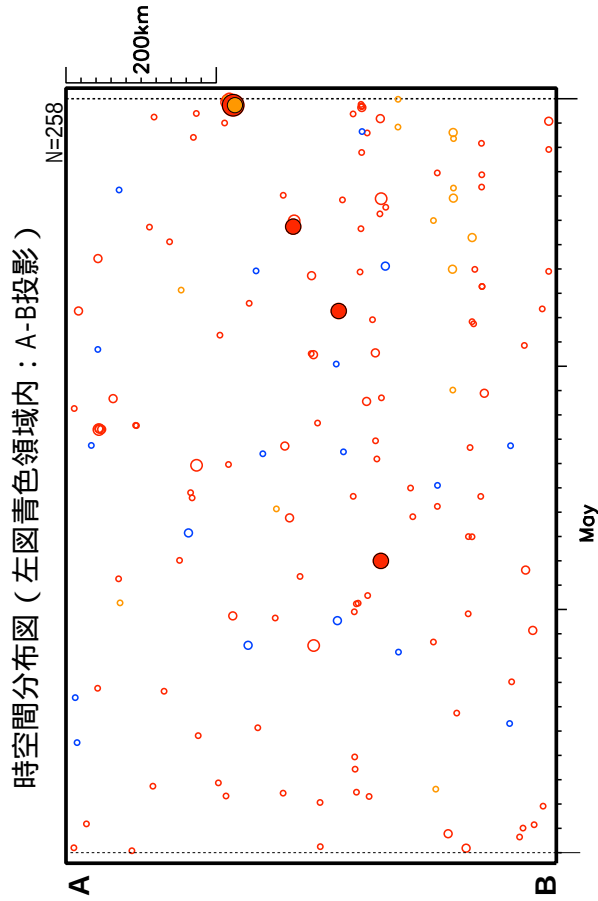
青の実線は日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震の想定震源域のうちの「日高・三陸沖」及び「十勝・根室沖」の領域です。
震源時、震央地名、マグニチュード等は、再調査により修正することがあります。

[主な地震活動]

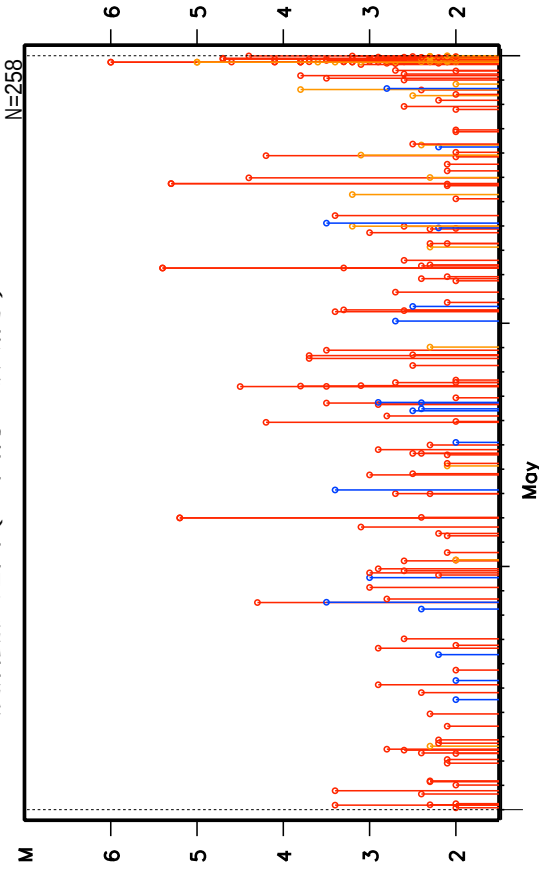
- ・上図青色領域内で発生したM5.0以上の地震（最大5つ）
- ・近接して発生した地震については、最大規模の地震のみ記載

● (1)	05月12日 23時54分	M5.2	最大震度 3	青森県東方沖
● (2)	05月23日 06時28分	M5.4	最大震度 4	浦河沖
● (3)	05月26日 17時47分	M5.3	最大震度 4	十勝地方南部
● (4)	05月31日 17時37分	M6.0	最大震度 4 (注)	釧路沖
● (5)	05月31日 17時39分	M5.0	最大震度 4 (注)	釧路沖

(注) (4)、(5)の地震は、ほぼ同時刻に、ほぼ同じ場所で発生したため、震度の分離ができていない



地震活動経過図（左図青色領域内）



○関東・中部地方の地震活動

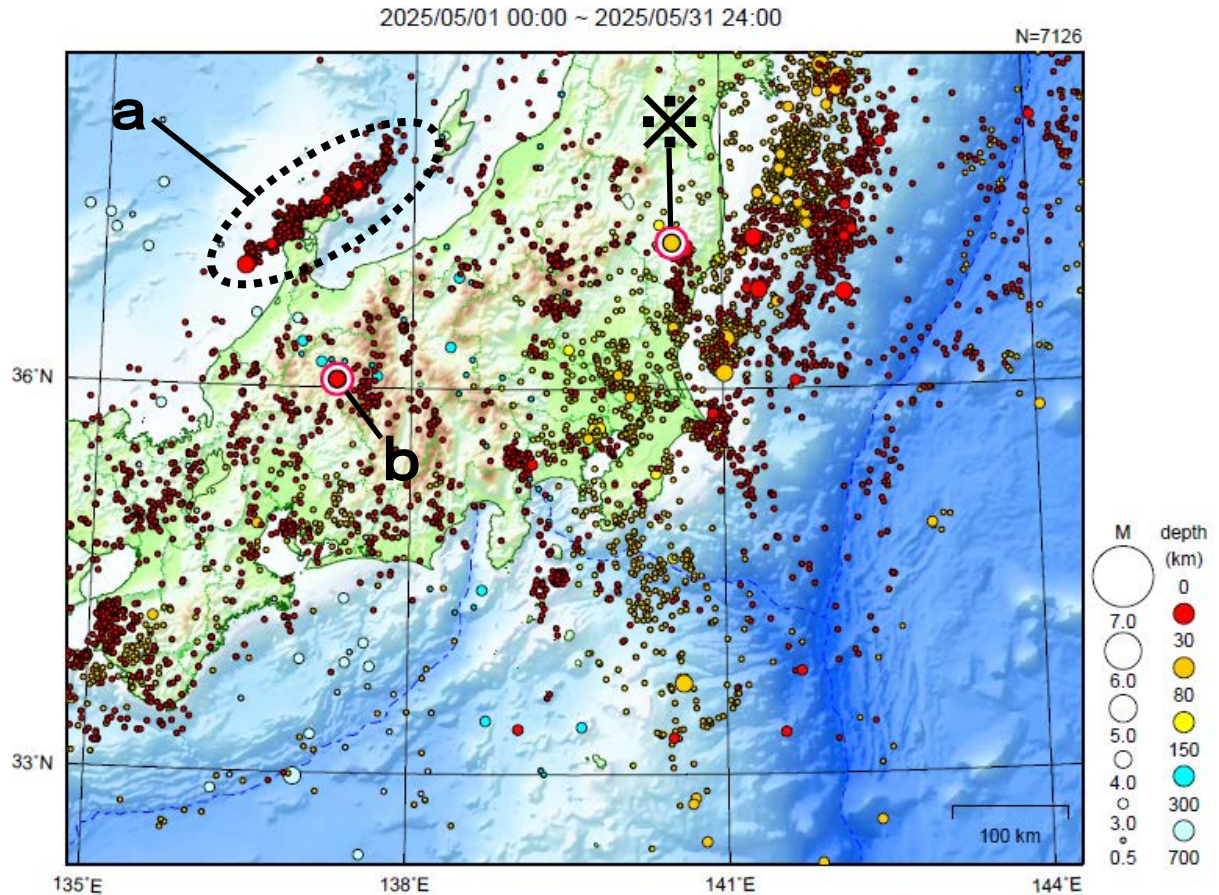


図7 関東・中部地方の震央分布図（2025年5月1日～5月31日、 $M \geq 0.5$ ）

地形データは日本海洋データセンターのJ-EGG500、米国地質調査所のGTOP030及び米国国立地球物理データセンターのETOP02v2を使用

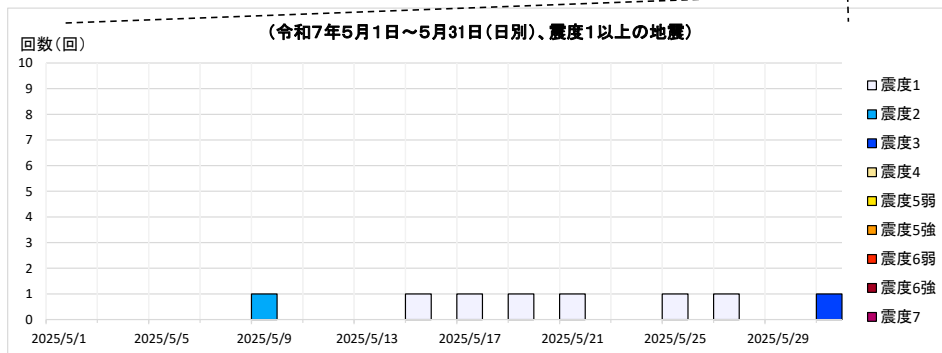
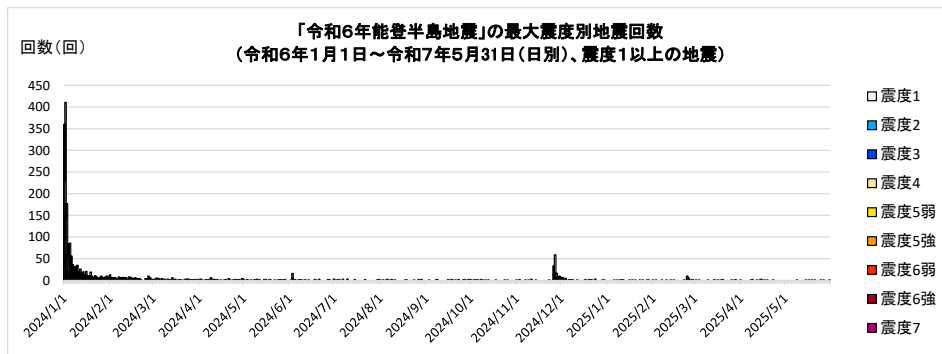
〔概況〕

5月に関東・中部地方（三重県を含む）で震度1以上を観測した地震は43回（4月は100回）であった。

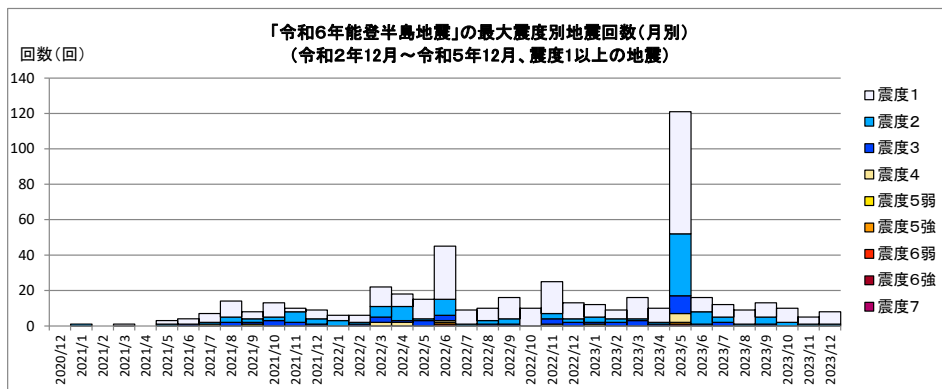
5月中の主な活動は次のとおりである。

- a 「令和6年能登半島地震」の地震活動域では、5月中に震度1以上を観測した地震が8回（震度3：1回、震度2：1回、震度1：6回）発生した。このうち最大規模の地震は、9日13時34分に能登半島沖の深さ13kmで発生したM4.2の地震で、石川県で震度2を観測したほか、石川県、富山県及び岐阜県で震度1を観測した（p.17、18参照）。
- ※ 東北地方の地震活動を参照（p.12、14参照）。
- b 29日15時28分58秒に岐阜県飛騨地方の深さ12kmでM4.5の地震が発生した。この地震の約16秒後に、ほぼ同じ場所でM4.5の地震が発生した。これらの地震により岐阜県高山市で震度4を観測したほか、中部地方及び近畿地方で震度3～1を観測した（p.4、19参照）。

令和7年5月 地震・火山月報（防災編）



【令和2(2020)年12月～令和5(2023)年12月の発生回数(月別)】



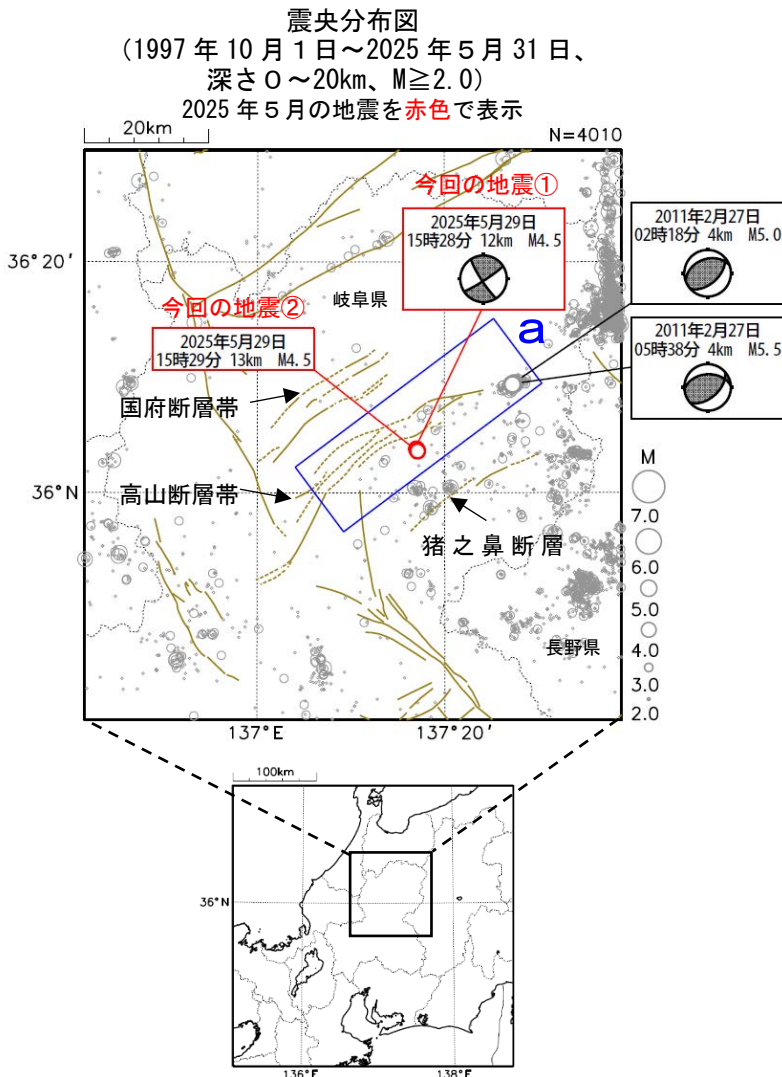
【令和2(2020)年12月以降の発生回数(年別)】

年別	最大震度別回数										震度1以上を 観測した回数		備考
	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	回数	累計		
2020/12/1 - 12/31	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
2021/1/1 - 12/31	39	19	10	1	1	0	0	0	0	0	70	70	
2022/1/1 - 12/31	130	39	18	6	0	1	1	0	0	0	195	265	
2023/1/1 - 12/31	151	61	21	6	0	1	0	1	0	0	241	506	2023/6/1～ 12/31の震度1 上を観測した回 数 合計73回 月平均10.4回 月中央値10.0回
総計(2020～2023)	320	119	49	13	1	2	1	1	0	0	506	506	

2020～2023	320	119	49	13	1	2	1	1	0	506	506	
2024/1/1 - 31	941	395	159	45	7	8	2	0	1	1558	2064	
2024/2/1 - 29	95	34	12	3	0	0	0	0	0	144	2208	
2024/3/1 - 31	49	17	4	0	0	0	0	0	0	70	2278	
2024/4/1 -30	32	9	4	0	0	0	0	0	0	45	2323	
2024/5/1 -31	20	6	2	0	0	0	0	0	0	28	2351	
2024/6/1 -30	27	5	1	1	0	1	0	0	0	35	2386	
2024/7/1-31	16	3	1	0	0	0	0	0	0	20	2406	
2024/8/1-31	13	4	1	0	0	0	0	0	0	18	2424	
2024/9/1-30	14	4	0	0	0	0	0	0	0	18	2442	
2024/10/1-31	8	6	0	0	0	0	0	0	0	14	2456	
2024/11/1-30	88	41	5	1	1	0	0	0	0	136	2592	
2024/12/1-31	24	12	1	0	0	0	0	0	0	37	2629	
2025/1/1-31	8	2	2	0	0	0	0	0	0	12	2641	
2025/2/1-28	18	5	2	0	0	0	0	0	0	25	2666	
2025/3/1-31	7	3	1	1	0	0	0	0	0	12	2678	
2025/4/1-30	10	2	0	0	0	0	0	0	0	12	2690	
2025/5/1-31	6	1	1	0	0	0	0	0	0	8	2698	
総計(2020/12/1～2025/5/31)	1696	668	245	64	9	11	3	1	1		2698	

※2024/1/1以降は地震活動の領域が広がったことから、対象領域を拡大して地震回数をカウントしている。

5月29日 岐阜県飛騨地方の地震

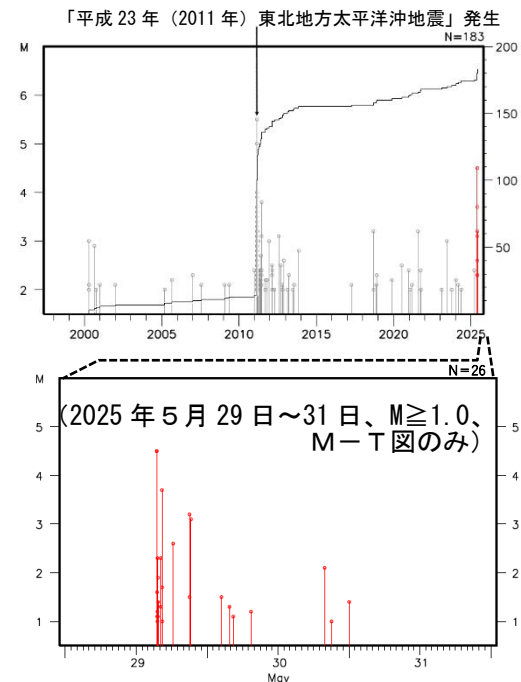


2025年5月29日15時28分に岐阜県飛騨地方の深さ12kmで $M4.5$ の地震（最大震度4、今回の地震①）が発生した。この地震の約16秒後、ほぼ同じ場所で $M4.5$ の地震（今回の地震②）が発生した。これらの地震は、地殻内で発生した。今回の地震①の発震機構は、西北西－東南東方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型である。

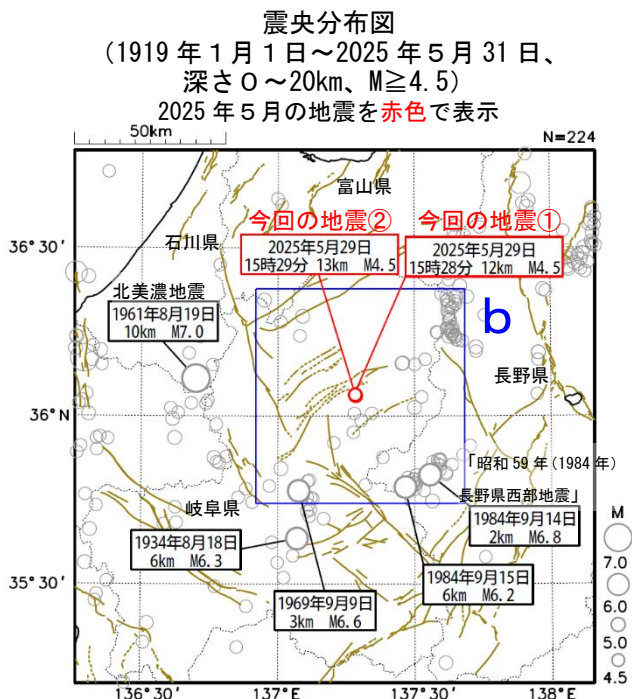
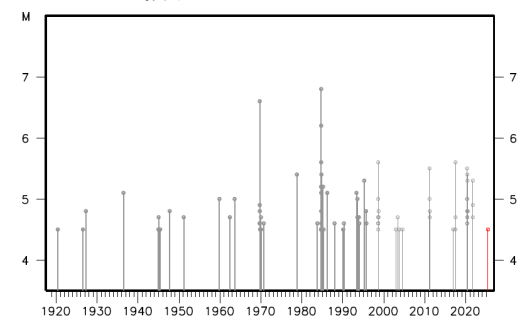
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震央付近（領域a）では、 $M3.0$ を超える地震は時々発生しているが、 $M4.0$ を超える地震はまれである。2011年2月27日02時18分に $M5.0$ の地震（最大震度4）が、同日05時38分には $M5.5$ の地震（最大震度4）が発生し、住家一部破損2棟などの被害が生じた（被害は総務省消防庁による）。

1919年以降の活動を見ると、今回の震央付近（領域b）では、 $M5.0$ 以上の地震が時々発生している。1984年9月14日には $M6.8$ の地震（「昭和59年（1984年）長野県西部地震」）が発生し、死者・行方不明者29人などの被害が生じた（被害は「日本被害地震総覧」による）。

領域a内のM-T図及び回数積算図



領域b内のM-T図



図中の茶色の線は地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す。

○近畿・中国・四国地方の地震活動

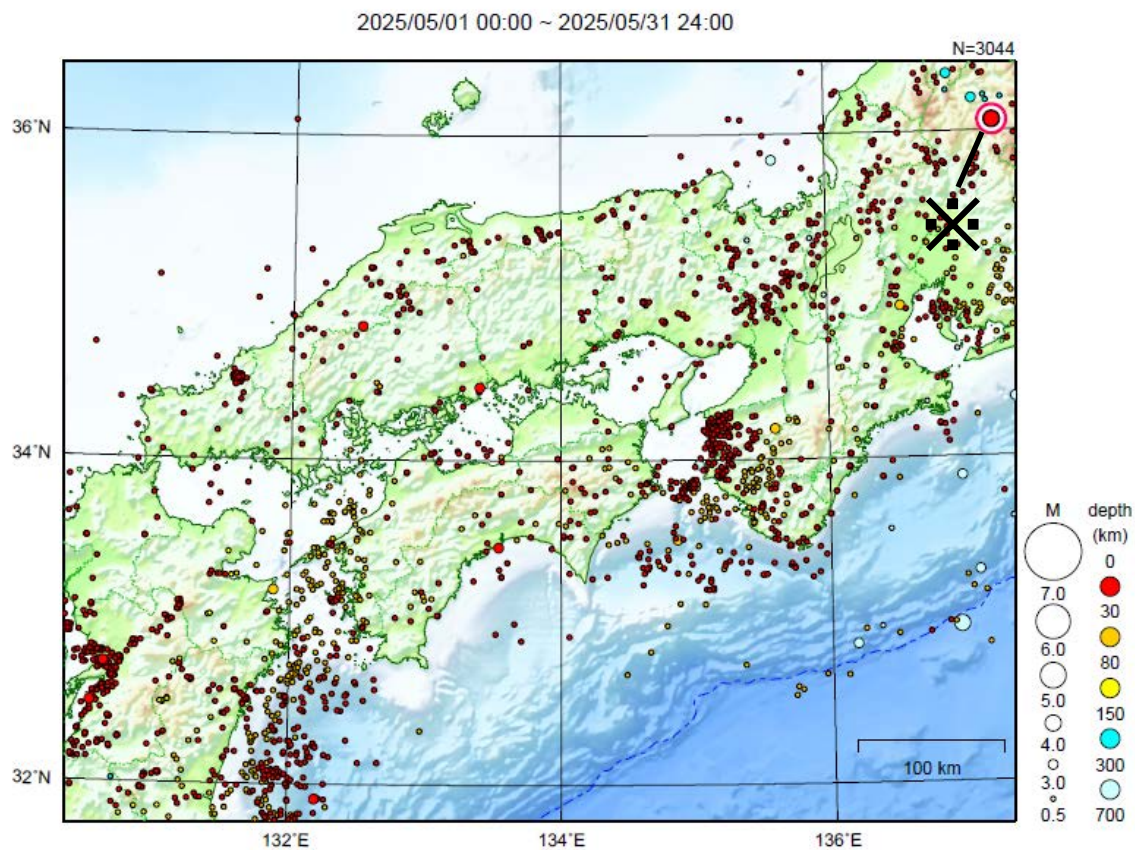


図8 近畿・中国・四国地方の震央分布図（2025年5月1日～5月31日、 $M \geq 0.5$ ）

地形データは日本海洋データセンターのJ-EGG500、米国地質調査所のGTOP030及び米国国立地球物理データセンターのETOP02v2を使用

〔概況〕

5月に近畿・中国・四国地方で震度1以上を観測した地震は14回（4月は11回）であった。

5月中、特に目立った活動はなかった。

※ 関東・中部地方の地震活動を参照（p. 4、16、19参照）。

○九州地方の地震活動

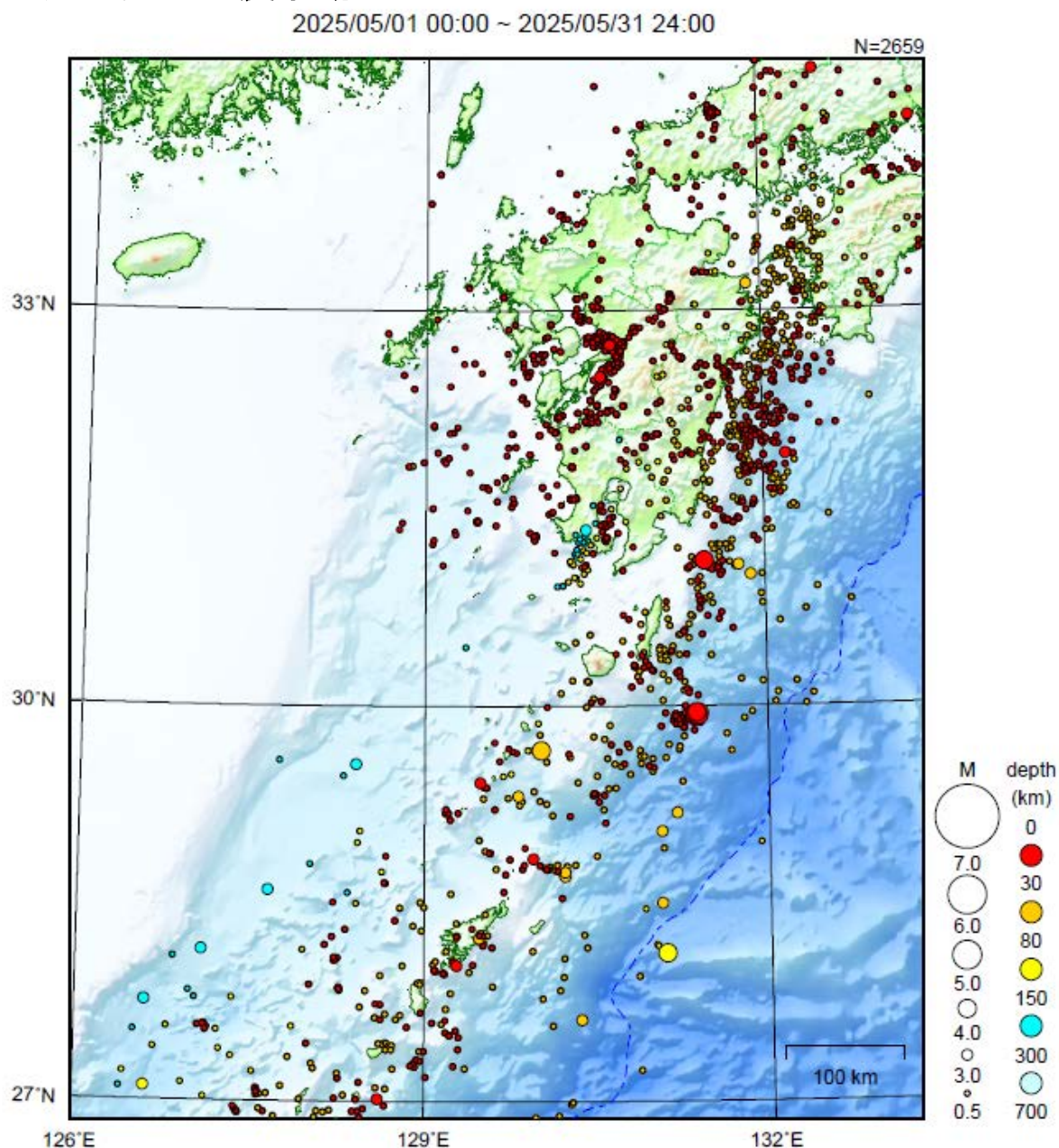


図9 九州地方の震央分布図（2025年5月1日～5月31日、 $M \geq 0.5$ ）

地形データは日本海洋データセンターのJ-EGG500、米国地質調査所のGTOP030、及び米国国立地球物理データセンターのETOP02v2を使用

〔概況〕

5月に九州地方で震度1以上を観測した地震は21回（4月は36回）であった。

5月中、特に目立った地震活動はなかった。

○沖縄地方の地震活動

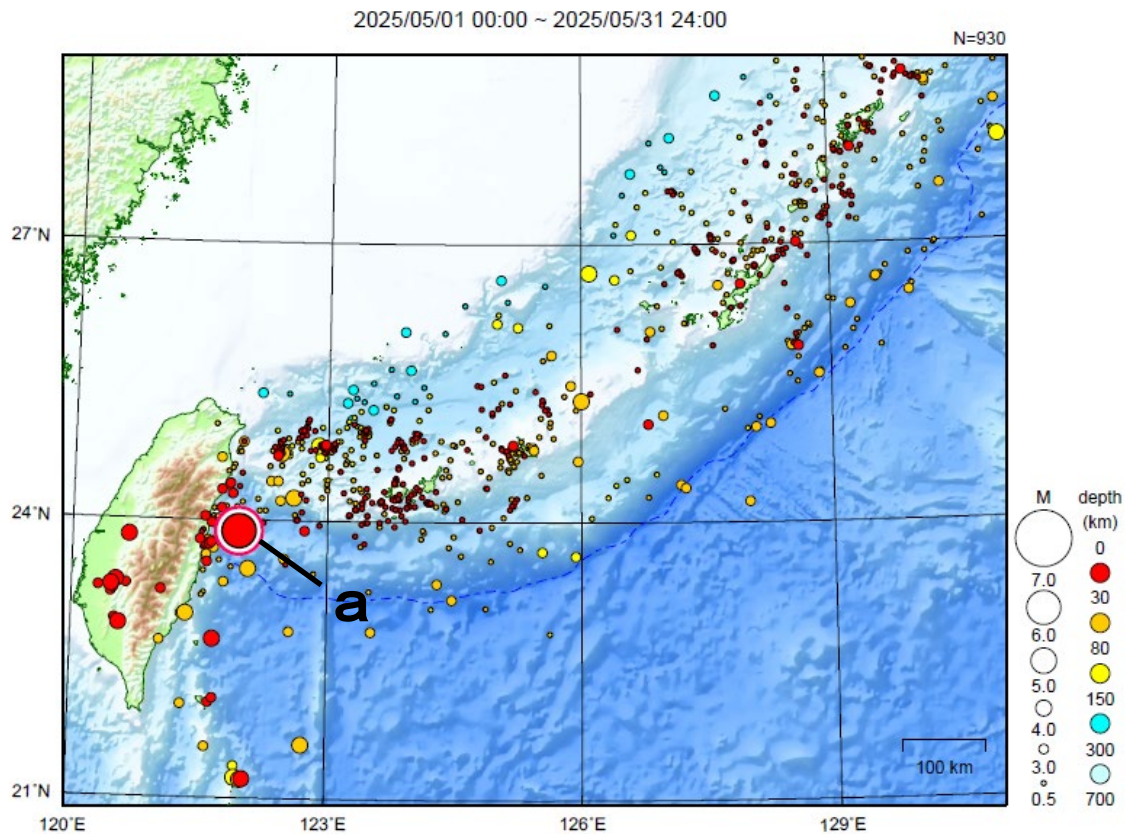


図10 沖縄地方の震央分布図（2025年5月1日～5月31日、 $M \geq 0.5$ ）

地形データは日本海洋データセンターのJ-EGG500、米国地質調査所のGTOP030及び米国国立地球物理データセンターのETOPO2v2を使用

〔概況〕

5月に沖縄地方で震度1以上を観測した地震は3回であった（4月は8回）。

5月中の主な活動は次のとおりである。

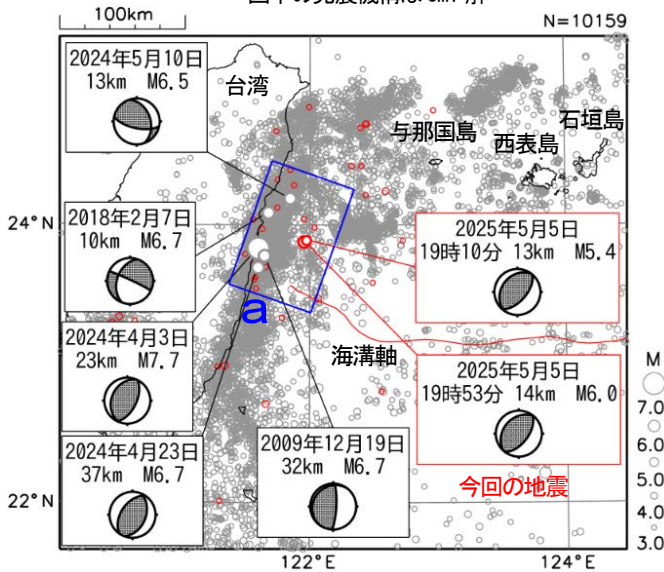
- a 5日19時53分に台湾付近の深さ14kmでM6.0の地震（日本国内で震度1以上を観測した地点はなし）が発生した（p.23参照）。

5月5日 台湾付近の地震

震央分布図

(2009年9月1日～2025年5月31日、
深さ0～300km、 $M \geq 3.0$)

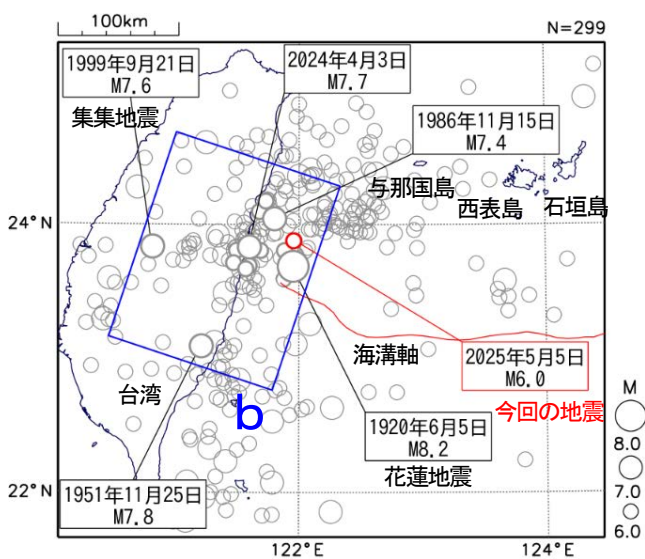
2025年5月の地震を赤色で表示
図中の発震機構はCMT解



震央分布図

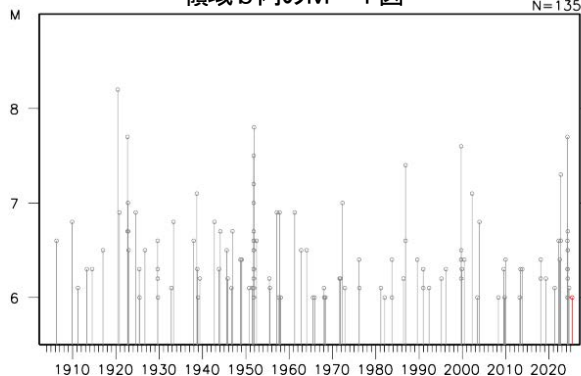
(1904年1月1日～2025年5月31日、
深さ0～100km、 $M \geq 6.0$)

2025年5月の地震を赤色で表示



2020年までの震源要素はISC-GEM
2021年以降の地震の震源要素は気象庁による

領域b内のM-T図

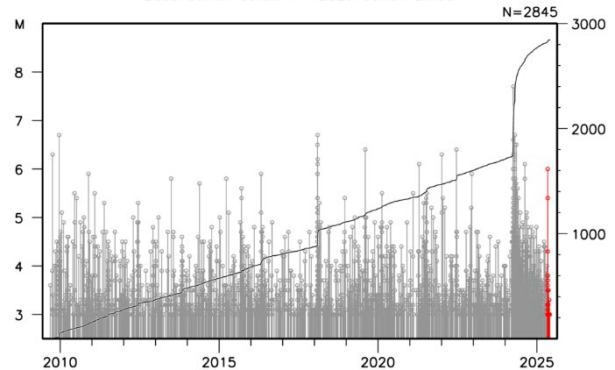


2025年5月5日19時53分に台湾付近の深さ14kmで $M 6.0$ の地震（日本国内で震度1以上を観測した地点なし）が発生した。この地震の発震機構（CMT解）は、北西-南東方向に圧力軸を持つ逆断層型である。今回の地震の震央付近では、同日19時10分にも $M 5.4$ の地震が発生している。

2009年9月以降の活動をみると、この地震の震央付近（領域a）では、 $M 6.0$ 以上の地震が時々発生しており、2024年4月3日の $M 7.7$ の地震（日本国内で観測された最大の揺れは震度4）では、与那国島久部良で27cm、宮古島平良で25cm、石垣島石垣港で17cmの津波を観測した。

領域a内の回数積算及びM-T図

2009 09 01 00:00 -- 2025 05 31 24:00



1904年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域b）では、過去に $M 7.0$ 以上の地震が時々発生している。1920年6月5日に花蓮地震（ $M 8.2$ ）が発生し、台湾では死者5人、負傷者20人などの被害が生じた。1986年11月15日の $M 7.4$ の地震（日本国内で観測された最大の揺れは震度3）により、宮古島平良で30cm（平常潮位からの最大の高さ）の津波を観測し、台湾では死者13人、負傷者45人などの被害が生じた。1999年9月21日に集集地震（ $M 7.6$ 、日本国内で観測された最大の揺れは震度2）が発生し、台湾では死者2,413人、負傷者8,700人などの被害が生じた。

（被害は、宇津及び国際地震工学センターの「世界の被害地震の表」による。）

○その他の地域の地震活動

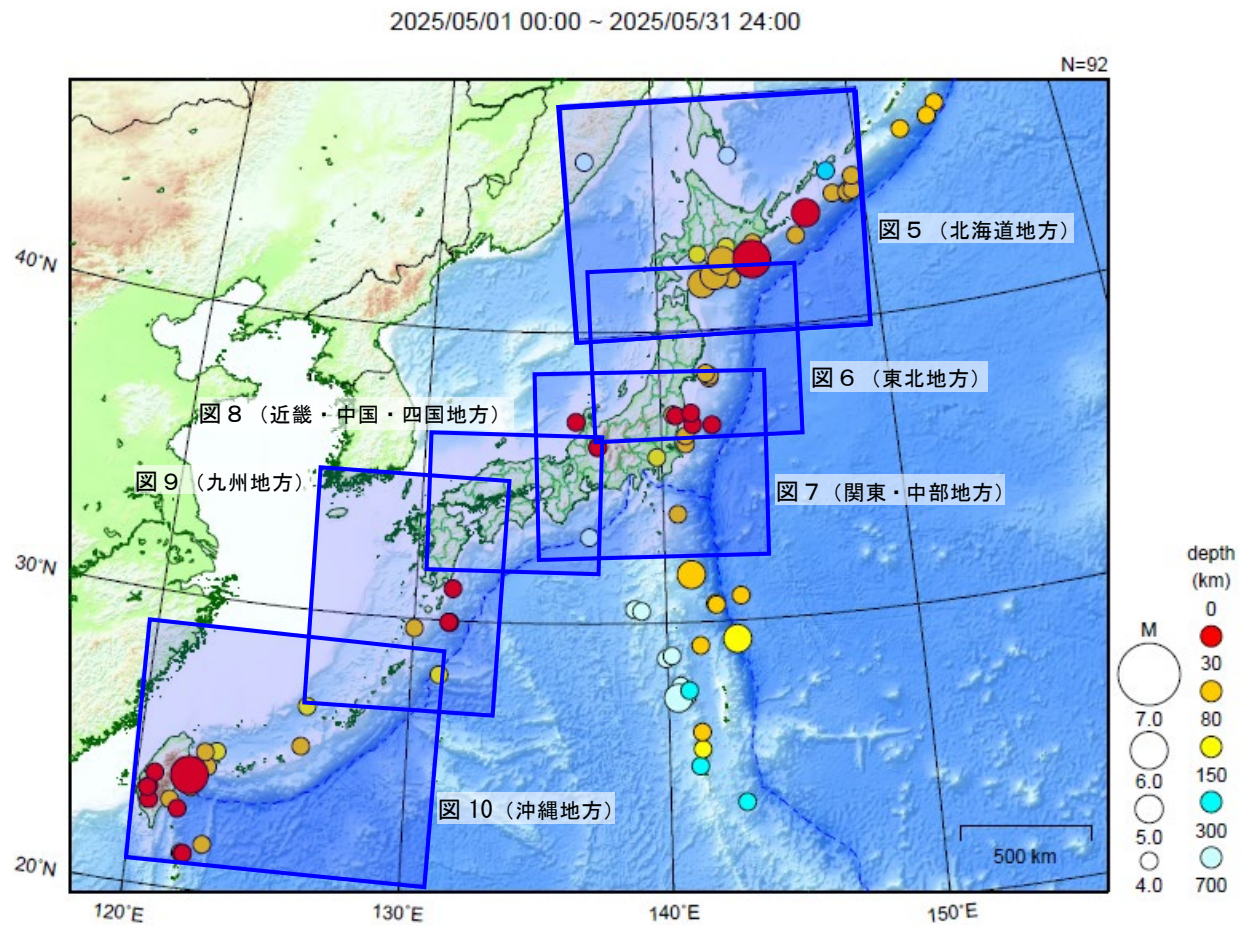


図11 日本周辺で発生した主な地震の震央分布図（2025年5月1日～5月31日、 $M \geq 4.0$ ）

地形データは日本海洋データセンターのJ-EGG500、米国地質調査所のGTOP030及び米国国立地球物理データセンターのETOP02v2を使用

[概況]

5月に日本周辺で発生した $M6.0$ 以上の地震は2回（4月は1回）であった。

5月中に図5～10の領域外で目立った活動はなかった。

● 南海トラフ周辺の地殻活動

気象庁は、第94回南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会、第472回地震防災対策強化地域判定会（定例）を開催し、令和7年6月6日に「最近の南海トラフ周辺の地殻活動」として次の内容の南海トラフ地震関連解説情報を発表した^{（注）}。これに関連する概要資料をp.27に掲載する。

（注）<https://www.jma.go.jp/jma/press/hantei.html>

現在のところ、南海トラフ沿いの大規模地震の発生の可能性が平常時^{（注）}と比べて相対的に高まったと考えられる特段の変化は観測されていません。

（注）南海トラフ沿いの大規模地震（M8からM9クラス）は、「平常時」においても今後30年以内に発生する確率が80%程度であり、昭和東南海地震・昭和南海地震の発生から約80年が経過していることから切迫性の高い状態です。

1. 地震の観測状況

（顕著な地震活動に関する現象）

南海トラフ周辺では、特に目立った地震活動はありませんでした。

（ゆっくりすべりに関係する現象）

プレート境界付近を震源とする深部低周波地震（微動）のうち、主なものは以下のとおりです。

（1）紀伊半島中部から紀伊半島北部：4月27日から5月14日

2. 地殻変動の観測状況

（顕著な地震活動に関する現象）

GNSS観測によると、2024年8月8日の日向灘の地震の発生後、宮崎県南部を中心にゆっくりとした東向きの変動が観測されています。また、2025年1月13日の日向灘の地震に伴い宮崎県南部を中心に地殻変動が観測され、それ以降にもゆっくりとした東向きの変動が観測されています。

（ゆっくりすべりに関係する現象）

上記（1）の深部低周波地震（微動）とほぼ同期して、周辺に設置されている複数のひずみ計でわずかな地殻変動を観測しました。周辺の傾斜データでも、わずかな変化が見られました。

GNSS観測によると、2019年春頃から四国中部で観測されている、それまでの傾向とは異なる地殻変動は、2024年秋頃から鈍化しています。また、2020年初頭から紀伊半島南部で観測されている、それまでの傾向とは異なる地殻変動は、2024年秋頃から停滞していましたが、2025年初頭から再び地殻変動が観測されています。さらに、2022年初頭から、静岡県西部から愛知県東部にかけて、それまでの傾向とは異なる地殻変動が観測されています。

（長期的な地殻変動）

GNSS観測等によると、御前崎、潮岬及び室戸岬のそれぞれの周辺では長期的な沈降傾向が継続しています。

3. 地殻活動の評価

（顕著な地震活動に関する現象）

GNSS観測による、2024年8月8日と2025年1月13日の日向灘の地震発生後のゆっくりとした変動は、これらの地震に伴う余効変動と考えられます。余効変動自体はM7程度以上の地震が発生すると観測されるもので、今回の余効変動は、そのような地震後に観測される通常の余効変動の範囲内と考えられます。

（ゆっくりすべりに関係する現象）

上記（1）の深部低周波地震（微動）と地殻変動は、想定震源域のプレート境界深部において発生した短期的ゆっくりすべりに起因するものと推定しています。

2019年春頃からの四国中部の地殻変動、2020年初頭からの紀伊半島南部の地殻変動及び2022年初頭からの静岡県西部から愛知県東部にかけての地殻変動は、それぞれ四国中部周辺、紀伊半島南部周辺及び渥美半島周辺のプレート境界深部における長期的ゆっくりすべりに起因するものと推定しています。このうち、四国中部周辺の長期的ゆっくりすべりは、2024年秋頃から鈍化しています。また、紀伊半島南部周辺の長期的ゆっくりすべりは、2024年秋頃から一時的に停滞してい

ましたが、最近は再びゆっくりすべりが見られています。

これらの深部低周波地震（微動）、短期的ゆっくりすべり、及び四国中部周辺、渥美半島周辺の長期的ゆっくりすべりは、それぞれ、従来からも繰り返し観測されてきた現象です。また、紀伊半島南部周辺での長期的ゆっくりすべりは、南海トラフ周辺の他の場所で観測される長期的ゆっくりすべりと同様の現象と考えられます。

（長期的な地殻変動）

御前崎、潮岬及び室戸岬のそれぞれの周辺で見られる長期的な沈降傾向はフィリピン海プレートの沈み込みに伴うもので、その傾向に大きな変化はありません。

上記観測結果を総合的に判断すると、南海トラフ地震の想定震源域ではプレート境界の固着状況に特段の変化を示すようなデータは得られておらず、南海トラフ沿いの大規模地震の発生の可能性が平常時と比べて相対的に高まったと考えられる特段の変化は観測されていません。

〔「最近の南海トラフ周辺の地殻活動」についての頁で使われる用語〕

・「想定震源域」

南海トラフ沿いの大規模地震発生時に、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界が破壊されると想定される領域。「想定震源域」全体もしくは一部が破壊されると考えられている。

・「クラスタ」、「クラスタ除去」

地震は時間空間的に群（クラスタ：cluster）をなして起きることが多くある。「本震とその後に起きる余震」、「群発地震」などが典型的なクラスタで、余震活動等の影響を取り除いて地震活動全体の推移を見ることを「クラスタ除去」と言う。例えば、相互の震央間の距離が3 km 以内で、相互の発生時間差が7 日以内の地震群をクラスタとして扱い、その中の最大の地震をクラスタに含まれる地震の代表とし、地震が1 つ発生したと扱う。

・「長期的ゆっくりすべり（長期的スロースリップ）」

想定震源域の深部で、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界が数ヶ月～数年間かけてゆっくりとすべる現象で、数年～十年程度の間隔で繰り返し発生していると考えられている。例えば、東海地域では、前々回は2000 年秋頃～2005 年夏頃にかけて発生し、前回は2013 年はじめ頃から2017 年はじめ頃にかけて発生した。

・「深部低周波地震（微動）」

深さ約 30km～40km で発生する、通常地震より長周期の波が卓越する地震を「深部低周波地震」と言う。長野県南部～日向灘にかけては帯状につながる深部低周波地震の震央分布が見られる。深部低周波微動は、P 波やS 波が明瞭ではなく震動が継続するもので、現象的には深部低周波地震と同じであるが、解析手法に違いがあるため、深部低周波地震が観測されない場合にも観測されることがある。

・「短期的ゆっくりすべり（短期的スロースリップ）」

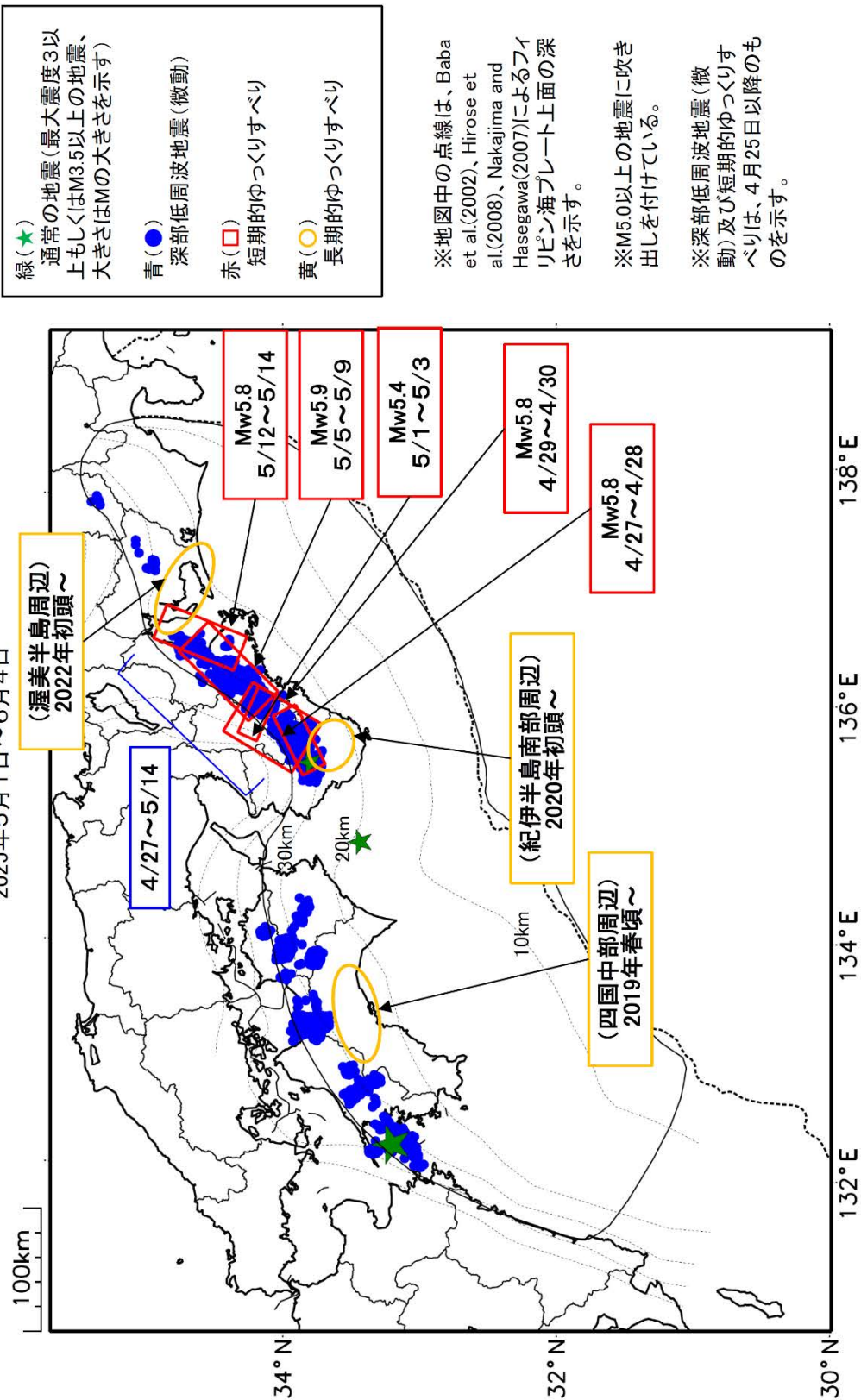
「短期的ゆっくりすべり」は、長期的ゆっくりすべりが発生する領域のさらに深部の、深部低周波地震（微動）の発生領域とほぼ同じ領域でのフィリピン海プレートと陸のプレートの境界のすべりと考えられている。数日～1 週間程度継続する「短期的ゆっくりすべり（短期的スロースリップ）」が観測されるときは、ほぼ同時に深部低周波地震（微動）活動が観測されることが多い。短期的ゆっくりすべりは、数ヶ月から1 年程度の間隔で繰り返し発生している。

注）地震活動および地殻活動の解析には Hirose et al. (2008)、Baba et al. (2002) によるフィリピン海プレートと陸のプレートの境界データを使用している。

気象庁では、大規模地震の切迫性が高いと指摘されている南海トラフ周辺の地震活動や地殻変動等の状況を定期的に評価するため、南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会、地震防災対策強化地域判定会を毎月開催して委員の意見提供等を受け、現在の状況を「最近の南海トラフ周辺の地殻活動」として取りまとめ南海トラフ地震関連解説情報を発表している。

最近の南海トラフ周辺の地殻活動

2025年5月1日～6月4日



※地図中の点線は、Baba et al.(2002)、Hirose et al.(2008)、Nakajima and Hasegawa(2007)によるフィリピン海プレート上面の深さを示す。

※M5.0以上の地震に吹き出しを付けている。

※深部低周波地震(微動)及び短期的ゆっくりすべりは、4月25日以降のものを示す。

通常の地震(最大震度3以上もしくはM3.5以上).....気象庁の解析結果による。
 深部低周波地震(微動).....(震源データ)気象庁の解析結果による。(活動期間)気象庁及び防災科学技術研究所の解析結果による。
 短期的ゆっくりすべり.....【紀伊半島中部から紀伊半島北部(1-3)】気象庁の解析結果を示す。
 長期的ゆっくりすべり.....【紀伊半島中部から紀伊半島北部(1-1)～(1-2)、(1-4)～(1-5)】産業技術総合研究所の解析結果を示す。
国土地理院の解析結果を元におおよその場所を表示している。

● 日本の主な火山活動

全国月間火山概況（令和7年5月）

警報・予報事項に変更のあった火山は以下のとおりです。その他の火山では、警報・予報事項に変更はありません（令和7年6月9日14時現在）。

霧島山（新燃岳）では、27日に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベル3（入山規制）から2（火口周辺規制）に引き下げました。

御嶽山では、20日に噴火予報を発表し、噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から1（活火山であることに留意）に引き下げました。

表1 令和7年6月9日現在の火山現象に関する警報及び予報の発表状況

特別警報・ 警報・予報	噴火警戒レベル 及びキーワード	該当火山
火口周辺警報	レベル3（入山規制）	桜島
	入山危険	西之島※
	レベル2 （火口周辺規制）	岩手山、浅間山、霧島山（新燃岳）、薩摩硫黄島、口永良部島、諏訪之瀬島
	火口周辺危険	硫黄島※
噴火警報（周辺海域）	周辺海域警戒	ベヨネース列岩※、須美寿島※、福德岡ノ場※
噴火予報	レベル1（活火山であることに留意）	アトサヌプリ、雌阿寒岳、大雪山、十勝岳、樽前山、倶多楽、有珠山、北海道駒ヶ岳、恵山、岩木山、八甲田山、十和田、秋田焼山、秋田駒ヶ岳、鳥海山、栗駒山、蔵王山、吾妻山、安達太良山、磐梯山、那須岳、日光白根山、草津白根山（白根山（湯釜付近））、草津白根山（本白根山）、新潟焼山、弥陀ヶ原、焼岳、乗鞍岳、御嶽山、白山、富士山、箱根山、伊豆東部火山群、伊豆大島、新島、神津島、三宅島、八丈島、青ヶ島、鶴見岳・伽藍岳、九重山、阿蘇山、雲仙岳、霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）、霧島山（大幡池）、霧島山（御鉢）
	活火山であることに留意	知床硫黄山、羅臼岳、天頂山、摩周、雄阿寒岳、丸山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、恐山、八幡平、鳴子、沼沢、燧ヶ岳、高原山、男体山、赤城山、榛名山、草津白根山、横岳、妙高山、アカンダナ山、利島、御蔵島、伊豆鳥島、孀婦岩、海形海山、海德海山、噴火浅根、北福德堆、南日吉海山、日光海山、三瓶山、阿武火山群、由布岳、福江火山群、霧島山、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、硫黄島、西表島北北東海底火山、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山

※印を付した火山は火山現象に関する海上警報も発表中。

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/kazan/kazanyougo/mokuji.html>

【凡例】
 火山名
 （噴火警戒レベル、キーワード）
 レベル対象外火山はキーワードのみ
 ※は火山現象に関する海上警報発表中



図1 火山現象に関する警報を発表中の火山

【各火山の活動状況及び警報・予報事項】（5月1日～31日）

全国の主な火山の活動状況及び警報・予報事項は以下のとおりです。その他の火山については、警報・予報事項に変更はありません。

岩手山【火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）】

6月3日（期間外）01時から10時にかけて山頂付近を震源とする火山性地震が増加しました。同日05時00分にはマグニチュード3.1の火山性地震が発生し、岩手県八幡平市で最大震度2を観測しました。

岩手山周辺の傾斜計やひずみ計、GNSS連続観測により2024年2月頃から見られている山体の深いところの膨張を示す地殻変動は、2024年後半から鈍化しているものの引き続き観測されています。JAXAの衛星「だいち2号」及び「だいち4号」の2023年11月から2025年5月の観測データを用いた国土地理院によるSAR干渉解析結果では、大地獄谷周辺及び岩手山西部周辺に衛星に近づく変動が見られています。一方、「だいち4号」の4月18日から5月2日、5月2日から16日及び16日から30日の観測データを用いた解析結果では、ノイズレベルを超える変動は見られません。

黒倉山付近で発生している微小な火山性地震は、3月以降発生頻度に高まりがみられ、その後も消長を繰り返しています。

引き続き、西岩手山（大地獄谷・黒倉山から姥倉山）の想定火口から概ね2kmの範囲に影響を及ぼす噴火が発生する可能性があります。

西岩手山の想定火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

また、噴火時には火口の風下側では火山灰や小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

浅間山〔火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）〕

山体浅部を震源とする火山性地震は、2024年4月中旬以降増加した状態が続いており、その後も消長を繰り返しています。山体の西側での膨張を示すと考えられる傾斜変動は、2024年5月以降、停滞しています。火山ガス（二酸化硫黄）放出量は、1日あたり500トン前後で推移しており、2023年3月以前に比べて多い状態が続いています。引き続き、山頂火口から概ね2kmの範囲に影響を及ぼす噴火が発生する可能性があります。

山頂火口から概ね2kmの範囲では、弾道を描いて飛散する大きな噴石や火砕流に警戒してください。地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

噴火時には、風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

御嶽山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕←20日に噴火予報を発表し、噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から1（活火山であることに留意）に引下げ

2024年12月以降、剣ヶ峰山頂付近の火山性地震の増加や、山頂方向が隆起する地殻変動を伴う火山性微動が観測されるなど、火山活動の高まりが認められていましたが、2月以降は低調に推移しています。

火山活動は静穏に経過しており、地獄谷火口から概ね1kmの範囲に影響を及ぼす噴火の可能性は低くなったと考えられます。このため、20日11時00分に噴火予報を発表し、噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から1（活火山であることに留意）に引き下げました。

地獄谷火口内では、突発的な火山灰等の噴出に注意が必要です。

地元自治体等が行う立入規制に従い、また、登山する際はヘルメットを持参するなどの安全対策をしてください。

ベヨネース列岩〔噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報〕

今期間、噴火や変色水等の特異事象は認められなかったものの、明神礁付近では2023年2月に変色水が認められていることから、海底噴火の発生に引き続き警戒が必要です。

ベヨネース列岩（明神礁）の周辺海域では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石やベースサージ（横なぐりの噴煙）に警戒してください。また、噴火による浮遊物（軽石等）に注意してください。

須美^{すみ}寿^{すじま}島〔噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報〕

今期間、噴火は認められませんでした。2024年7月以降、須美寿島周辺で変色水がほぼ継続して認められており、今後、海底噴火が発生する可能性があります。

須美寿島の周辺海域では、海底噴火に警戒してください。また、海底噴火による浮遊物（軽石等）に注意してください。

西之島〔火口周辺警報（入山危険）及び火山現象に関する海上警報〕

島の周囲に変色水が認められています。今期間、噴火は観測されていませんが、2022年10月以降しばしば噴火が観測されており、比較的活発な火山活動は継続していると考えられます。

山頂火口から概ね1.5kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石や溶岩流に警戒してください。

硫黄島〔火口周辺警報（火口周辺危険）及び火山現象に関する海上警報〕

今期間、硫黄島内及びその周辺海域で噴火は認められませんでした。2022年以来、翁浜（おきなほま）沖ではマグマの噴出が繰り返し発生しており、今後も同様の噴火が発生する可能性があります。また、長期的に島全体の隆起を示す地殻変動が認められ、多くの噴気地帯や噴気孔があり、各所で小規模な噴火が時々発生していることから、翁浜沖での噴火同様、島内における小規模な噴火の発生にも警戒してください。

福德岡ノ場〔噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報〕

2021年8月下旬以降、噴火は認められないものの、引き続き、変色水域が確認されています。活発な火山活動は継続しており、今後も噴火の可能性があります。

福德岡ノ場の周辺海域では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石やベースサージ（横なぐりの噴煙）に警戒してください。噴火による浮遊物（軽石）にも注意が必要です。

霧島山（新燃岳）〔火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）〕 ←27日に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを3（入山規制）から2（火口周辺規制）に引下げ。

新燃岳では、火口直下を震源とする火山性地震が引き続き増減を繰り返しています。4月下旬から5月上旬に火山性地震が非常に多い状態となったものの、その後減少しました。新燃岳周辺の傾斜計にも特段の変化は認められません。火山活動に低下傾向が認められていることから、新燃岳火口から2kmを超える範囲に影響を及ぼす噴火が発生する可能性は低くなったと判断し、27日に噴火警戒レベルを3（入山規制）から2（火口周辺規制）に引き下げました。その後も火山性地震が継続してみられています。

GNSS連続観測では、2024年11月頃から、霧島山を挟む一部の基線で新燃岳付近の地下の膨張を示すと考えられるわずかな伸びが認められます。また、3月頃から、霧島山深部の膨張を示すと考えられるわずかな伸びが認められます。

弾道を描いて飛散する大きな噴石が新燃岳火口から概ね2kmまで、火砕流が概ね1kmまで達する可能性があります。そのため、新燃岳火口から概ね2kmの範囲では警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

桜島〔火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）〕

桜島では12日から山体膨張がみられ、15日から南岳山頂火口で噴火活動が活発となっています。

南岳山頂火口では、噴火¹⁾が146回、爆発が79回発生しました。噴煙は最高で火口縁上3,500m以上に上がり、弾道を描いて飛散する大きな噴石は最大で5合目（南岳山頂火口より約1,200m）まで達しました。

昭和火口では、ごく小規模なものも含め噴火は発生しませんでした。

広域のGNSS連続観測によると、始良カルデラ（鹿児島湾奥部）の地下深部にマグマが長期にわたり蓄積した状態と考えられます。また、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は概ね多い状態であることから、今後も噴火活動が継続すると考えられます。

南岳山頂火口及び昭和火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。

風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るため注意してください。爆発に伴う大きな空振によって窓ガラスが割れるなどのおそれがあるため注意してください。なお、今後の降灰状況次第では、降雨時に土石流が発生する可能性がありますので留意してください。

薩摩硫黄島〔火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）〕

火山性地震や火山性微動の発生状況に特段の変化はありません。

火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は1日あたり1,000トン前後の状態が長期的に継続しており、時折噴煙が高くなるほか、夜間に火映を観測しています。長期的には噴煙活動や熱活動が高まった状態が続いていることから、硫黄岳火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生する可能性があります。

硫黄岳火口の中心から概ね0.5kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。また、火山ガスにも注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

口永良部島〔火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）〕

口永良部島では、山体の浅いところで地震活動がやや活発となっています。火山性地震は主に古岳火口付近の浅いところで発生しました。

GNSS連続観測では、2023年11月以降、山体の膨張を示す変動は認められません。

新岳火口及び古岳火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。また、西側は新岳火口から概ね2kmの範囲では、火砕流に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

諏訪之瀬島【火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）】

御岳（おたけ）火口では、噴火活動が続いています。

噴火に伴う噴煙は、最高で火口縁上1,000mまで上がりました。弾道を描いて飛散する大きな噴石は、観測されませんでした。

GNSS連続観測では、2024年10月以降、島の西側やや深部におけるマグマの蓄積量の増加を示唆する変動が認められています。島の西側で発生していると推定される火山性地震は、概ね少ない状態で経過していますが、2024年10月頃から増加傾向がみられています。

御岳火口では長期にわたり噴火活動が継続しており、今後も火口周辺に大きな噴石が飛散する噴火活動が継続すると考えられます。

御岳火口中心から概ね1.5kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

上記以外の火山の活動状況に変化はなく、予報事項に変更はありません。

（火山の順は日本活火山総覧（第4版）による）

- 1) 桜島では噴火活動が活発なため、噴火のうち、爆発もしくは噴煙量が中量以上（概ね噴煙の高さが火口縁上1,000m以上）の噴火の回数を計数しています。資料の噴火回数はこの回数を示します。また、基準に達しない噴火は、ごく小規模な噴火として噴火回数に含めていません。

資料1 全国の火山現象に関する特別警報・警報・予報の発表状況のまとめ

(1) 主な活火山

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
北海道地方	アトサヌプリ	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2016年3月23日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	雌阿寒岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2008年9月29日火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年10月17日噴火予報（平常） 2008年11月17日火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年12月16日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年4月10日噴火予報（レベル1、平常） 2015年7月28日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年11月13日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年11月23日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年12月21日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	大雪山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2019年3月18日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	十勝岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2008年12月16日噴火予報（レベル1、平常） 2014年12月16日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年2月24日噴火予報（レベル1、平常）
	樽前山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	倶多楽	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2015年10月1日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	有珠山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2008年6月9日噴火予報（レベル1、平常）
	北海道駒ヶ岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	恵山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2016年3月23日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
東北地方	岩木山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2016年7月26日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	八甲田山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2019年7月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	十和田	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2022年3月24日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	秋田焼山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2013年7月25日噴火予報（レベル1、平常）
	岩手山	火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2024年10月2日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）
	秋田駒ヶ岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2009年10月27日噴火予報（レベル1、平常）
	鳥海山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2018年3月27日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	栗駒山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2019年5月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	蔵王山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2015年4月13日火口周辺警報（火口周辺危険） 2015年6月16日噴火予報（活火山であることに留意） 2016年7月26日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年1月30日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年3月6日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	吾妻山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2014年12月12日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2016年10月18日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年9月15日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年4月22日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年5月9日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年6月17日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	安達太良山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2009年3月31日噴火予報（レベル1、平常）
	磐梯山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2009年3月31日噴火予報（レベル1、平常）

令和7年5月 地震・火山月報（防災編）

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
関東・中部地方	那須岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2009年3月31日噴火予報（レベル1、平常）
	日光白根山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2016年12月6日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	草津白根山	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2018年11月27日噴火予報（活火山であることに留意）
	草津白根山（白根山（湯釜付近））	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2009年4月10日噴火予報（レベル1、平常）切替 2014年6月3日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年6月7日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年4月22日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年9月21日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年9月28日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年11月27日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年3月23日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	草津白根山（本白根山）	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2018年1月23日火口周辺警報（火口周辺危険） 2018年1月23日火口周辺警報（入山危険） 2018年3月16日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年11月27日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年4月5日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	浅間山	火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2008年8月8日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年2月1日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年2月3日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2009年4月7日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2010年4月15日噴火予報（レベル1、平常） 2015年6月11日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年8月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年8月7日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2019年8月19日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年11月6日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2020年6月25日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年2月5日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2021年3月23日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年8月6日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2023年3月23日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）
	新潟焼山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2011年3月31日噴火予報（レベル1、平常）
	弥陀ヶ原	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2019年5月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	焼岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2011年3月31日噴火予報（レベル1、平常） 2022年5月24日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2022年7月12日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2025年3月4日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2025年4月18日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	乗鞍岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2019年3月18日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	御嶽山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2008年3月31日噴火予報（レベル1、平常） 2014年9月27日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2014年9月28日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2015年1月19日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2015年3月31日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2015年6月26日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年8月21日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2022年2月23日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2022年4月18日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）切替 2022年6月23日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2025年1月16日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2025年5月20日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	白山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2015年9月2日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）

令和7年5月 地震・火山月報（防災編）

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
関東・中部地方	富士山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	箱根山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2009年3月31日噴火予報（レベル1、平常） 2015年5月6日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年6月30日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2015年9月11日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年11月20日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年5月19日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年10月7日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	伊豆東部火山群	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2011年3月31日噴火予報（レベル1、平常）
伊豆・小笠原諸島	伊豆大島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	新島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2019年7月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	神津島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2019年7月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	三宅島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年3月31日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年6月5日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	八丈島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2018年5月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	青ヶ島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2018年5月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	ベヨネース列岩	噴火警報（周辺海域警戒）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2017年3月24日噴火警報（周辺海域警戒） 2018年10月31日噴火予報（活火山であることに留意） 2023年1月26日噴火警報（周辺海域警戒）
	須美寿島	噴火警報（周辺海域警戒）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2024年9月19日噴火警報（周辺海域警戒）
	西之島	火口周辺警報（入山危険）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2013年11月20日火口周辺警報（火口周辺危険） 2014年6月3日火口周辺警報（入山危険） 2014年6月11日火口周辺警報（入山危険）切替 2015年2月24日火口周辺警報（入山危険）切替 2016年2月17日火口周辺警報（入山危険）切替 2016年8月17日火口周辺警報（火口周辺危険） 2017年2月14日噴火予報（活火山であることに留意） 2017年4月20日火口周辺警報（入山危険） 2018年6月20日火口周辺警報（火口周辺危険） 2018年7月13日火口周辺警報（入山危険） 2018年10月31日火口周辺警報（火口周辺危険） 2019年12月5日火口周辺警報（入山危険） 2019年12月16日火口周辺警報（入山危険）切替 2020年12月18日火口周辺警報（入山危険）切替
	海德海山	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2022年8月23日噴火警報（周辺海域警戒） 2025年2月14日噴火予報（活火山であることに留意）
	噴火浅根	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2022年3月27日噴火警報（周辺海域警戒） 2023年9月21日噴火予報（活火山であることに留意）
	硫黄島	火口周辺警報（火口周辺危険）	2007年12月1日火口周辺警報（火口周辺危険）
	福德岡ノ場	噴火警報（周辺海域警戒）	2007年12月1日噴火警報（周辺海域警戒） 2021年8月16日噴火警報（周辺海域警戒）切替

令和7年5月 地震・火山月報（防災編）

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
九州地方・南西諸島	鶴見岳・伽藍岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2016年7月26日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2022年7月8日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2022年7月27日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	九重山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	阿蘇山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2011年5月16日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2011年6月20日噴火予報（レベル1、平常） 2013年9月25日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2013年10月11日噴火予報（レベル1、平常） 2013年12月27日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2014年3月12日噴火予報（レベル1、平常） 2014年8月30日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年9月14日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2015年11月24日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2016年10月8日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2016年12月20日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年2月7日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年3月12日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年3月29日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年4月14日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2020年8月18日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2021年5月2日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年6月9日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2021年10月13日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年10月20日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2021年11月18日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2022年2月24日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2022年3月14日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2022年4月15日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2023年1月30日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2023年3月23日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2024年1月23日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2024年4月26日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2024年5月15日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2024年7月19日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	雲仙岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	霧島山	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2016年12月6日噴火予報（活火山であることに留意）
	霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2014年10月24日火口周辺警報（火口周辺危険） 2015年5月1日噴火予報（平常） 2016年2月28日火口周辺警報（火口周辺危険） 2016年3月29日噴火予報（活火山であることに留意） 2016年12月6日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2016年12月12日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年1月13日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2017年5月9日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年10月31日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年2月20日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年4月19日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2018年5月1日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年4月18日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2023年7月7日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2023年12月6日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	霧島山（大幡池）	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2021年3月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	霧島山（新燃岳）	火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2008年8月22日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年10月29日噴火予報（レベル1、平常） 2010年3月30日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2010年4月16日噴火予報（レベル1、平常） 2010年5月6日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2011年1月26日火口周辺警報（レベル3、入山規制）

令和7年5月 地震・火山月報（防災編）

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
九州地方・南西諸島	霧島山(新燃岳) (つづき)		2011年1月31日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2011年2月1日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2011年3月22日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2012年6月26日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2013年10月22日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年5月26日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2017年10月5日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年10月11日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2017年10月15日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2017年10月31日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2018年3月1日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2018年3月10日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2018年3月15日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2018年6月28日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年1月18日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年2月25日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年4月5日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年11月18日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年12月20日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2020年1月2日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2020年12月11日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2020年12月25日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年3月1日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2022年3月27日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2022年8月19日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2024年12月12日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2025年3月30日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2025年4月2日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2025年5月27日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）
	霧島山（御鉢）	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2018年2月9日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年3月15日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	桜島	火口周辺警報（レベル3、入山規制）	2007年12月1日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年2月3日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2008年2月20日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年4月8日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2008年7月14日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年7月28日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2008年8月28日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年2月2日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年2月19日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年3月2日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年3月10日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2009年4月24日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年7月19日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2010年9月30日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2010年10月13日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2012年3月12日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2012年3月21日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2015年8月15日噴火警報（レベル4、避難準備） 2015年9月1日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2015年11月25日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2016年2月5日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2021年4月25日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2021年4月25日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2022年7月24日噴火警報（レベル5、避難） 2022年7月27日火口周辺警報（レベル3、入山規制）
	薩摩硫黄島	火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2012年11月29日噴火予報（レベル1、平常） 2013年6月4日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2013年7月10日噴火予報（レベル1、平常） 2017年1月5日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年2月24日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年3月19日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年4月27日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年11月2日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）

令和7年5月 地震・火山月報（防災編）

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
	薩摩硫黄島 (つづき)		2021年3月8日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）切替
九州地方・南西諸島	口永良部島	火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)	2007年12月1日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年1月25日噴火予報（レベル1、平常） 2008年9月4日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年10月27日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年3月18日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年8月4日噴火予報（レベル1、平常） 2009年9月27日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年10月30日噴火予報（レベル1、平常） 2011年12月15日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2012年1月20日噴火予報（レベル1、平常） 2014年8月3日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2014年8月7日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2015年5月29日噴火警報（レベル5、避難） 2015年10月21日噴火警報（レベル5、避難）切替 2016年6月14日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2018年4月18日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年8月15日噴火警報（レベル4、避難準備） 2018年8月29日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2019年6月12日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年10月28日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2021年1月19日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年2月28日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2021年7月5日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2022年5月25日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2022年7月31日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2022年9月1日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2023年6月26日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2023年6月27日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2023年7月10日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2024年3月27日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2024年4月13日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2024年10月18日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2024年11月20日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2024年12月6日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2025年2月14日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2025年4月16日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）
	諏訪之瀬島	火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)	2007年12月1日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2020年12月28日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2021年1月14日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年3月31日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2021年4月5日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年6月23日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2021年7月29日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年9月17日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2022年7月11日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2022年9月28日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2023年1月24日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2023年3月5日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2023年6月9日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2024年1月14日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2024年1月19日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2024年3月27日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）切替

注）特別警報、警報及び予報の発表履歴欄には、2007年12月1日の火山現象に関する警報・予報及び噴火警戒レベルの運用開始からの経過を示しています。この表では、主な活火山として、警報を発表している、または常時観測を行っている火山を示しています。また、ここで示すレベルは噴火警戒レベルを示しています。

（2）その他の活火山

以下の活火山（*印及び**印を除く）では2007年12月1日に噴火予報（平常）を発表しました。また、*印の活火山では、活火山として選定された2011年6月7日に噴火予報（平常）を発表し、**印の活火山では、活火山として選定された後の2017年12月5日に噴火予報（活火山であることに留意）を発表しました。その後、いずれも火山活動に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

	火山名
北海道地方	知床硫黄山、羅臼岳、天頂山*、摩周、雄阿寒岳*、丸山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山
東北地方	恐山、八幡平、鳴子、肘折、沼沢、燧ヶ岳
関東・中部地方	高原山、男体山**、赤城山、榛名山、横岳、妙高山、アカンドナ山
伊豆・小笠原諸島	利島、御蔵島、伊豆鳥島、嬬婦岩、海形海山、北福德堆、南日吉海山、日光海山
中国・九州地方 及び南西諸島	三瓶山、阿武火山群、由布岳、福江火山群、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、硫黄鳥島、西表島北北東海底火山

注）2015年5月18日から（平常）は（活火山であることに留意）に変更しました。

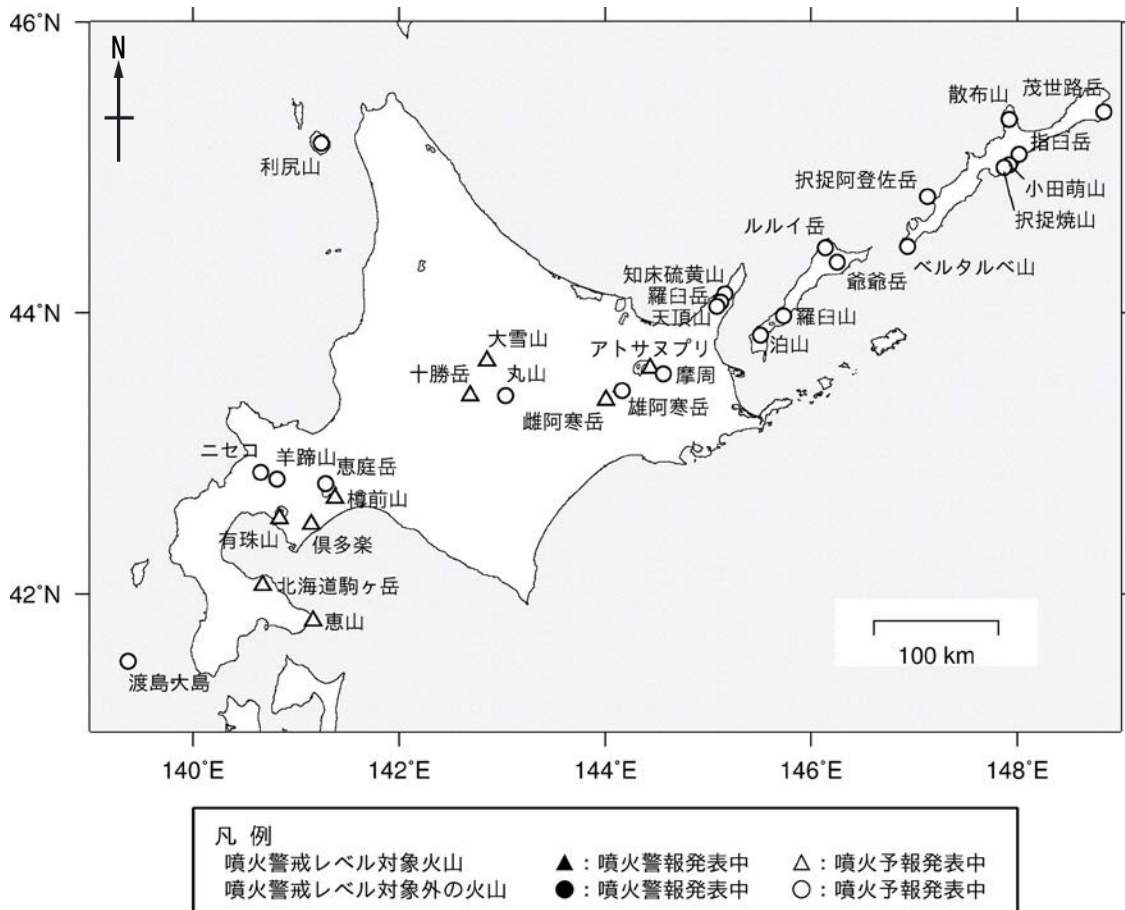
○ 北海道地方の火山活動

管内月間火山概況（令和7年5月）

札幌管区気象台
地域火山監視・警報センター

噴火警報及び噴火予報の発表状況（5月31日現在）

警報・予報	噴火警戒レベル及びキーワード	該当火山
噴火予報	レベル1（活火山であることに留意）	アトサヌプリ、雌阿寒岳、大雪山、十勝岳、樽前山、倶多楽、有珠山、北海道駒ヶ岳、恵山
	活火山であることに留意	知床硫黄山、羅臼岳、天頂山、摩周、雄阿寒岳、丸山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山



※噴火警戒レベルは、地域防災計画等でその活用が定められている火山で運用しています。

この管内月間火山概況は気象庁のホームページでも閲覧することができます。

https://www.data.jma.go.jp/vois/data/report/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/kazan/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、国土交通省北海道開発局、国土地理院、北海道大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、国立研究開発法人産業技術総合研究所、北海道及び地方独立行政法人北海道立総合研究機構エネルギー・環境・地質研究所のデータも利用して作成しています。

各火山の活動状況及び予報警報事項（5月1日～31日）

主な火山の活動及び予報警報事項の状況は以下のとおりで、予報警報事項に変更はありません。

アトサヌプリ〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

雌阿寒岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

大雪山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

十勝岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

62-2 火口、振子沢噴気孔群及びその周辺では引き続き噴煙・噴気が多く、熱活動が活発な状態が続いています。今後の火山活動の推移には注意が必要です。

樽前山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動は概ね静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

なお、山頂溶岩ドーム周辺では高温の状態が続いていますので、突発的な火山ガス等の噴出に注意してください。

倶多楽〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

有珠山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

北海道駒ヶ岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

恵山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

上記以外の火山の活動状況に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

○ 東北地方の火山活動

管内月間火山概況（令和7年5月）

仙 台 管 区 気 象 台
地域火山監視・警報センター

噴火警報及び噴火予報の発表状況（5月31日現在）

警報・予報	噴火警戒レベル 及びキーワード	該当火山
火口周辺警報	レベル2（火口周辺規制）	岩手山
噴火予報	レベル1（活火山であることに留意）	岩木山、八甲田山、十和田、秋田焼山、秋田駒ヶ岳 鳥海山、栗駒山、蔵王山、吾妻山、安達太良山、磐梯山
	活火山であることに留意	恐山、八幡平、鳴子、肘折、沼沢、燧ヶ岳

各火山の活動状況及び予報警報事項（5月1日～31日）

主な火山の活動及び予報警報事項の状況は以下のとおりで、予報警報事項に変更はありません。

岩木山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

八甲田山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

十和田〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

GNSS 連続観測では、2023 年前半から主に十和田湖を挟む東西の基線でわずかな変化が認められていますが、その他の火山活動に特段の変化はなく、噴火の兆候は認められません。

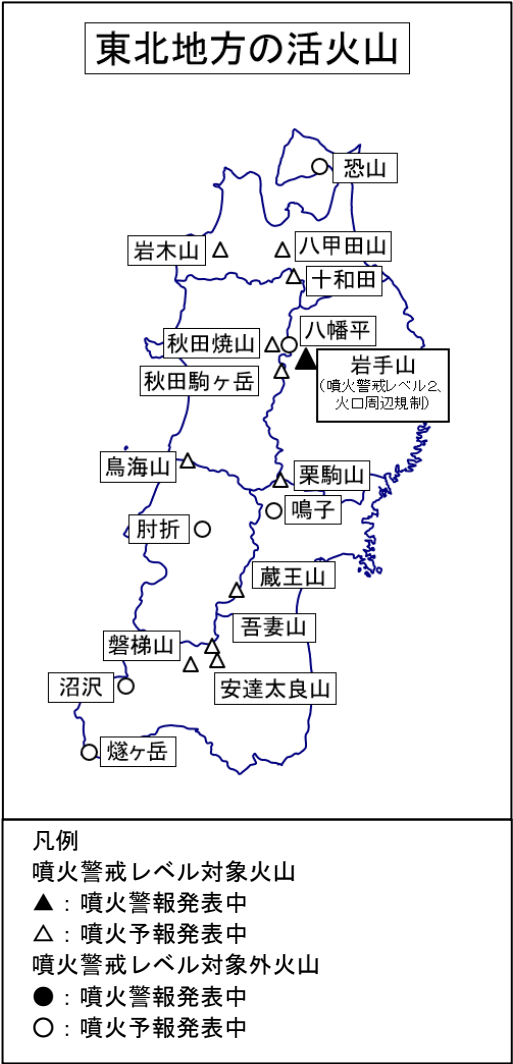
秋田焼山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

GNSS 連続観測では2020 年中頃から秋田焼山を挟む基線でわずかな伸びの変化が継続していますが、その他の火山活動に特段の変化はなく、噴火の兆候は認められません。

岩手山〔火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）〕

6月3日（期間外）01時から10時にかけて山頂付近を震源とする火山性地震が増加しました。同日05時00分にはマグニチュード3.1の火山性地震が発生し、岩手県八幡平市で最大震度2を観測しました。

岩手山周辺の傾斜計やひずみ計、GNSS 連続観測により2024年2月頃から見られている山体の深いところの膨張を示す地殻変動は、2024年後半から鈍化しているものの引き続き観測されています。JAXAの衛星「だいち2号」及び「だいち4号」の2023年11月から2025年5月の観測データを用いた国土



地理院による SAR 干渉解析結果では、大地獄谷周辺及び岩手山西部周辺に衛星に近づく変動が見られています。一方、「だいち4号」の4月18日から5月2日、5月2日から16日及び16日から30日の観測データを用いた解析結果では、ノイズレベルを超える変動は見られません。

黒倉山付近で発生している微小な火山性地震は、3月以降発生頻度に高まりがみられ、その後も消長を繰り返しています。

引き続き、西岩手山（大地獄谷・黒倉山から姥倉山）の想定火口から概ね2kmの範囲に影響を及ぼす噴火が発生する可能性があります。

西岩手山の想定火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

また、噴火時には火口の風下側では火山灰や小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

秋田駒ヶ岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

今期間、火山活動に特段の変化はありませんでした。

山頂付近では、2017年以降、火山性地震の発生頻度がやや高い状態で推移し、女^め岳^{だけ}付近では熱活動が継続していますが、その他の火山活動に特段の変化はなく、噴火の兆候は認められません。

鳥海山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

栗駒山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

蔵王山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

吾妻山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

今期間、火山性地震は観測されませんでした。また、大穴火口周辺では緩やかな地盤の収縮を示唆する変化がみられていることから、山体浅部の熱水活動は低調な状態にあるとみられます。一方で、火山ガスや噴気・地熱の活動は継続していますので、今後の火山活動の推移には留意が必要です。また、入山する際には火山ガスに注意してください。

安達太良山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

磐梯山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山性地震は2022年10月以前に比べて引き続きやや多い状態で経過していますが、その他の火山活動に特段の変化はなく、噴火の兆候は認められません。

上記以外の火山の活動状況に特段の変化はなく、予報警報事項に変更はありません。

※噴火警戒レベルは、地域防災計画等でその活用が定められている火山で運用しています。

この管内月間火山概況は気象庁ホームページで閲覧することができます。

https://www.data.jma.go.jp/vois/data/report/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php

資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/kazan/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、国土交通省東北地方整備局、国土地理院、北海道大学、弘前大学、東北大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（JAXA）、青森県及び公益財団法人地震予知総合研究振興会のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『数値地図25000（行政区・海岸線）』を使用しています。

○ 関東・中部地方及び伊豆・小笠原諸島の火山活動

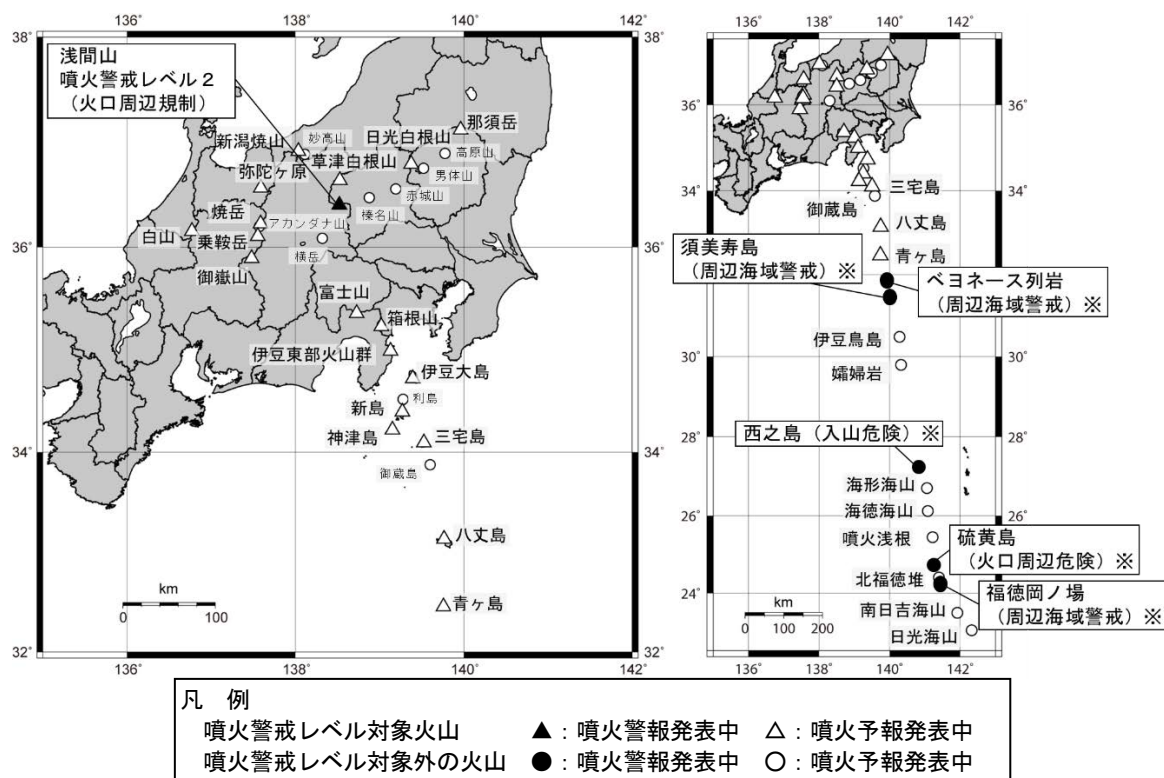
管内月間火山概況（令和7年5月）

気象庁地震火山部
火山監視・警報センター

噴火警報及び噴火予報の発表状況（5月31日現在）

警報・予報	噴火警戒レベル及びキーワード	該当火山
火口周辺警報	入山危険	西之島※
	レベル2（火口周辺規制）	浅間山
	火口周辺危険	硫黄島※
噴火警報（周辺海域）	周辺海域警戒	ベヨネース列岩※、須美寿島※、福德岡ノ場※
噴火予報	レベル1（活火山であることに留意）	那須岳、日光白根山、草津白根山（白根山（湯釜付近））、草津白根山（本白根山）、新潟焼山、弥陀ヶ原、焼岳、乗鞍岳、御嶽山、白山、富士山、箱根山、伊豆東部火山群、伊豆大島、新島、神津島、三宅島、八丈島、青ヶ島
	活火山であることに留意	高原山、男体山、赤城山、榛名山、草津白根山、横岳、妙高山、アカンダナ山、利島、御蔵島、伊豆鳥島、嬬婦岩、海形海山、海徳海山、噴火浅根、北福德堆、南日吉海山、日光海山

※印のついた火山は火山現象に関する海上警報も発表中です。



* 噴火警戒レベルは、地域防災計画等でその活用が定められている火山で運用されています。

この管内月間火山概況は気象庁ホームページでも閲覧することができます。

https://www.data.jma.go.jp/vois/data/report/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/now/kazan/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、北陸地方整備局、関東地方整備局、中部地方整備局、国土地理院、海上保安庁、海上自衛隊、東北大学、東京大学、東京科学大学、名古屋大学、京都大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、国立研究開発法人産業技術総合研究所、東京都、新潟県、長野県、岐阜県、神奈川県温泉地学研究所及び公益財団法人地震予知総合研究振興会のデータも利用して作成しています。資料の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています。

各火山の活動状況及び予報警報事項（5月1日～31日）

主な火山の活動及び予報警報事項の状況は以下のとおりです。

那須岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

日光白根山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

草津白根山（白根山（湯釜付近））〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

2024年5月下旬以降、火山性地震がやや増加した状態が継続しています。また、傾斜計での観測によると、2024年6月頃から湯釜付近の地下浅部の膨張を示すと考えられる緩やかな地殻変動が認められています。

これらのことから、今後火山活動が高まる可能性があります。今後の火山活動の推移に注意してください。

湯釜火口から概ね500mの範囲では、ごく小規模な火山灰等の噴出の可能性があります。地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。また、湯釜火口周辺では火山ガスの噴出がみられ、その周辺のくぼ地や谷地形などでは高濃度の火山ガスが滞留することがありますので注意してください。

草津白根山（本白根山）〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

ただし、2018年1月のように突発的に噴火が発生したことを踏まえ、今後も火口付近では、突発的な噴出に注意する必要があります。地元自治体の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

浅間山〔火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）〕

山体浅部を震源とする火山性地震は、2024年4月中旬以降増加した状態が続いており、その後も消長を繰り返しています。山体の西側での膨張を示すと考えられる傾斜変動は、2024年5月以降、停滞しています。火山ガス（二酸化硫黄）放出量は、1日あたり500トン前後で推移しており、2023年3月以前に比べて多い状態が続いています。引き続き、山頂火口から概ね2kmの範囲に影響を及ぼす噴火が発生する可能性があります。

山頂火口から概ね2kmの範囲では、弾道を描いて飛散する大きな噴石や火砕流に警戒してください。地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

噴火時には、風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

新湯焼山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

弥陀ヶ原〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

地獄谷周辺の地震活動は低調で、火山活動によるとみられる地殻変動も認められませんが、地獄谷では活発な熱活動が続いていますので、今後の火山活動の推移に注意してください。また、地獄谷付近では火山ガスに注意が必要です。

焼岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

山頂付近の微小な地震活動が継続しています。GNSS連続観測では、山頂付近での緩やかな膨張を示すと考えられる変化が続いています。山頂付近の噴気の状態に変化は認められません。

山頂付近の地震活動や地殻変動に加え、焼岳周辺では数年おきに震度1以上を観測する地震を含む活発な地震活動がみられるなど、中長期的に焼岳の火山活動は高まっていますので、引き続き今後の火山活動の推移に注意が必要です。

山頂付近を含む想定火口域内では、突発的に火山ガス等が噴出する可能性があります。登山する際は、火山活動の異変に注意するとともに、ヘルメットを着用するなどの安全対策をしてください。また、噴気地帯にはとどまらないでください。

乗鞍岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

御嶽山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕 ←20日に噴火予報を発表し、噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から1（活火山であることに留意）に引下げ

2024年12月以降、剣ヶ峰山頂付近の火山性地震の増加や、山頂方向が隆起する地殻変動を伴う火山性微動が観測されるなど、火山活動の高まりが認められていましたが、2月以降は低調に推移しています。

火山活動は静穏に経過しており、地獄谷火口から概ね1kmの範囲に影響を及ぼす噴火の可能性は低くなったと考えられます。このため、20日11時00分に噴火予報を発表し、噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から1（活火山であることに留意）に引き下げました。

地獄谷火口内では、突発的な火山灰等の噴出に注意が必要です。

地元自治体等が行う立入規制に従い、また、登山する際はヘルメットを持参するなどの安全対策をしてください。

白山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

富士山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

箱根山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

地震活動は低調に経過しています。火山活動によるとみられる地殻変動は観測されていません。

大涌谷周辺の想定火口域では、活発な噴気活動が続いていますので、火山灰等の突発的な噴出現象に注意が必要です。

伊豆東部火山群〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

伊豆大島〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

熱活動、地震活動は低調に経過し、火山性微動も発生しておらず、ただちに噴火が発生する兆候は認められません。地下深部へのマグマ供給によると考えられる1986年の噴火以降の長期的な島全体の膨張は、2018年頃からほぼ停滞しています。これまでに供給されたマグマは地下深部に蓄積されていると考えられることから、今後火山活動が活発化する可能性がありますので、火山活動の推移に注意してください。

新島〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

神津島〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

三宅島〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

地震活動及び噴煙活動は低調で、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量も極めて少ない状態が続いていますが、主火口周辺の地熱域では、2022年以降温度の上昇や放熱率の増加傾向が認められます。また、山体浅部の膨張を示すと考えられる村営牧場南一雄山北東間での伸びの傾向は、2023年に入り停滞していますが、山体深部の膨張を示す地殻変動は続いており、地下のマグマの蓄積が進んでいると考えられます。2000年の噴火以降の中長期的なマグマの蓄積や地熱の上昇傾向からみて、今後火山活動が活発化する可能性があります。また、火口内での噴出現象が突発的に発生する可能性があります。

山頂火口内及び主火口から500m以内では火山灰噴出に警戒してください。

八丈島〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

青ヶ島〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

ベヨネース列岩〔噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報〕

今期間、噴火や変色水等の特異事象は認められなかったものの、明神礁付近では2023年2月に変色水が認められていることから、海底噴火の発生に引き続き警戒が必要です。

ベヨネース列岩（明神礁）の周辺海域では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石やベースサージ（横なぐりの噴煙）に警戒してください。また、噴火による浮遊物（軽石等）に注意してください。

須美^{すみ}寿^{すじま}島〔噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報〕

今期間、噴火は認められませんでした。2024年7月以降、須美寿島周辺で変色水がほぼ継続して認められており、今後、海底噴火が発生する可能性があります。

須美寿島の周辺海域では、海底噴火に警戒してください。また、海底噴火による浮遊物（軽石等）に注意してください。

西之島〔火口周辺警報（入山危険）及び火山現象に関する海上警報〕

島の周囲に変色水が認められています。今期間、噴火は観測されていませんが、2022年10月以降しばしば噴火が観測されており、比較的活発な火山活動は継続していると考えられます。

山頂火口から概ね1.5kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石や溶岩流に警戒してください。

硫黄島〔火口周辺警報（火口周辺危険）及び火山現象に関する海上警報〕

今期間、硫黄島内及びその周辺海域で噴火は認められませんでした。2022年以来、^{おきなほ}沖ではマグマの噴出が繰り返し発生しており、今後も同様の噴火が発生する可能性があります。また、長期的に島全体の隆起を示す地殻変動が認められ、多くの噴気地帯や噴気孔があり、各所で小規模な噴火が時々発生していることから、^{おきなほ}沖での噴火同様、島内における小規模な噴火の発生にも警戒してください。

福德岡ノ場〔噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報〕

2021年8月下旬以降、噴火は認められないものの、引き続き、変色水域が確認されています。活発な火山活動は継続しており、今後も噴火の可能性があります。

福德岡ノ場の周辺海域では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石やベースサージ（横なぐりの噴煙）に警戒してください。噴火による浮遊物（軽石）にも注意が必要です。

上記以外の火山の活動状況に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

○ 近畿・中国・四国地方の火山活動

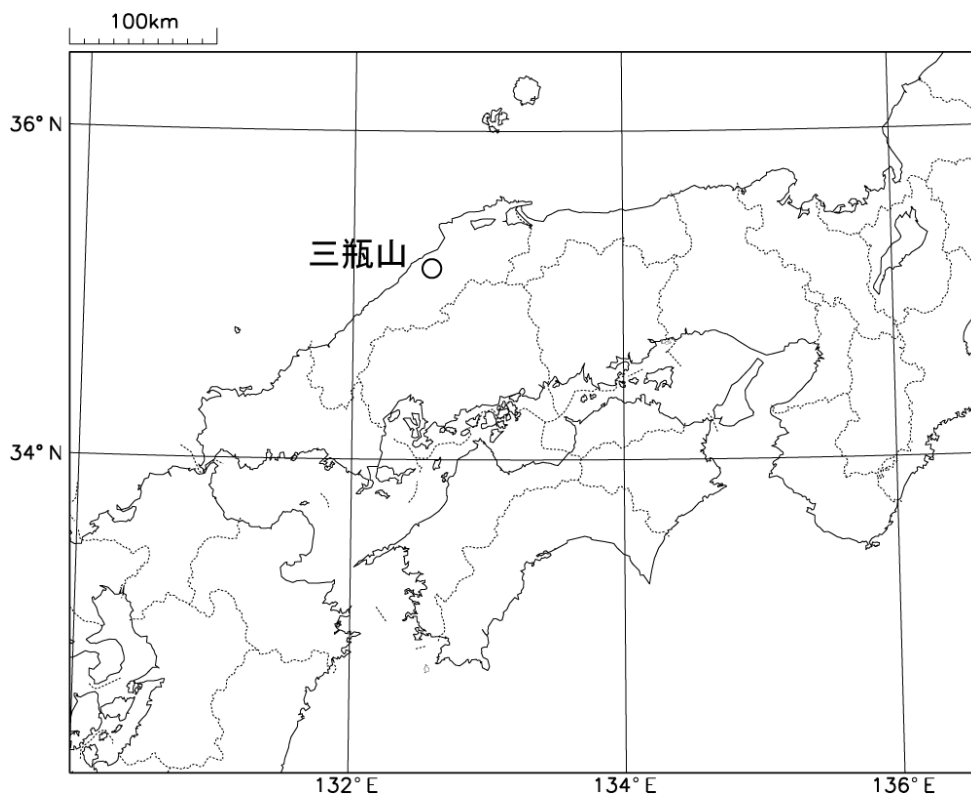
管内月間火山概況（令和7年5月）

気象庁地震火山部
火山監視・警報センター
大阪管区气象台地震火山課

噴火警報及び噴火予報の発表状況と活動状況

三瓶山〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。



この管内月間火山概況は気象庁ホームページでも閲覧することができます。

https://www.data.jma.go.jp/vois/data/report/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/now/kazan/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、国立研究開発法人防災科学技術研究所のデータも利用して作成しています。

資料の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています。

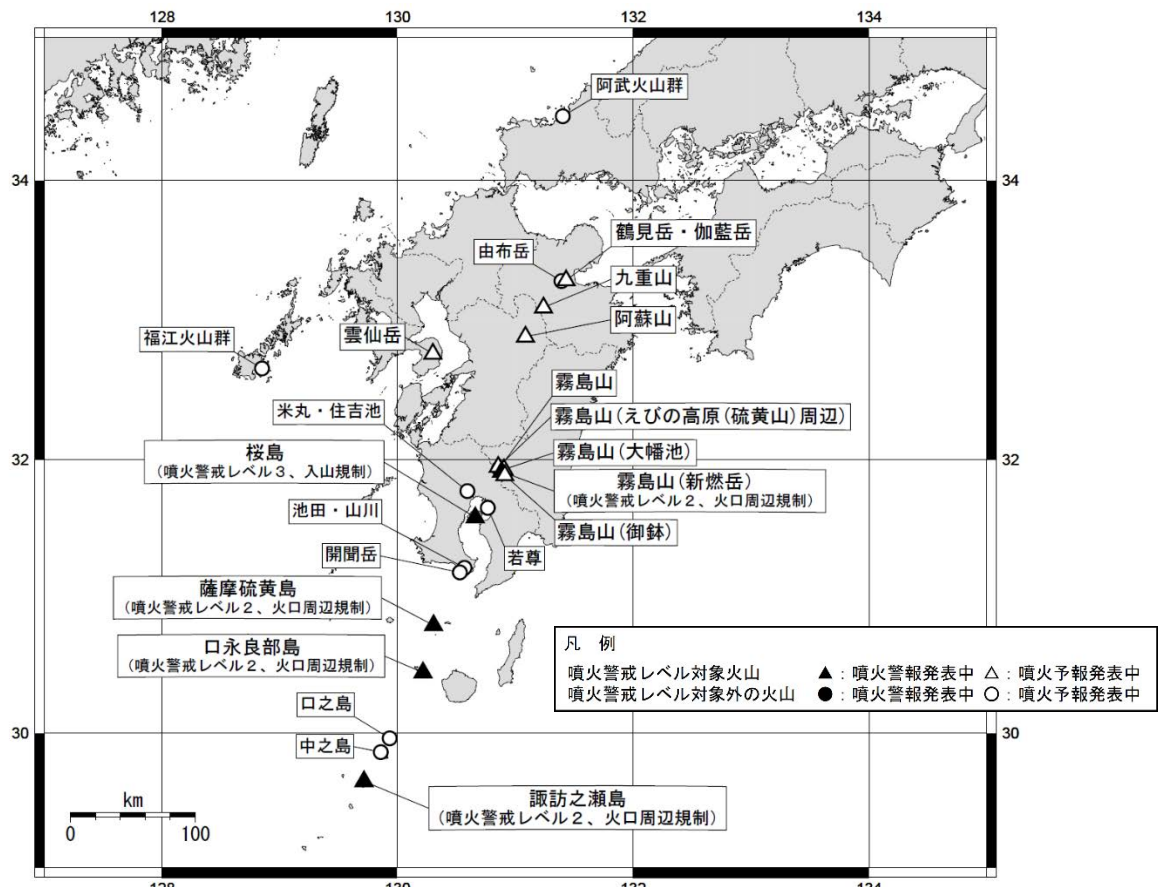
○ 九州地方の火山活動

管内月間火山概況（令和7年5月）

福岡管区气象台
地域火山監視・警報センター

噴火警報及び噴火予報の発表状況（令和7年5月31日現在）

警報・予報	噴火警戒レベル 及びキーワード	該当火山
火口周辺警報	レベル3（入山規制）	桜島
	レベル2（火口周辺規制）	霧島山（新燃岳）、薩摩硫黄島、口永良部島、諏訪之瀬島
噴火予報	レベル1（活火山であることに留意）	鶴見岳・伽藍岳、九重山、阿蘇山、雲仙岳、霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）、霧島山（大幡池）、霧島山（御鉢）
	活火山であることに留意	阿武火山群、由布岳、福江火山群、霧島山、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島



噴火警戒レベルは、地域防災計画等でその活用が定められている火山で運用されています。

この管内月間火山概況は気象庁ホームページでも閲覧することができます。

https://www.data.jma.go.jp/vois/data/report/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php

資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/kazan/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、九州地方整備局、国土地理院、東京大学、京都大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、国立研究開発法人産業技術総合研究所、大分県、長崎県、宮崎県、鹿児島県、屋久島町、三島村、十島村、阿蘇火山博物館及び公益財団法人地震予知総合研究振興会のデータも利用して作成しています。

資料の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています。

各火山の活動状況及び予報警報事項（5月1日～31日）

主な火山の活動及び予報警報事項の状況は以下のとおりです。

霧島山（新燃岳）では、27日に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを3（入山規制）から2（火口周辺規制）に引き下げました。

つるみだけ がらんだけ

鶴見岳・伽藍岳 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

火山性地震は少ない状態で経過しましたが、長期的にはB型地震¹⁾が時々発生しています。その他の火山活動に特段の変化はなく、噴火の兆候は認められません。

鶴見岳・伽藍岳の想定火口域内では、噴気、火山ガス等の噴出がみられますので、注意してください。

くじゅうさん

九重山 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

火山性地震は少ない状態であり、噴気地帯の状況にも特段の変化はなく、噴火の兆候は認められません。長期的には地熱域の温度は低下していますが、硫黄山付近の噴気地帯地下の温度上昇を示す全磁力の変化は継続しています。今後の火山活動に留意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

あそさん

阿蘇山 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

火山活動は低下した状態で推移しています。

火山性微動の振幅は概ね小さな状態で経過しました。火山ガス（二酸化硫黄）の1日あたりの放出量は少ない状態でした。

GNSS 連続観測では、深部にマグマだまりがあると考えられている草千里を挟む基線において、2024年10月頃から縮みの傾向がみられています。

火口内では、土砂や火山灰が噴出する可能性があります。また、火口付近では火山ガスに注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

うんぜんだけ

雲仙岳 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

火山活動に特段の変化はなく静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

活火山であることから、規模の小さな噴出現象が突発的に発生する可能性がありますので、留意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

きりしまやま

こうげん

いおうやま

しゅうへん

霧島山（えびの 高原（硫黄山）周辺） [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

硫黄山では、活発な噴気活動が続いています。硫黄山付近の浅いところを震源とする火山性地震は少ない状態で経過しています。

硫黄山では、現時点では噴火の兆候は認められませんが、活火山であることから、現在活発な噴気活動がみられている硫黄山火口内、及び硫黄山の西側 500mの噴気地帯から概ね 100mの範囲では、熱水・熱泥等が飛散する可能性がありますので注意してください。また、火山ガスにも注意が必要です。

地元自治体等が行う立ち入り規制に従うとともに、火口周辺や噴気孔の近くにはとどまらないでください。

きりしまやま

おおはたいけ

霧島山（大幡池） [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

火山活動に特段の変化はなく、噴火の兆候は認められません。

活火山であることから、規模の小さな噴出現象が突発的に発生する可能性がありますので、留意してください。

きりしまやま しんもえだけ

霧島山（新燃岳）〔火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）〕←27日に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを3（入山規制）から2（火口周辺規制）に引下げ。

新燃岳では、火口直下を震源とする火山性地震が引き続き増減を繰り返しています。4月下旬から5月上旬に火山性地震が非常に多い状態となったものの、その後減少しました。新燃岳周辺の傾斜計にも特段の変化は認められません。火山活動に低下傾向が認められていることから、新燃岳火口から2kmを超える範囲に影響を及ぼす噴火が発生する可能性は低くなったと判断し、27日に噴火警戒レベルを3（入山規制）から2（火口周辺規制）に引き下げました。その後も火山性地震が継続してみられています。

GNSS連続観測では、2024年11月頃から、霧島山を挟む一部の基線で新燃岳付近の地下の膨張を示すと考えられるわずかな伸びが認められます。また、3月頃から、霧島山深部の膨張を示すと考えられるわずかな伸びが認められます。

弾道を描いて飛散する大きな噴石が新燃岳火口から概ね2kmまで、火砕流が概ね1kmまで達する可能性があります。そのため、新燃岳火口から概ね2kmの範囲では警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

きりしまやま おはち

霧島山（御鉢）〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、噴火の兆候は認められません。

活火山であることから、火口内でごく少量の火山灰等を噴出する規模の小さな現象が突発的に発生する可能性がありますので注意してください。

地元自治体等が行う立入規制等に留意してください。

さくらじま

桜島〔火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）〕

桜島では12日から山体膨張がみられ、15日から南岳山頂火口で噴火活動が活発となっています。

南岳山頂火口では、噴火²⁾が146回、爆発³⁾が79回発生しました。噴煙は最高で火口縁上3,500m以上に上がり、弾道を描いて飛散する大きな噴石は最大で5合目（南岳山頂火口より約1,200m）まで達しました。

昭和火口では、ごく小規模なものも含め噴火は発生しませんでした。

広域のGNSS連続観測によると、姶良カルデラ（鹿児島湾奥部）の地下深部にマグマが長期にわたり蓄積した状態と考えられます。また、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は概ね多い状態であることから、今後も噴火活動が継続すると考えられます。

南岳山頂火口及び昭和火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。

風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るため注意してください。爆発に伴う大きな空振によって窓ガラスが割れるなどのおそれがあるため注意してください。なお、今後の降灰状況次第では、降雨時に土石流が発生する可能性がありますので留意してください。

さつま おうじま

薩摩 硫黄島〔火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）〕

火山性地震や火山性微動の発生状況に特段の変化はありません。

火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は1日あたり1,000トン前後の状態が長期的に継続しており、時折噴煙が高くなるほか、夜間に火映を観測しています。長期的には噴煙活動や熱活動が高まった状態が続いていることから、硫黄岳火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生する可能性があります。

硫黄岳火口の中心から概ね0.5kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。また、火山ガスにも注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

くちのえらぶじま

口永良部島 [火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）]

口永良部島では、山体の浅いところで地震活動がやや活発となっています。火山性地震は主に古岳火口付近の浅いところで発生しました。

GNSS 連続観測では、2023 年 11 月以降、山体の膨張を示す変動は認められません。

新岳火口及び古岳火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。また、西側は新岳火口から概ね 2 km の範囲では、火砕流に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

なかのしま

中之島 [噴火予報（活火山であることに留意）]

火山活動に特段の変化はなく静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

すわのせじま

諏訪之瀬島 [火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）]

御岳(おたけ)火口では、噴火活動が続いています。

噴火に伴う噴煙は、最高で火口縁上 1,000mまで上がりました。弾道を描いて飛散する大きな噴石は、観測されませんでした。

GNSS 連続観測では、2024 年 10 月以降、島の西側やや深部におけるマグマの蓄積量の増加を示唆する変動が認められています。島の西側で発生していると推定される火山性地震は、概ね少ない状態で経過していますが、2024 年 10 月頃から増加傾向がみられています。

御岳火口では長期にわたり噴火活動が継続しており、今後も火口周辺に大きな噴石が飛散する噴火活動が継続すると考えられます。

御岳火口中心から概ね 1.5km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

上記以外の火山の活動状況に変化はなく、予報事項に変更はありません。

- 1) 一般的に、火山性地震のうち、相が不明瞭で、比較的周期が長いものをB型地震と呼んでいます。火道内のガスの移動やマグマの発泡などにより発生すると考えられています。
- 2) 桜島では噴火活動が活発なため、噴火のうち、爆発もしくは噴煙量が中量以上（概ね噴煙の高さが火口縁上 1,000m以上）の噴火の回数を計数しています。資料の噴火回数はこの回数を示します。また、基準に達しない噴火は、ごく小規模な噴火として噴火回数に含めていません。
- 3) 桜島では、火道内の爆発による地震を伴い、爆発音、体を感じる空気の振動、噴石の火口外への飛散、または、气象台や島内の観測点で一定基準以上の空気の振動のいずれかを観測した場合に爆発としています。

○ 沖縄地方の火山活動

管内月間火山概況（令和7年5月）

気象庁地震火山部
火山監視・警報センター
沖縄気象台地震火山課

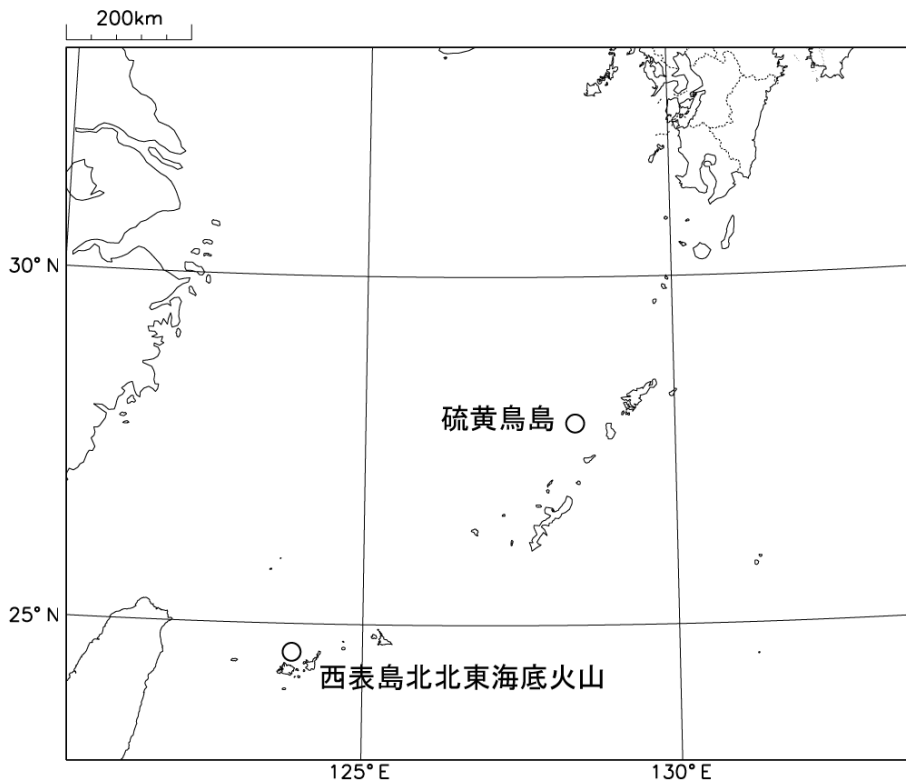
噴火警報及び噴火予報の発表状況と活動状況

硫黄島〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

西表島北北東海底火山〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。



この管内月間火山概況は気象庁ホームページでも閲覧することができます。

https://www.data.jma.go.jp/vois/data/report/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/kazan/kazanyougo/mokuji.html>

資料の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています。

表 令和7年5月の火山現象に関する特別警報、警報、予報及び情報の発表履歴

火山名	特別警報、警報及び予報の状況	発表した火山現象に関する特別警報・警報・予報・情報等		概要
桜島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル3、 入山規制)	解説情報 第35～52号	2日、5日、9日、12日 16時00分 14日 10時00分 14日～23日、26日、28日、30日 16時00分	南岳山頂火口で、5日まで噴火活動。12日から傾斜計及び伸縮計で山体膨張を示す変動を観測。15日未明から噴火活動。山体膨張は一部が解消されたものの、再び膨張に転じた。16日以降、爆発を含む活発な噴火活動が24日まで継続。噴煙、大きな噴石の状況。膨張は維持されている。火山ガス(二酸化硫黄)放出量は700～11200[t/日](現地調査2、20、22、28日)でやや多い～非常に多い。 GNSS連続観測で、始良カルデラ(鹿児島湾奥部)を挟む基線で地下深部の膨張を示す長期の緩やかな伸びがみられる。始良カルデラ深部にマグマが蓄積した状態、火山ガスも概ね多いことから、今後も噴火活動が継続すると考えられる。
		降灰予報(速報)	15日 11:50/ 16日 03:22, 06:17, 06:56/ 18日 10:20, 14:13, 19:10, 20:11/ 19日 08:11, 11:03, 12:50, 13:35, 14:07, 18:23, 19:54/ 20日 15:11, 17:22, 18:33/ 22日 12:54/ 23日 02:41, 12:00, 18:48, 19:12/ 30日 17:44, 21:21	噴火発生から1時間以内に予想される、降灰量分布や小さな噴石の落下範囲。
		降灰予報(詳細)	15日 11:39, 12:15, 15:13, 21:22/ 16日 03:55, 04:54, 06:30, 07:06, 15:19, 16:57/ 18日 10:35, 14:24, 19:24, 20:28/ 19日 08:26, 11:17, 13:00, 13:51, 14:17, 18:38, 20:04/ 20日 15:24, 17:31, 18:42/ 22日 13:06/ 23日 02:52, 12:09, 18:58, 19:22/ 30日 17:54, 21:30	噴火発生から6時間先まで(1時間ごと)に予想される降灰量分布、降灰開始時刻。
霧島山 (新燃岳)	火口周辺警報 (噴火警戒レベル3、 入山規制)	解説情報 第32～40号	2日、5日、7日、9日、12日、16日、19日、23日、26日 16時00分	火口直下の火山性地震は10月下旬頃から増減を繰り返し、前10日間の地震回数は非常に多いから多い状態。火山性微動が発生。新燃岳西側斜面の割れ目で30日午前に噴気を観測(2024年12月14日以来)。複数の傾斜計で22日～26日に北西上がりの変動を観測。現地調査(4月30日、7日、)で、地熱域の拡大や新たな発生を確認。GNSS連続観測では、11月頃から霧島山を挟む一部の基線で新燃岳付近の地下の膨張を示すわずかな伸びが認められる。引き続き火口から概ね3kmの範囲内に影響する噴火の可能性はある。
	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、 火口周辺規制)	火口周辺警報	27日 11時00分	4月下旬から5月上旬に火山性地震が非常に多くその後減少し、近傍の傾斜計にも特段の変化はない。火山活動に低下傾向が認められ、火口から2kmを超えて影響する噴火の可能性は低くなった。一方、GNSS連続観測で、付近の地下の膨張を示す伸びが認められ、火山性地震は依然として多い状態。大きな噴石が火口から概ね2kmまで、火砕流が概ね1kmまで達する噴火の可能性はある。
		解説情報 第41～42号	27日 11時10分 30日 16時00分	火口直下の火山性地震は10月下旬から増減を繰り返し、前10日間の地震回数は非常に多い状態。火山性微動はない。GNSS連続観測で11月頃から霧島山を挟む一部の基線で地下の膨張を示すわずかな伸びが認められる。引き続き大きな噴石が火口から概ね2km、火砕流が概ね1kmまで達する噴火の可能性はある。

令和7年5月 地震・火山月報（防災編）

火山名	特別警報、警報 及び予報の状況	発表した火山現象に関する 特別警報・警報・予報・情報等		概要
岩手山	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、 火口周辺規制)	解説情報 第18～22号	2日、9日、16日、23日、30日 16時00分	JAXAの衛星「だいち2号」「同4号」のデータの国土地理院による解析で、11月から4月にかけて大地獄谷周辺及び岩手山西部周辺に変動が見られ、ごく浅部の膨張と考えられる。傾斜計やひずみ計、GNSS連続観測で、2024年2月頃からの山体深部の膨張を示す変動は継続。黒倉山付近の微小な火山性地震は、やや多い状態から9日以降やや少ない状態。大地獄谷の地熱域が積雪前よりわずかに拡大。引き続き、西岩手山（大地獄谷・黒倉山から姥倉山）の想定火口から概ね2kmの範囲に影響する噴火の可能性がある。
浅間山	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、 火口周辺規制)	解説情報 第35～43号	2日、5日、9日、12日、16日、19日、23日、26日、30日 16時00分	火山性地震は2024年4月中旬以降増加した状態。同3月中旬からの山体西側の膨張を示す傾斜変動は5月以降は停滞。火山ガス（二酸化硫黄）放出量は300～700[t/日]（4月30日、5月20日、29日）、2023年3月以前より多い。引き続き、火口から概ね2kmに影響する噴火の可能性がある。
御嶽山	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、 火口周辺規制)	解説情報 第48～53号	2日、5日、9日、12日、16日、19日 16時00分	火山性地震は少なく火山性微動は観測されず。GNSS連続観測で12月頃からの一部の基線の伸びは2月頃から停滞。12月中旬以降、火山性地震の増加や、山頂方向が隆起する変動を伴う火山性微動が観測され、火山活動の高まりが認められる。地獄谷火口から概ね1km範囲に影響する噴火の可能性がある。
	噴火予報 (噴火警戒レベル1、 活火山であることに留意)	噴火予報	20日 11時00分	12月以降、山頂付近で火山性地震が増加したが2月以降は少ない。火山活動は低下し、地獄谷火口から概ね1kmの範囲に影響する噴火の可能性は低くなった。
		解説情報 第54号	20日 11時10分	2月以降は火山性地震は少なく火山性微動は観測されていない。GNSS連続観測で12月頃からみられた膨張を示すと考えられる変化は2月頃から停滞。傾斜計では2月以降は火山活動とみられる変動は認められない。
薩摩硫黄島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、 火口周辺規制)	解説情報 第18～21号	5日、12日、19日、26日 16時00分	白色の噴煙と、夜間に時々高感度の監視カメラで火映を観測。火山性地震は少ない。火山性微動はない。GNSS連続観測で、山体の膨張を示す変化はない。長期的には熱活動や噴煙活動が高まった状態が続き、火口周辺に影響する噴火の可能性がある。
口永良部島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、 火口周辺規制)	解説情報 第23～29号	2日、5日、9日、12日、16日、23日、30日 16時00分	主に古岳火口付近浅部で火山性地震が概ね多い状態。4月30日、5月13～15日の現地調査で地熱域の状況に変化なし。火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は少ない。監視カメラ及び地殻変動観測では変化はない。山体の浅部でやや活発な地震活動が継続し、新岳及び古岳の火口周辺に影響する噴火の可能性がある。
諏訪之瀬島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、 火口周辺規制)	解説情報 第18～21号	5日、12日、19日、26日 16時00分	御岳火口で噴火活動継続。爆発、噴煙、火映の状況。大きな噴石の飛散。火山性地震は少ない。火山性微動はときどき発生。GNSS連続観測では、10月以降、島の西側やや深部でマグマ蓄積量増加を示唆するわずかな変動が認められる。長期に噴火活動が継続し御岳火口周辺では大きな噴石が飛散する可能性がある。

注1）表中、解説情報とは「火山の状況に関する解説情報」のことである。

注2）岩手山、浅間山、御嶽山、霧島山（新燃岳）、桜島、薩摩硫黄島、口永良部島、諏訪之瀬島においては、噴火警報を発表している間、毎日02時から3時間毎に8回降灰予報（定時）を発表している。御嶽山では20日8時で終了した。

● 世界の主な地震

令和7年（2025年）5月に世界で発生したマグニチュード（M）6.0以上または被害を伴った地震の震央分布を図1に示す。また、その震源要素等を表1に示す。

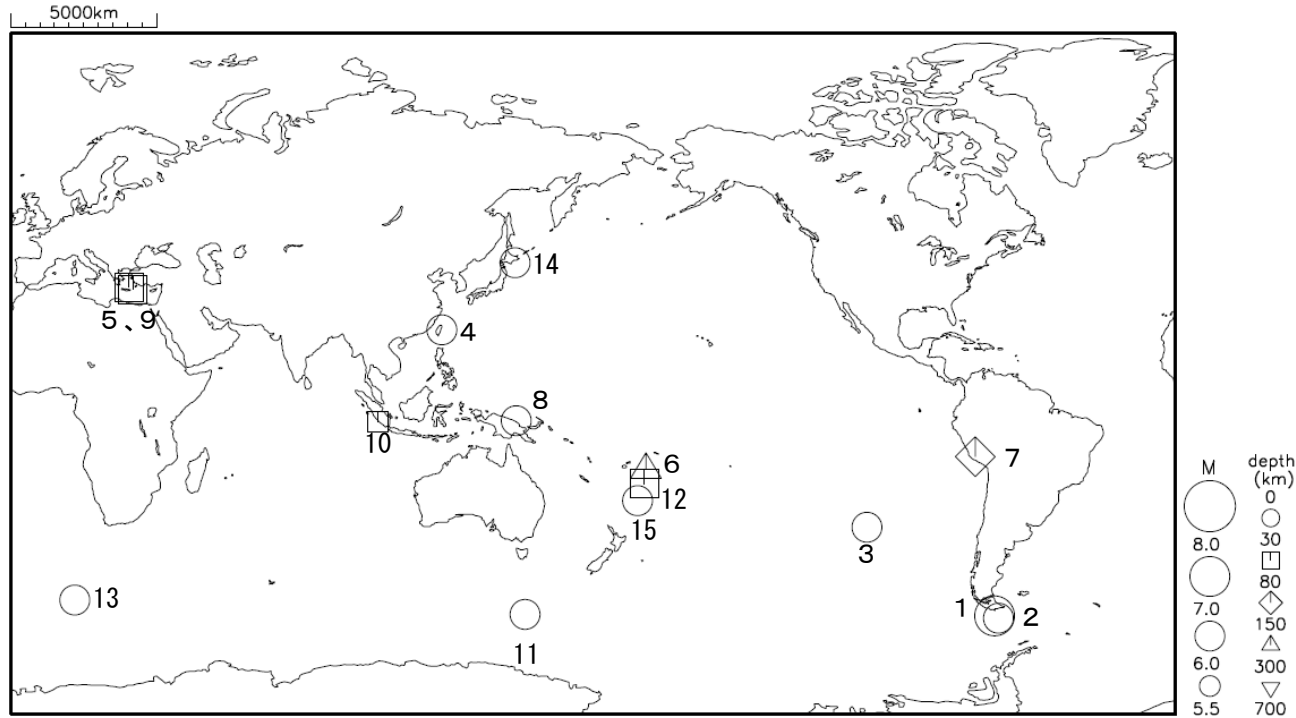


図1 令和7年（2025年）5月に世界で発生したM6.0以上または被害を伴った地震の震央分布

表1 令和7年（2025年）5月に世界で発生したM6.0以上または被害を伴った地震の震源要素等

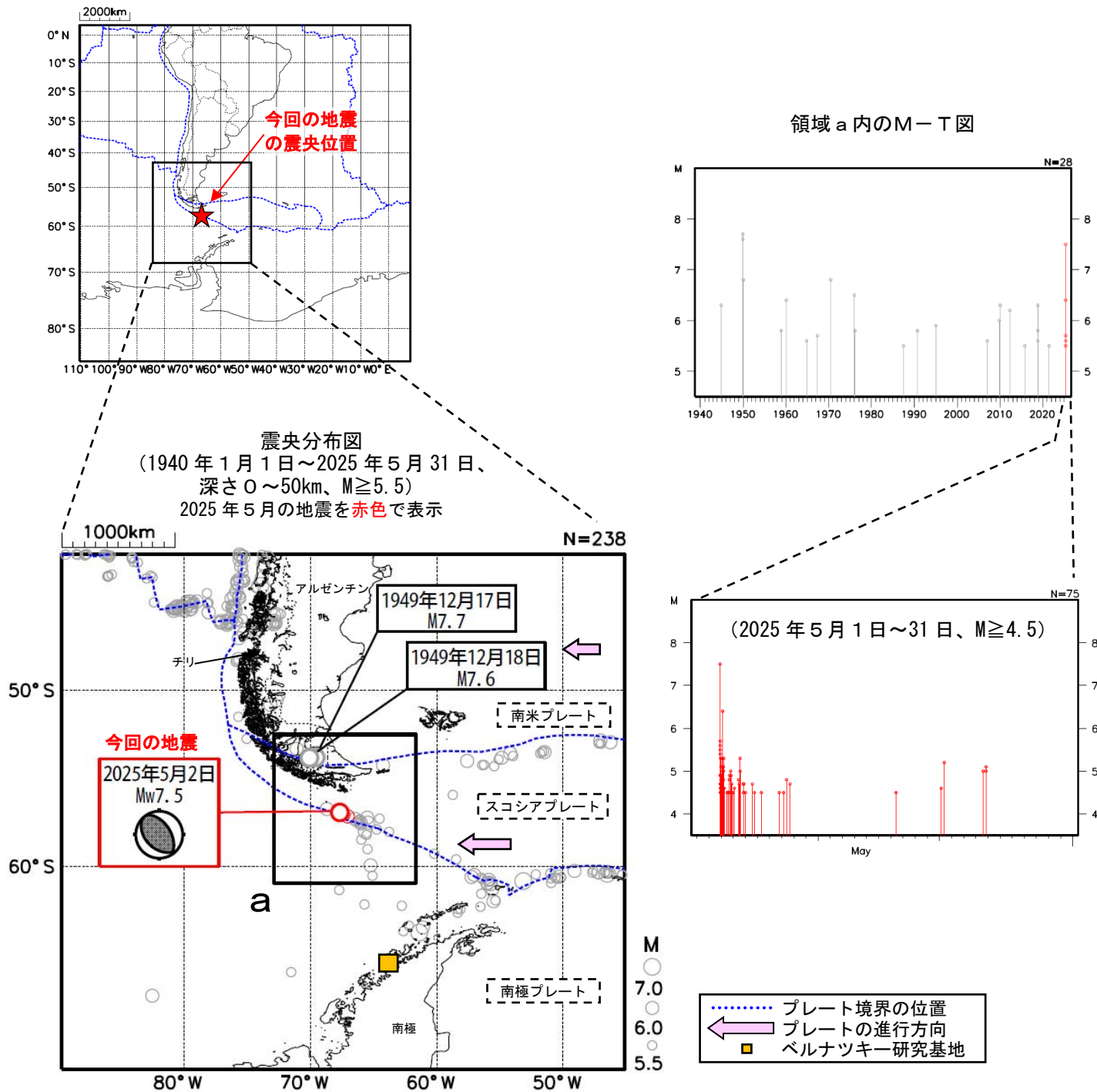
番号	地震発生時刻	緯度	経度	深さ (km)	mb	Mj	Mw	震央地名	備考 (被害状況など)	北西	遠地
1	05月02日21時58分	S56° 48.6′	W 68° 11.8′	10			(7.5)	ドレーク海峡	津波観測0.14m（ペルナツ キー研究基地）など		○
2	05月03日02時59分	S57° 18.0′	W 67° 1.6′	8			6.4	ドレーク海峡			
3	05月05日12時55分	S35° 8.5′	W107° 25.2′	10			6.0	東太平洋海膨南部			
4	05月05日19時53分	N23° 52.7′	E121° 57.4′	14		6.0	(5.7)	台湾付近			
5	05月14日07時51分	N35° 13.8′	E 26° 59.5′	74			6.0	ギリシア、クレタ			
6	05月14日13時15分	S18° 42.7′	W175° 20.0′	260			6.4	トンガ諸島			
7	05月17日19時22分	S14° 46.0′	W 74° 8.9′	101			6.0	ペルー中部			
8	05月21日00時05分	S 3° 45.2′	E144° 48.1′	10			6.5	バブアニューギニア、ニュー ギニア北岸		○	
9	05月22日12時19分	N35° 48.6′	E 25° 51.4′	64			6.2	ギリシア、クレタ	津波観測0.05m（イラクリ オン）		
10	05月23日04時52分	S 4° 0.2′	E102° 17.4′	68			5.7	インドネシア、スマトラ南部	負傷者7人など		
11	05月24日01時33分	S56° 29.6′	E147° 31.6′	10			6.1	マクオーリー島西方			
12	05月25日19時49分	S22° 52.1′	W175° 52.1′	48			6.0	トンガ諸島			
13	05月30日14時36分	S53° 18.8′	E 9° 9.6′	10			6.2	アフリカ南西方			
14	05月31日17時37分	N42° 19.6′	E144° 27.1′	20		6.0	(6.1)	釧路沖			
15	05月31日23時28分	S27° 43.6′	W177° 54.5′	10			6.1	ケルマデック諸島			

- 震源要素は米国地質調査所(USGS)ホームページの” Search Earthquake Catalog” (<https://earthquake.usgs.gov/earthquakes/search/>) による（2025年6月1日現在）。ただし、日本付近で発生した地震の震源要素、Mjの欄に記載したマグニチュード、Mwの欄に括弧を付して記載したモーメントマグニチュードは気象庁による。Mwの欄に下付きで「G」を付して記載したモーメントマグニチュードは、Global CMTによる。
- 被害状況は、出典のないものはOCHA（UN Office for the Coordination of Humanitarian Affairs：国連人道問題調整事務所、2025年6月1日現在）による。
- 地震発生時刻は日本時間〔日本時間＝協定世界時＋9時間〕である。
- 「北西」欄の○印は、気象庁が北西太平洋域に提供している北西太平洋津波情報（NWPTA）（※）を発表したことを表す。
※気象庁ホームページの「国際的な津波監視体制」（<https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/joho/nwpta.html>）参照。
- 「遠地」欄の○印は、気象庁が「遠地地震に関する情報」を発表したことを表す。
- 海外の津波の観測値は、米国海洋大気庁(NOAA; National Oceanic and Atmospheric Administration)による（2025年6月1日現在）。

5月2日 ドレーク海峡の地震

2025年5月2日21時58分（日本時間、以下同じ）にドレーク海峡でMw7.5の地震（Mwは気象庁によるモーメントマグニチュード）が発生した。この地震の発震機構解（気象庁によるCMT解）は北東－南西方向に圧力軸を持つ逆断層型で、スコシアプレートと南極プレートの境界付近で発生した。気象庁は、この地震について同日22時27分に遠地地震に関する情報（日本への津波の影響なし）を発表した。この地震により、ベルナツキー研究基地（ガリンデス島）で0.14mの津波を観測した。

1940年以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺（領域a）ではM6以上の地震が時々発生している。1949年12月17日にはM7.7の地震が発生し、その約8時間後にはほぼ同じ場所でM7.6の地震が発生した。これらの地震により、死者4名などの被害が生じた。



※震源要素は、2020年まではISC-GEM Global Instrumental Earthquake Catalogue Version 11(1904-2020)、2021年以降は米国地質調査所（USGS）による（2025年6月1日現在）。ただし、吹き出しを付けた地震の発震機構及びMwは気象庁による。津波の高さは米国海洋大気庁（NOAA）による（2025年6月1日現在）。被害は、宇津及び国際地震工学センターの「世界の被害地震の表」による。プレート境界の位置は Bird(2003)*1より引用。

*1 参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.

● 世界の主な火山活動

令和7年（2025年）5月に顕著な被害を伴った噴火が報告された主な火山（日本を除く）*は以下のとおり。



図 令和7年（2025年）5月に顕著な被害を伴った噴火が発生した主な火山（日本を除く）*

* 米国スミソニアン自然史博物館のホームページ“Global Volcanism Program | Smithsonian / USGS Weekly Volcanic Activity Report” (https://volcano.si.edu/reports_weekly.cfm) による。日付は全て現地時間。

● 付録1. 震度1以上を観測した地震の表

令和7年5月中に震度1以上を観測した地震は122回であった。

※ 震度データは、震度データベース検索 [気象庁ホームページ: <https://www.data.jma.go.jp/eqdb/data/shindo/index.php>] で確認できる。震源要素及び震度は再調査後、修正することがある。確定した震源要素は地震月報（カタログ編）[気象庁ホームページ: <https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/bulletin/index.html>] に掲載する。

※ 震度データは都道府県別に掲載し、各観測点の末尾に計測震度（令和6年12月 地震・火山月報（防災編）の付録7参照）を記す。なお、*のついている地点は、地方公共団体もしくは国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点、（注）を付した地震については、近接した地域でほぼ同時刻に発生した地震であるため震度の分離ができないことを示す。震源の深さの後に'f'を付した地震は、その深さに仮定して震源決定していることを示す。また、本文中で震源の深さにCMT解による深さを採用している場合があり、本表の震源決定による深さと異なる場合がある。震度3以上を観測した地震については、震源要素を太字で表示する。

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 緯度 経度 深さ 規模
1	1 04 27	岩手県沖 岩手県 39° 55.8' N 142° 24.8' E 37km M: 3.4 1 宮古市田老*=0.5
2	1 07 35	奄美大島近海 鹿児島県 28° 50.4' N 129° 56.5' E 29km M: 3.5 1 奄美市笠利町里*=0.6
3	1 12 54	北海道南西沖 北海道 42° 23.1' N 139° 13.4' E 25km M: 3.8 1 乙部町緑町*=1.2 八雲町熊石雲石町*=1.0 長万部町平里*=0.8 せたな町瀬棚区北島歌*=0.8 寿都町新栄=0.5
4	2 10 44	大隅半島東方沖 宮崎県 31° 06.0' N 131° 27.7' E 28km M: 4.1 1 串間市役所*=1.1 日南市南郷町南町*=1.0 鹿児島県 1 鹿屋市新栄町=0.7 錦江町田代支所*=0.7
5	2 15 50	沖縄本島近海 沖縄県 26° 33.9' N 127° 55.3' E 12km M: 3.0 1 宜野座村宜野座*=0.8
6	2 16 17	長野県北部 長野県 36° 29.0' N 137° 55.4' E 10km M: 2.1 1 大町市役所=0.5
7	2 16 32	和歌山県南部 和歌山県 33° 36.9' N 135° 25.6' E 37km M: 2.9 1 白浜町日置*=0.5
8	4 12 35	東京都23区 茨城県 35° 41.2' N 139° 47.1' E 82km M: 4.1 2 笠間市石井*=1.7 坂東市岩井=1.5 笠間市笠間*=1.5 1 つくば市小基*=1.2 土浦市常名=1.1 取手市寺田*=1.1 龍ヶ崎市役所*=1.0 笠間市中央*=1.0 石岡市柿岡=1.0 稲敷市江戸崎町*=1.0 行方市麻生*=1.0 桜川市真壁*=1.0 茨城町小堤*=0.9 常総市海道諏訪町*=0.9 つくばみらい市加藤*=0.9 つくばみらい市福田*=0.9 牛久市中央*=0.9 石岡市若宮*=0.9 守谷市大柏*=0.9 石岡市八郷*=0.9 笠間市下郷*=0.9 筑西市二木成*=0.8 小美玉市堅倉*=0.8 桜川市岩瀬*=0.8 小美玉市小川*=0.8 土浦市藤沢*=0.8 稲敷市伊佐津*=0.8 石岡市石岡*=0.7 美浦村受領*=0.7 城里町石塚*=0.7 かすみがうら市上土田*=0.7 利根町布川=0.7 筑西市舟生=0.6 筑西市門井*=0.6 茨城鹿嶋市鉢形=0.6 かすみがうら市大和田*=0.6 つくば市研究学園*=0.6 つくば市天王台*=0.5 栃木県 2 宇都宮市明保野町=1.6 1 下野市笹原*=1.3 真岡市石島*=1.3 栃木市岩舟町静*=1.2 壬生町壬生甲*=1.1 下野市田中*=1.1 栃木市藤岡町藤岡*=1.0 益子町益子=0.9 野木町丸林*=0.8 栃木市旭町=0.7 佐野市高砂町*=0.7 茂木町茂木*=0.7 宇都宮市中里町*=0.5 佐野市田沼町*=0.5 真岡市田町*=0.5 千葉県 2 市川市大町*=2.0 千葉花見川区花島町*=1.8 八千代市大和田新田*=1.7 千葉若葉区野呂町*=1.7 千葉中央区中央港=1.6 船橋市湊町*=1.6 習志野市鷺沼*=1.6 千葉稲毛区園生町*=1.6 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷*=1.6 白井市復*=1.5 柏市柏*=1.5 1 千葉若葉区小倉台*=1.4 野田市鶴奉*=1.4 千葉佐倉市海隣寺町*=1.4 千葉緑区おゆみ野*=1.3 市原市姉崎*=1.3 長南町総合グラウンド=1.3 富津市下飯野*=1.2 南房総市谷向*=1.2 柏市旭台=1.2 我孫子市我孫子*=1.1 四街道市鹿渡*=1.1 木更津市富士見*=1.1 南房総市富浦町青木*=1.0 南房総市千倉町瀬戸*=1.0 山武市埴谷*=1.0 千葉美浜区ひび野=1.0 千葉美浜区稲毛海岸*=1.0 市川市本行徳*=1.0 浦安市日の出=1.0 印西市大森*=1.0 館山市長須賀=1.0 東金市日吉台*=0.9 印西市美瀬*=0.9 南房総市白浜町白浜*=0.9 南房総市岩糸*=0.9 松戸市西馬橋*=0.8 柏市大島田*=0.8 館山市北条*=0.8 成田市名古屋=0.7 浦安市猫実*=0.7 栄町安食台*=0.7 芝山町小池*=0.7 野田市東宝珠花*=0.7 鴨川市横渚*=0.6 君津市久留里市場*=0.6 東金市東新宿=0.6 山武市松尾町富士見台=0.5 東京都 2 東京千代田区大手町=1.9 東京練馬区豊玉北*=1.8 町田市本町田*=1.8 調布市西つつじヶ丘*=1.6 八王子市堀之内*=1.5 東京千代田区富士見*=1.5 東京世田谷区三軒茶屋*=1.5 1 東京中央区勝どき*=1.4 東京文京区本郷*=1.4 東京世田谷区世田谷*=1.4 東京渋谷区本町*=1.4 東京中野区中野*=1.4 東京江戸川区中央=1.4 多摩市関戸*=1.4 小平市小川町*=1.3 西東京市中町*=1.3 東京新宿区上落合*=1.3 東京新宿区百人町*=1.3 東京江東区越中島*=1.3 東京目黒区中央町*=1.3 東大和市中央*=1.2 東京江東区枝川*=1.2 東京大田区多摩川*=1.2 東京北区西ヶ原*=1.2 町田市森野*=1.1 東村山市本町*=1.1 東京品川区北品川*=1.1 東京品川区平塚*=1.1 東京大田区本羽田*=1.1 東京世田谷区成城*=1.1 東京杉並区桃井*=1.1 東京江東区青海=1.1 東京練馬区東大泉*=1.1 東京江戸川区船堀*=1.1 町田市忠生*=1.1

令和7年5月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
		神奈川県 2 1 群馬県 埼玉県 山梨県 静岡県	日野市神明＊=1.0 東京千代田区麴町＊=1.0 国分寺市泉町＊=1.0 稲城市東長沼＊=1.0 東京文京区スポーツセンタ＊=1.0 東京渋谷区宇田川町＊=1.0 東京荒川区東尾久＊=1.0 東京板橋区相生町＊=1.0 東京港区海岸=0.9 東京練馬区光が丘＊=0.9 東京文京区大塚＊=0.9 東京墨田区東向島＊=0.9 東京世田谷区中町＊=0.9 東京中央区築地＊=0.9 東京中央区日本橋兜町＊=0.8 東京港区白金＊=0.8 東京足立区伊興＊=0.8 東京葛飾区立石＊=0.8 東京江戸川区鹿骨＊=0.8 昭島市田中町＊=0.8 東京台東区東上野＊=0.8 小金井市本町＊=0.8 東京台東区千束＊=0.8 狛江市和泉本町＊=0.8 東京港区南青山＊=0.7 東京足立区神明南＊=0.7 東京府中市朝日町＊=0.7 東京江東区東陽＊=0.7 東京品川区広町＊=0.7 国分寺市並木町=0.7 東京国際空港=0.7 東京杉並区阿佐谷=0.7 東京豊島区南池袋＊=0.6 八王子市大横町=0.6 東京府中市寿町＊=0.6 東京港区芝公園＊=0.5 東京荒川区荒川＊=0.5 東京板橋区高島平＊=0.5 東京新宿区西新宿=0.5 東京墨田区吾妻橋＊=0.5 武蔵野市吉祥寺東町＊=0.5 東京中野区江古田＊=0.5 調布市小島町＊=0.5 東京杉並区高井戸＊=0.5 横浜神奈川区神大寺＊=2.1 横浜鶴見区鶴見＊=1.9 横浜港北区日吉本町＊=1.9 横浜神奈川区広台太田町＊=1.8 横浜保土ヶ谷区上菅田町＊=1.8 横浜瀬谷区中屋敷＊=1.8 横浜瀬谷区三ツ境＊=1.8 川崎中原区小杉町＊=1.8 横浜緑区鴨居＊=1.7 川崎川崎市千鳥町＊=1.7 横浜戸塚区鳥が丘＊=1.6 大和市下鶴間＊=1.6 横浜磯子区磯子＊=1.5 横浜金沢区白帆＊=1.5 横浜港北区綱島西＊=1.5 横浜鶴見区末広町＊=1.5 横浜都筑区池辺町＊=1.5 川崎川崎市宮前町＊=1.5 横浜中区山手町=1.4 横浜港北区大倉山＊=1.4 横浜旭区今宿東町＊=1.4 横浜旭区川井宿町＊=1.4 横浜緑区十日市場町＊=1.4 横浜鶴見区馬場＊=1.3 厚木市中町＊=1.3 横浜旭区大池町＊=1.2 愛川町角田＊=1.2 相模原緑区中野＊=1.2 相模原緑区久保沢＊=1.2 横浜磯子区洋光台＊=1.1 横浜旭区上白根町＊=1.1 横浜泉区和泉中央北＊=1.1 川崎宮前区野川＊=1.1 藤沢市打戻＊=1.1 茅ヶ崎市茅ヶ崎=1.1 座間市相武台＊=1.1 湯河原町中央=1.1 横浜中区山下町＊=1.0 横浜中区山吹町＊=1.0 横浜金沢区釜利谷南＊=1.0 横浜港南区野庭町＊=1.0 横浜栄区小菅ヶ谷＊=1.0 川崎中原区小杉陣屋町=1.0 川崎宮前区宮前平＊=1.0 藤沢市長後＊=1.0 三浦市城山町＊=1.0 箱根町湯本＊=1.0 相模原南区磯部＊=1.0 横浜栄区桂台南＊=0.9 横浜都筑区茅ヶ崎＊=0.9 南足柄市関本＊=0.9 横浜西区みなとみらい＊=0.9 横浜保土ヶ谷区神戸町＊=0.9 川崎多摩区登戸＊=0.8 横須賀市坂本町＊=0.8 逗子市桜山＊=0.8 清川村煤ヶ谷＊=0.8 横浜中区日本大通＊=0.8 横浜青葉区鴨志田町＊=0.7 川崎幸区戸手本町＊=0.7 川崎高津区下作延＊=0.7 藤沢市朝日町＊=0.7 横須賀市光の丘=0.6 中井町比奈窪＊=0.6 神奈川大井町金子＊=0.6 川崎川崎区中島＊=0.6 秦野市曾屋=0.5 鎌倉市御成町＊=0.5 1 渋川市赤城町＊=1.0 邑楽町中野＊=1.0 板倉町板倉=0.9 前橋市粕川町＊=0.7 桐生市黒保根町＊=0.7 渋川市吹屋＊=0.7 桐生市元宿町＊=0.5 1 春日部市谷原新田＊=1.4 川口市中青木分室＊=1.3 新座市野火止＊=1.3 吉川市きよみ野＊=1.2 春日部市粕壁＊=1.2 春日部市金崎＊=1.0 越谷市越ヶ谷＊=1.0 さいたま南区別所＊=1.0 加須市大利根＊=1.0 久喜市下早見＊=1.0 川口市安行領家＊=1.0 蕨市中央＊=0.9 八潮市中央＊=0.9 さいたま浦和区高砂=0.9 和光市広沢＊=0.8 久喜市栗橋＊=0.8 三郷市中央＊=0.8 伊奈町中央＊=0.8 宮代町笠原＊=0.8 さいたま北区宮原＊=0.8 さいたま大宮区大門＊=0.8 さいたま見沼区堀崎＊=0.8 所沢市北有楽町＊=0.8 白岡市千駄野＊=0.8 上尾市本町＊=0.8 加須市騎西＊=0.8 埼玉三芳町藤久保＊=0.7 川島町下八ツ林＊=0.7 吉見町下細谷＊=0.7 狭山市入間川＊=0.7 熊谷市大里＊=0.7 朝霞市本町＊=0.7 加須市北川辺＊=0.7 桶川市泉＊=0.7 東松山市松葉町＊=0.7 鴻巣市中央＊=0.7 久喜市鷲宮＊=0.6 さいたま緑区中尾＊=0.6 埼玉美里町木部＊=0.6 幸手市東＊=0.6 草加市中央＊=0.6 戸田市上戸田＊=0.6 さいたま西区指扇＊=0.6 志木市中宗岡＊=0.6 さいたま大宮区天沼町＊=0.6 久喜市青葉＊=0.6 熊谷市妻沼＊=0.5 熊谷市江南＊=0.5 久喜市菖蒲＊=0.5 富士見市鶴馬＊=0.5 本庄市児玉町=0.5 川口市三ツ和＊=0.5 鴻巣市吹上富士見＊=0.5 1 富士川町鯉沢＊=1.0 富士河口湖町長浜＊=0.7 甲府市飯田=0.6 山中湖村山中＊=0.6 富士河口湖町船津=0.6 1 東伊豆町奈良本＊=1.4 伊豆市中伊豆グラウンド=1.0 熱海市泉＊=0.9 富士宮市野中＊=0.5			
9	4 13 44	福島県会津 福島県 1 檜枝岐村上河原＊=0.8	36° 58.3' N	139° 23.3' E	5km	M: 1.6
10	4 16 38	福島県沖 福島県 1 檜葉町北田＊=1.2 川内村下川内=1.1 浪江町幾世橋=0.7 大熊町大川原＊=0.6 福島広野町下北迫大谷地原＊=0.5	37° 32.2' N	141° 21.7' E	53km	M: 3.7
11	5 00 45	滋賀県北部 岐阜県 滋賀県 1 瑞穂市別府＊=0.6 1 高島市勝野＊=0.8	35° 21.0' N	136° 13.9' E	39km	M: 2.9
12	5 01 34	茨城県沖 茨城県 2 水戸市千波町＊=2.0 ひたちなか市南神敷台＊=2.0 日立市助川小学校＊=1.9 高萩市安良川＊=1.9 水戸市栗崎町＊=1.9 笠間市石井＊=1.8 茨城町小堤＊=1.7 水戸市金町=1.6 東海村東海＊=1.6 高萩市本町＊=1.5 ひたちなか市東石川＊=1.5 土浦市常名=1.5 鉾田市汲上＊=1.5 1 北茨城市磯原町＊=1.4 桜川市真壁＊=1.4 日立市役所＊=1.2 日立市十王町友部＊=1.2 常陸太田市町屋町=1.2 北茨城市中郷町＊=1.2 大洗町磯浜町＊=1.2 大子町池田＊=1.2 常陸大宮市野口＊=1.2 鉾田市鉾田=1.2 笠間市中央＊=1.1 常陸大宮市北町＊=1.1 常陸大宮市山方＊=1.1 笠間市笠間＊=1.1 小美玉市堅倉＊=1.1 石岡市柿岡=1.1 茨城鹿嶋市宮中＊=1.1 かすみがうら市大和田＊=1.1 桜川市岩瀬＊=1.1 ひたちなか市山ノ上町=1.1 筑西市門井＊=1.0 城里町石塚＊=1.0 石岡市八郷＊=1.0 鉾田市造谷＊=1.0 美浦村受領＊=1.0 那珂市瓜連＊=0.9 かすみがうら市上土田＊=0.9 常陸太田市高柿町＊=0.9 茨城鹿嶋市鉢形=0.9 土浦市藤沢＊=0.8 行方市山田＊=0.8 石岡市若宮＊=0.8 桜川市羽田＊=0.8 笠間市下郷＊=0.8 石岡市石岡＊=0.8 取手市寺田＊=0.8 つくば市研究学園＊=0.8 稲敷市江戸崎甲＊=0.8 小美玉市小川＊=0.8	36° 23.3' N	141° 02.1' E	41km	M: 4.2

令和7年5月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
		宮城県 福島県 栃木県 群馬県 千葉県	行方市玉造※=0.7 つくば市天王台※=0.7 那珂市福田※=0.7 潮来市堀之内=0.7 城里町阿波山※=0.7 筑西市二本成※=0.6 土浦市田中※=0.6 つくば市小釜※=0.6 常陸太田市町田町※=0.6 城里町徳蔵※=0.6 下妻市本城町※=0.6 龍ヶ崎市役所※=0.5 1 岩沼市桜※=0.7 1 大熊町大川原※=1.3 白河市表郷※=1.2 双葉町長塚※=1.2 浪江町幾世橋=1.1 いわき市三和町=1.0 檜葉町北田※=1.0 いわき市小名浜=1.0 白河市東※=0.9 白河市新白河※=0.9 須賀川市岩瀬支所※=0.9 泉崎村泉崎※=0.9 棚倉町棚倉中居野=0.9 田村市都路町※=0.9 大熊町野上※=0.8 郡山市開成※=0.8 天栄村下松本※=0.8 玉川村小高※=0.8 浅川町浅川※=0.8 川内村下川内=0.7 小野町中通※=0.7 田村市船引町=0.7 田村市常葉町※=0.7 二本松市油井※=0.7 田村市滝根町※=0.7 川俣町五百田※=0.7 鏡石町不時沼※=0.7 いわき市平四ツ波※=0.7 福島広野町下北迫大谷地原※=0.7 富岡町本岡※=0.7 大玉村南小屋=0.6 川内村上川内早渡※=0.6 矢祭町戸塚※=0.6 須賀川市八幡山※=0.6 飯館村伊丹沢※=0.5 小野町小野新町※=0.5 石川町長久保※=0.5 いわき市錦町※=0.5 1 市貝町市塙※=1.1 下野市笹原※=1.1 茂木町茂木※=1.0 壬生町壬生甲※=1.0 小山市神鳥谷※=0.9 益子町益子=0.9 芳賀町祖母井※=0.9 下野市田中※=0.9 真岡市田町※=0.8 真岡市石島※=0.6 栃木那珂川町小川※=0.6 宇都宮市明保野町=0.6 宇都宮市中里町※=0.6 日光市鬼怒川温泉大原※=0.5 1 桐生市黒保根町※=0.6 渋川市赤城町※=0.5 1 野田市鶴奉※=0.8 香取市役所※=0.7 白井市復※=0.7 香取市佐原平田=0.6 香取市仁良※=0.6 香取市佐原諏訪台※=0.5			
13	5 02 03	熊本県天草・芦北地方 長崎県 熊本県	32° 29.7' N	130° 32.9' E	11km	M: 3.0
		1 雲仙市小浜町雲仙=0.5 1 上天草市大矢野町=1.1 上天草市姫戸町※=0.9 八代市新地町※=0.8 八代市平山新町=0.7 上天草市龍ヶ岳町※=0.7 芦北町田浦町※=0.7 上天草市松島町※=0.5 芦北町芦北=0.5				
14	5 06 26	紀伊水道 和歌山県	34° 14.0' N	135° 06.0' E	9km	M: 2.8
		1 和歌山市男野芝丁=0.9 和歌山市一番丁※=0.8				
15	5 17 05	三重県中部 三重県	34° 39.3' N	136° 29.7' E	19km	M: 2.8
		1 津市一志町田尻※=1.4 津市美里町三郷※=0.8 津市久居明神町※=0.8 松阪市魚町※=0.6 津市安濃町東観音寺※=0.5				
16	5 20 57	和歌山県北部 和歌山県	34° 01.8' N	135° 15.5' E	5km	M: 2.8
		2 湯浅町青木※=1.9 1 有田川町下津野※=0.9 有田川町中井原※=0.9 日高川町高津尾※=0.5				
17	6 15 16	和歌山県北部 和歌山県	34° 01.8' N	135° 15.4' E	5km	M: 1.8
		1 湯浅町青木※=0.6				
18	6 17 31	奄美大島近海 鹿児島県	28° 01.8' N	129° 16.7' E	21km	M: 3.1
		1 瀬戸内町請島※=0.8 瀬戸内町加計呂麻島※=0.8				
19	6 18 06	熊本県天草・芦北地方 熊本県	32° 19.3' N	130° 28.0' E	11km	M: 2.5
		1 芦北町田浦町※=0.7				
20	6 18 22	宮城県沖 岩手県 宮城県	38° 37.4' N	141° 53.9' E	47km	M: 3.9
		1 一関市千厩町※=1.3 大船渡市大船渡町=1.0 一関市室根町※=0.9 大船渡市猪川町=0.9 釜石市中妻町※=0.7 一関市大東町=0.7 陸前高田市高田町※=0.7 釜石市只越町=0.6 住田町世田米※=0.6 1 気仙沼市唐桑町※=1.4 石巻市北上町※=1.3 気仙沼市笹が陣※=1.2 石巻市桃生町※=1.2 気仙沼市赤岩=1.1 南三陸町歌津※=0.5				
21	6 20 36	福島県沖 福島県	37° 27.6' N	141° 33.1' E	46km	M: 3.6
		1 檜葉町北田※=1.0				
22	7 09 47	神奈川県西部 神奈川県 埼玉県 東京都 山梨県	35° 24.8' N	139° 09.6' E	11km	M: 3.1
		2 相模原緑区大島※=1.6 秦野市平沢※=1.5 1 清川村煤ヶ谷※=1.3 相模原緑区中野※=1.3 秦野市曾屋=1.2 南足柄市関本※=1.0 中井町比奈窪※=1.0 厚木市中町※=0.8 松田町松田惣領※=0.7 小田原市荻窪※=0.6 相模原南区磯部※=0.6 大磯町月京※=0.5 1 所沢市北有楽町※=0.6 1 八王子市大横町=0.6 町田市忠生※=0.6 日野市神明※=0.5 1 大月市大月=0.6 大月市御太刀※=0.5 上野原市秋山※=0.5				
23	7 11 15	種子島南東沖 鹿児島県	29° 55.6' N	131° 23.5' E	30km	M: 4.4
		1 中種子町野間※=0.8				
24	7 22 08	島根県西部 島根県 広島県	34° 49.4' N	132° 31.0' E	17km	M: 3.0
		1 邑南町瑞穂支所※=0.7 川本町川本※=0.7 邑南町淀原※=0.6 1 安芸高田市高宮町※=1.1				
25	8 00 06	熊本県球磨地方 熊本県	32° 13.7' N	130° 36.9' E	5km	M: 2.3
		1 球磨村渡※=1.4				

令和7年5月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
26	8 03 48	福島県沖 福島県	37° 31.3' N	141° 21.5' E	50km	M: 3.4
		1 川内村下川内=0.9 浪江町幾世橋=0.7				
27	8 21 21	福島県中通り 福島県	37° 16.6' N	140° 23.6' E	89km	M: 3.6
		1 棚倉町棚倉中居野=1.0 檜葉町北田*=0.8 大熊町大川原*=0.8 浪江町幾世橋=0.8 田村市都路町*=0.8 いわき市三和町=0.8 矢祭町東館*=0.7 浅川町浅川*=0.6 田村市常葉町*=0.5				
		茨城県				
		1 笠間市石井*=1.2 ひたちなか市南神敷台*=1.0 日立市助川小学校*=0.8 常陸大宮市山方*=0.8 高萩市安良川*=0.7 土浦市常名=0.7 常陸太田市町屋町=0.6 常陸大宮市野口*=0.5 石岡市若宮*=0.5 常陸大宮市北町*=0.5 笠間市笠間*=0.5				
		栃木県				
		1 栃木那珂川町小川*=0.7 芳賀町祖母井*=0.6 宇都宮市明保野町=0.5				
28	9 12 24	十勝沖 北海道	41° 41.5' N	143° 28.4' E	42km	M: 4.3
		2 えりも町えりも岬*=1.6				
		1 様似町栄町*=1.2 浦河町潮見=0.9 浦河町築地*=0.9 函館市泊町*=0.9 十勝大樹町東本通*=0.7 えりも町目黒*=0.6 広尾町並木通=0.5				
		青森県				
		1 東通村砂子又沢内*=0.9				
29	9 13 34	石川県西方沖 石川県	36° 56.0' N	136° 22.1' E	13km	M: 4.2
		2 志賀町香能*=2.3 輪島市門前町走出*=1.6 七尾市能登島向田町*=1.6 羽咋市旭町*=1.5 かほく市浜北*=1.5				
		1 志賀町末吉千古*=1.3 かほく市宇野気*=1.3 中能登町能登部下*=1.2 輪島市鳳至町=1.2 志賀町富来領家町=1.1 七尾市本府中町=1.1 宝達志水町子浦*=1.1 宝達志水町今浜*=1.1 中能登町末坂*=1.1 七尾市中島町中島*=1.1 能登町松波*=1.1 かほく市高松*=1.1 能登町宇出津=0.8 七尾市垣吉町*=0.8 津幡町加賀爪=0.8 中能登町井田*=0.8 金沢市西念=0.7 穴水町大町*=0.7 羽咋市柳田町=0.6				
		富山県				
		1 富山市新桜町*=1.2 氷見市加納*=1.1 小矢部市泉町=0.9 射水市二口*=0.9 高岡市広小路*=0.8 舟橋村仏生寺*=0.8 射水市加茂中部*=0.7 富山市石坂=0.7 立山町吉峰=0.6 射水市本町*=0.6 高岡市伏木=0.5 射水市橋下条*=0.5 富山市婦中町笹倉*=0.5				
		岐阜県				
		1 高山市奥飛騨温泉郷栃尾*=0.7 高山市上宝町本郷*=0.5				
30	9 20 26	紀伊水道 和歌山県	34° 02.7' N	135° 08.5' E	5km	M: 2.6
		1 有田市初島町*=0.9 由良町里*=0.9 湯浅町青木*=0.8 海南市下津*=0.8 有田市箕島=0.6				
31	10 20 45	トカラ列島近海 鹿児島県	29° 39.8' N	130° 00.9' E	63km	M: 4.3
		2 鹿児島十島村中之島徳之尾=2.4 鹿児島十島村諏訪之瀬島*=2.0 鹿児島十島村悪石島*=1.6				
		1 鹿児島十島村口之島出張所*=1.2 鹿児島十島村中之島出張所*=1.1 屋久島町平内=0.9 屋久島町宮之浦*=0.8 屋久島町尾之間*=0.5				
32	10 21 43	青森県東方沖 青森県	40° 55.2' N	141° 32.9' E	113km	M: 3.9
		1 八戸市湊町=1.1 東通村砂子又沢内*=0.9 八戸市内丸*=0.8 青森南部町苫米地*=0.6				
		岩手県				
		1 軽米町軽米*=0.9 岩手洋野町種市=0.5 久慈市枝成沢=0.5				
33	11 02 17	青森県西方沖 青森県	41° 00.2' N	139° 16.0' E	34km	M: 3.6
		1 深浦町深浦岡町=0.8				
34	11 07 15	宮城県沖 宮城県	38° 45.9' N	141° 32.9' E	71km	M: 3.1
		1 気仙沼市唐桑町*=0.6				
35	11 09 48	和歌山県北部 和歌山県	34° 01.8' N	135° 15.5' E	5km	M: 2.1
		1 湯浅町青木*=0.9				
36	12 02 47	和歌山県北部 和歌山県	34° 14.5' N	135° 11.4' E	7km	M: 2.1
		1 和歌山市一番丁*=0.5				
37	12 06 03	土佐湾 広島県	33° 27.7' N	133° 32.3' E	30km	M: 3.4
		1 尾道市御調町*=0.9 尾道市瀬戸田町*=0.8				
		徳島県				
		1 美馬市木屋平*=0.6				
		愛媛県				
		1 西条市丹原町鞍瀬=0.6				
		高知県				
		1 高知市春野町芳原=1.0				
38	12 06 25	与那国島近海 沖縄県	24° 43.5' N	122° 26.5' E	37km	M: 4.6
		1 与那国町久部良=0.6				
39	12 23 54	青森県東方沖 北海道	41° 34.8' N	142° 05.4' E	55km	M: 5.2
		3 函館市泊町*=2.9				
		2 様似町栄町*=2.2 えりも町えりも岬*=1.9 むかわ町松風*=1.8 函館市新浜町*=1.8 浦幌町桜町*=1.7 白老町竹浦=1.7				
		1 千歳市若草*=1.4 壮瞥町滝之町*=1.4 厚真町鹿沼=1.4 安平町早来北進*=1.4 新冠町北星町*=1.4 浦河町潮見=1.4 浦河町築地*=1.4 新千歳空港=1.3 室蘭市寿町*=1.3 函館市日ノ浜町*=1.3 渡島森町砂原*=1.3 木古内町木古内*=1.3 新ひだか町静内山手町=1.3 日高地方日高町門別*=1.2 胆振伊達市梅本=1.2 函館市川汲町*=1.1 苫小牧市末広町=1.1 登別市桜木町*=1.1 浦河町野深=1.1 札幌東区元町*=1.1 厚真町京町*=1.1 十勝大樹町東本通*=1.1 千歳市北栄=1.1 新ひだか町静内御幸町*=1.0 新ひだか町三石旭町*=1.0 千歳市支笏湖温泉*=1.0				

令和7年5月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
		胆振伊達市大滝区本町*=1.0 登別市鉾山=1.0 鹿部町宮浜*=1.0 洞爺湖町洞爺町*=1.0 函館市美原=0.9 函館市大森町*=0.9 恵庭市京町*=0.9 幕別町忠類錦町*=0.9 乙部町緑町*=0.9 長沼町中央*=0.9 北広島市中の沢*=0.9 七飯町桜町=0.9 広尾町並木通=0.8 江別市緑町*=0.8 福島町福島*=0.8 平取町振内*=0.8 七飯町本町*=0.8 長万部町平里*=0.8 渡島森町上台町*=0.8 帯広市東6条*=0.7 広尾町白樺通=0.7 白老町緑丘*=0.7 帯広市東4条=0.7 渡島森町御幸町=0.6 豊浦町大岸*=0.6 十勝清水町南4条=0.5 標津町北2条*=0.5 別海町常盤=0.5 函館市尾札部町=0.5 3 階上町道仏*=3.2 東通村砂子又沢内*=3.2 2 東通村砂子又蒲谷地=2.4 八戸市南郷*=2.3 むつ市金曲=2.2 野辺地町田狭沢*=2.1 青森南部町苫米地*=2.0 八戸市湊町=2.0 野辺地町野辺地*=2.0 八戸市内丸*=1.9 むつ市大畑町中島*=1.8 五戸町古館=1.8 六ヶ所村尾駁=1.7 三沢市桜町*=1.7 東通村白糠*=1.7 五戸町倉石中市*=1.6 七戸町森ノ上*=1.6 東北町上北南*=1.6 おいらせ町中下田*=1.5 平内町小湊=1.5 1 外ヶ浜町蟹田*=1.4 六戸町犬落瀬*=1.4 青森南部町平*=1.4 東通村尻屋*=1.4 横浜町林ノ脇*=1.3 東北町塔ノ沢山*=1.3 三戸町在府小路町*=1.3 おいらせ町上明堂*=1.2 十和田市西二番町*=1.1 横浜町寺下*=1.1 六ヶ所村出戸=1.1 青森南部町沖田面*=1.1 むつ市川内町*=1.1 十和田市西十二番町*=1.0 七戸町七戸*=1.0 むつ市大畑町奥薬研=0.9 青森市浪岡*=0.9 十和田市奥瀬*=0.9 大間町大間*=0.8 風間浦村易国間*=0.8 青森市花園=0.8 青森市中央*=0.8 平内町東田沢*=0.8 藤崎町水木*=0.8 蓬田村蓬田*=0.7 つがる市車力町*=0.7 佐井村長後*=0.7 藤崎町西豊田*=0.7 八戸市島守=0.6 中泊町中里*=0.6 むつ市脇野沢*=0.6 五所川原市金木町*=0.6 田舎館村田舎館*=0.6 つがる市稲垣町*=0.5 今別町今別*=0.5 岩手県 2 久慈市枝成沢=1.9 軽米町軽米*=1.9 盛岡市薮川*=1.7 二戸市浄法寺町*=1.5 1 宮古市田老*=1.2 岩手洋野町種市=1.1 盛岡市洪民*=1.1 八幡平市田頭*=1.1 宮古市川井*=1.0 宮古市区界*=1.0 普代村銅屋*=1.0 九戸村伊保内*=1.0 岩手洋野町大野*=0.9 矢巾町南矢幅*=0.9 盛岡市山王町=0.8 遠野市青笹町*=0.8 一関市千厩町*=0.8 久慈市長内町*=0.7 釜石市中妻町*=0.7 住田町世田米*=0.7 二戸市福岡=0.7 葛巻町葛巻元木=0.7 宮古市五月町*=0.7 久慈市川崎町=0.7 大船渡市大船渡町=0.6 花巻市大迫町=0.6 大槌町上町*=0.6 二戸市石切所*=0.5 八幡平市大更=0.5 花巻市石鳥谷町*=0.5 山田町大沢*=0.5 宮古市鉾ヶ崎=0.5 一関市室根町*=0.5 宮城県 1 石巻市桃生町*=0.7				
40	13 06 33	胆振地方中東部 北海道 2 むかわ町松風*=2.3 浦幌町桜町*=2.2 厚真町鹿沼=2.0 千歳市若草*=1.9 苫小牧市末広町=1.8 苫小牧市旭町*=1.7 新冠町北星町*=1.7 函館市新浜町*=1.7 安平町早来北進*=1.6 白老町竹浦=1.6 浦河町潮見=1.5 十勝池田町西1条*=1.5 新千歳空港=1.5 1 安平町追分柏が丘*=1.4 日高地方日高町門別*=1.4 新ひだか町静内山手町=1.4 新ひだか町三石旭町*=1.4 本別町北2丁目=1.4 帯広市東6条*=1.3 足寄町南1条*=1.3 釧路市音別町中園*=1.3 室蘭市寿町*=1.2 札幌北区太平*=1.2 本別町向陽町*=1.2 帯広市東4条=1.2 白糠町西1条*=1.2 三笠市幸町*=1.1 新ひだか町静内御幸町*=1.1 むかわ町穂別*=1.1 千歳市支笏湖温泉*=1.1 平取町振内*=1.1 千歳市北栄=1.0 浦河町築地*=1.0 幕別町本町*=1.0 登別市桜木町*=1.0 函館市川汲町*=0.9 幕別町忠類錦町*=0.9 標茶町塘路*=0.9 函館市泊町*=0.9 南幌町栄町*=0.9 札幌厚別区もみじ台*=0.8 更別村更別*=0.8 江別市緑町*=0.8 登別市鉾山=0.8 平取町本町*=0.8 豊頃町茂岩本町*=0.8 恵庭市京町*=0.8 浦河町野深=0.7 長沼町中央*=0.7 土幌町土幌*=0.7 新得町2条*=0.7 北広島市中の沢*=0.7 中札内村東2条*=0.6 十勝大樹町東本通*=0.6 広尾町白樺通=0.5 札幌北区新琴似*=0.5 由仁町新光*=0.5 札幌北区篠路*=0.5 十勝清水町南4条=0.5 青森県 2 むつ市大畑町中島*=1.5 1 東通村砂子又沢内*=1.1 階上町道仏*=0.9 八戸市湊町=0.8 野辺地町野辺地*=0.7 八戸市内丸*=0.6 平内町小湊=0.6 三沢市桜町*=0.5 東通村砂子又蒲谷地=0.5 岩手県 1 久慈市枝成沢=0.5	42° 35.9' N 141° 56.9' E 128km M: 4.4			
41	13 08 33	茨城県南部 茨城県 2 土浦市常名=1.5 筑西市門井*=1.5 1 土浦市藤沢*=1.4 桜川市真壁*=1.4 下妻市本城町*=1.3 つくば市小茎*=1.3 茨城古河市仁連*=1.1 茨城古河市下大野*=1.1 取手市寺田*=1.0 桜川市羽田*=1.0 石岡市柿岡=1.0 石岡市石岡*=0.9 龍ヶ崎市役所*=0.9 土浦市田中*=0.9 つくば市天王台*=0.8 石岡市八郷*=0.8 稲敷市江戸崎甲*=0.8 かすみがうら市土上田*=0.8 桜川市岩瀬*=0.8 笠間市石井*=0.7 筑西市舟生=0.7 利根町布川=0.7 つくばみらい市福田*=0.7 坂東市役所*=0.6 石岡市若宮*=0.6 坂東市岩井=0.6 笠間市笠間*=0.5 栃木県 1 真岡市石島*=1.4 宇都宮市明保野町=0.8 壬生町壬生甲*=0.7 栃木市旭町=0.6 下野市笹原*=0.5 群馬県 1 邑楽町中野*=0.7 板倉町板倉=0.6 埼玉県 1 久喜市下早見=1.0 さいたま大宮区大門*=0.9 宮代町笠原*=0.8 さいたま緑区中尾*=0.8 春日部市金崎*=0.7 春日部市谷原新田*=0.7 八潮市中央*=0.7 幸手市東*=0.7 吉川市きよみ野*=0.7 さいたま浦和区高砂=0.6 越谷市越ヶ谷*=0.6 春日部市粕壁*=0.5 加須市騎西*=0.5 さいたま北区宮原*=0.5 上尾市本町*=0.5 さいたま見沼区堀崎*=0.5 加須市北川辺*=0.5 千葉県 1 八千代市大和田新田*=1.3 野田市鶴奉*=1.2 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷*=1.1 柏市柏*=1.0 松戸市西馬橋*=0.9 白井市復*=0.9 柏市大島田*=0.6 千葉花見川区花島町*=0.6 市川市本行徳*=0.6 千葉美浜区ひび野=0.5 東京都 1 小平市小川町*=0.9 東京江戸川区中央=0.8 東京千代田区大手町=0.7 東京千代田区富士見*=0.6 東京渋谷区本町*=0.6 東京江戸川区船堀*=0.6 神奈川県 1 横浜神奈川区神大寺*=0.9 横浜港北区日吉本町*=0.7	35° 56.4' N 140° 06.3' E 66km M: 3.9			

令和7年5月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
42	13 10 37	福島県中通り 福島県	37° 08.2' N	140° 31.1' E	79km	M: 4.6
		3 白河市大信*=3.2 本宮市本宮*=3.1 田村市常葉町*=3.0 大熊町大川原*=3.0 郡山市開成*=2.9 田村市都路町*=2.9 郡山市朝日=2.8 いわき市三和町=2.8 矢祭町東館*=2.8 古殿町松川新桑原*=2.7 須賀川市岩瀬支所*=2.7 白河市東*=2.7 白河市新白河*=2.6 石川町長久保*=2.6 玉川村小高*=2.6 浅川町浅川*=2.6 いわき市平四ツ波*=2.6 いわき市錦町*=2.6 泉崎村泉崎*=2.6 浪江町幾世橋=2.6 田村市大越町*=2.6 檜葉町北田*=2.5 本宮市白岩*=2.5 二本松市油井*=2.5 田村市滝根町*=2.5 大玉村玉井*=2.5				
		2 郡山市湖南町*=2.4 二本松市金色*=2.4 天栄村下松本*=2.4 矢吹町一本木*=2.4 田村市船引町=2.4 双葉町長塚*=2.4 平田村永田*=2.3 須賀川市長沼支所*=2.3 福島広野町下北迫大谷地原*=2.3 福島広野町下北迫苗代替*=2.3 中島村滑津*=2.3 飯館村伊丹沢*=2.3 鏡石町不時沼*=2.3 須賀川市八幡山*=2.2 大玉村南小屋=2.2 白河市表郷*=2.2 棚倉町棚倉中居野=2.2 川内村上川内早渡*=2.2 大熊町野上*=2.2 小野町中通*=2.1 葛尾村落合落合*=2.1 小野町小野新町*=2.1 南相馬市原町区高見町*=2.1 川俣町五百田*=2.1 いわき市平梅本*=2.1 二本松市針道*=2.0 福島市五老内町*=2.0 福島市花園町=2.0 白河市郭内=1.9 古殿町松川横川=1.9 福島市飯野町*=1.9 須賀川市八幡町*=1.9 富岡町本岡*=1.8 川内村下川内=1.8 新地町谷地小屋*=1.8 西郷村熊倉*=1.8 天栄村湯本支所*=1.8 南相馬市小高区*=1.8 相馬市中村*=1.7 南相馬市原町区三島町=1.7 白河市八幡小路*=1.7 福島伊達市霊山町*=1.7 湯川村清水田*=1.7 いわき市小名浜=1.7 三春町大町*=1.7 福島伊達市前川原*=1.6 南相馬市鹿島区西町*=1.6 塙町塙*=1.6 猪苗代町下園*=1.6 矢祭町戸塚*=1.6 猪苗代町城南=1.5 川内村上川内小山平*=1.5				
		1 福島市桜木町*=1.4 南相馬市原町区本町*=1.4 会津若松市追手町*=1.4 喜多方市塩川町*=1.4 磐梯町磐梯*=1.4 鮫川村赤坂中野*=1.3 南相馬市鹿島区栞塚=1.3 国見町藤田*=1.2 福島伊達市月館町*=1.2 桑折町谷地*=1.2 会津美里町新鶴庁舎*=1.2 西会津町登世島*=1.1 二本松市小浜*=1.1 棚倉町棚倉館ヶ丘*=1.1 会津若松市材木町=0.9 福島伊達市梁川町*=0.9 福島伊達市保原町*=0.8 下郷町高隣*=0.8 会津若松市北会津町*=0.8 会津美里町本郷庁舎*=0.6 西会津町野沢=0.6				
		茨城県				
		3 大子町池田*=2.5				
		2 常陸太田市町屋町=2.4 北茨城市磯原町*=2.3 笠間市石井*=2.3 ひたちなか市南神敷台*=2.3 日立市助川小学校*=2.2 北茨城市中郷町*=2.2 高萩市安良川*=2.1 日立市十王町友部*=1.9 常陸大宮市山方*=1.8 城里町石塚*=1.8 筑西市舟生=1.8 常陸太田市町田町*=1.8 高萩市本町*=1.7 水戸市栗崎町*=1.7 桜川市羽田*=1.6 日立市役所*=1.6 笠間市笠間*=1.6 大洗町磯浜町*=1.6 常陸大宮市北町*=1.6 常陸大宮市高部*=1.6 常陸太田市高柿町*=1.6 常陸太田市大中町*=1.5 水戸市千波町*=1.5 常陸大宮市野口*=1.5 城里町阿波山*=1.5 土浦市常名=1.5 筑西市門井*=1.5 筑西市二木成*=1.5 東海村東海*=1.5				
		1 笠間市中央*=1.4 ひたちなか市東石川*=1.4 那珂市瓜連*=1.4 桜川市真壁*=1.4 城里町徳蔵*=1.3 桜川市岩瀬*=1.3 水戸市金町=1.3 常陸太田市金井町*=1.3 ひたちなか市山ノ上町=1.3 石岡市柿岡=1.2 笠間市下郷*=1.2 鉾田市汲上*=1.2 石岡市若宮*=1.1 茨城鹿嶋市宮中*=1.1 鉾田市造谷*=1.1 那珂市福田*=1.1 小美玉市堅倉*=1.1 土浦市藤沢*=1.1 行方市麻生*=1.0 常陸大宮市中富町=1.0 石岡市八郷*=1.0 茨城鹿嶋市鉢形=1.0 茨城町小堤*=0.9 境町旭町*=0.9 稲敷市江戸崎甲*=0.9 筑西市海老ヶ島*=0.9 かすみがうら市上土田*=0.9 石岡市石岡*=0.9 つくば市研究学園*=0.9 常総市新石下*=0.9 小美玉市小川*=0.8 つくば市天王台*=0.8 小美玉市上玉里*=0.8 土浦市田中*=0.8 美浦村受領*=0.8 坂東市山*=0.8 かすみがうら市大和田*=0.8 つくば市小茎*=0.7 鉾田市鉾田=0.7 八千代町菅谷*=0.7 五霞町小福田*=0.7 坂東市役所*=0.7 稲敷市伊佐津*=0.7 取手市寺田*=0.6 常陸大宮市上小瀬*=0.5 守谷市大柏*=0.5 下妻市本城町*=0.5				
		栃木県				
		3 大田原市湯津上*=2.7 那須町寺子*=2.6				
		2 鹿沼市晃望台*=2.2 高根沢町石末*=2.2 宇都宮市明保野町=2.1 宇都宮市中里町*=2.1 栃木那珂川町馬頭*=2.1 宇都宮市中岡本町*=1.8 栃木那珂川町小川*=1.8 大田原市黒羽田町=1.7 芳賀町祖母井*=1.7 日光市瀬川=1.6 宇都宮市旭*=1.6 壬生町壬生甲*=1.6 大田原市本町*=1.5 矢板市本町*=1.5 宇都宮市塙田*=1.5 鹿沼市今宮町*=1.5 栃木さくら市喜連川*=1.5 下野市笹原*=1.5				
		1 日光市芹沼*=1.4 那須塩原市鍋掛*=1.4 栃木市旭町=1.4 栃木市岩舟町静*=1.4 那須烏山市大金*=1.4 日光市鬼怒川温泉大原*=1.3 日光市今市本町*=1.3 鹿沼市口栗野*=1.3 茂木町茂木*=1.3 市貝町市塙*=1.3 塩谷町玉生*=1.2 那須塩原市あたご町*=1.2 栃木市万町*=1.2 小山市神島谷*=1.2 那須烏山市神長=1.2 那須烏山市役所*=1.2 下野市田中*=1.2 那須塩原市共懇社*=1.1 那須塩原市塩原庁舎*=1.1 佐野市高砂町*=1.1 栃木さくら市氏家*=1.1 下野市大松山*=1.1 栃木市大平町富田*=1.0 佐野市葛生東*=1.0 那須塩原市中塩原*=0.9 栃木市藤岡町藤岡*=0.9 足利市大正町*=0.8 日光市足尾町中才*=0.8 栃木市西方町本城*=0.7 佐野市中町*=0.7 日光市藤原庁舎*=0.6 栃木市都賀町家中*=0.6 真岡市田町*=0.6 茂木町北高岡天矢場*=0.6 日光市黒部*=0.5 真岡市石島*=0.5 益子町益子=0.5				
		宮城県				
		2 岩沼市桜*=2.4 蔵王町円田*=1.5				
		1 名取市増田*=1.3 亘理町悠里*=1.2 大崎市田尻*=1.1 白石市亘理町*=1.1 山元町浅生原*=1.1 丸森町上滝=1.0 角田市角田*=1.0 柴田町船岡=1.0 宮城川崎町前川*=1.0 丸森町鳥屋*=0.9 仙台空港=0.9 石巻市桃生町*=0.8 気仙沼市笹が陣*=0.7 仙台宮城野区苦竹*=0.7 仙台若林区遠見塚*=0.7 石巻市大街道南*=0.7 大河原町新南*=0.7 村田町村田*=0.7 大崎市古川三日町=0.6 気仙沼市赤岩=0.6 登米市迫町*=0.6 石巻市北上町*=0.5 登米市中田町=0.5 松島町高城=0.5 大崎市古川大崎=0.5				
		岩手県				
		1 一関市千蔵町*=0.7 一関市室根町*=0.7 住田町世田米*=0.6 一関市藤沢町*=0.6 大船渡市大船渡町=0.6 釜石市中妻町*=0.5				
		山形県				
		1 山辺町緑ヶ丘*=1.0 上山市河崎*=0.8 白鷹町荒砥*=0.5				
		群馬県				
		1 桐生市元宿町*=1.0 邑楽町中野*=0.9 沼田市白沢町*=0.7 太田市西本町*=0.7 渋川市赤城町*=0.7 板倉町板倉=0.7 桐生市黒保根町*=0.6 前橋市粕川町*=0.5 前橋市鼻毛石町*=0.5 伊勢崎市西久保町*=0.5 太田市浜町*=0.5 千代田町赤岩*=0.5				

令和7年5月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
		埼玉県 1 宮代町笠原*=1.1 久喜市下早見=0.9 川島町下八ツ林*=0.9 さいたま中央区下落合*=0.9 加須市大利根*=0.8 春日部市金崎*=0.8 東松山市松葉町*=0.7 滑川町福田*=0.7 川越市新宿町*=0.7 春日部市粕壁*=0.7 北本市本町*=0.7 加須市北川辺*=0.6 久喜市鷺宮*=0.6 川越市旭町=0.6 上尾市本町*=0.6 桶川市泉*=0.6 坂戸市千代田*=0.6 さいたま西区指扇*=0.5 さいたま大宮区大門*=0.5 加須市騎西*=0.5 千葉県 1 野田市鶴奉*=0.7 野田市東宝珠花*=0.7 千葉花見川区花島町*=0.5 成田市名古屋=0.5 八千代市大和田新田*=0.5 新潟県 1 長岡市山古志竹沢*=0.6				
43	14 01 44	宮城県沖 宮城県 1 石巻市北上町*=0.7 南三陸町歌津*=0.6	38° 25.1' N	142° 11.2' E	36km	M: 4.0
44	14 01 52	小笠原諸島西方沖 東京都 2 小笠原村母島=2.1 1 小笠原村父島三日月山=1.2 小笠原村父島西町=1.1	27° 23.8' N	140° 22.6' E	457km	M: 5.7
45	14 11 19	熊本県熊本地方 熊本県 2 熊本西区春日=2.0 宇城市豊野町*=1.8 宇城市松橋町=1.8 宇城市不知火町*=1.6 1 益城町宮園*=1.3 熊本南区富合町*=1.3 上天草市大矢野町=1.3 合志市竹迫*=1.2 熊本南区城南町*=1.1 熊本東区佐土原*=1.1 大津町大津*=1.0 宇土市浦田町*=0.9 菊池市泗水町*=0.9 宇城市三角町*=0.8 熊本中央区大江*=0.8 宇城市小川町*=0.8 熊本美里町馬場*=0.7 八代市鏡町*=0.7 熊本美里町永富*=0.7 玉名市横島町*=0.5 熊本北区植木町*=0.5 甲佐町豊内*=0.5	32° 44.3' N	130° 38.4' E	14km	M: 3.3
46	14 12 41	熊本県熊本地方 熊本県 1 熊本西区春日=0.5	32° 44.3' N	130° 38.5' E	14km	M: 2.4
47	14 15 02	宮城県北部 宮城県 1 栗原市栗駒=0.7	38° 56.1' N	140° 52.8' E	7km	M: 2.7
48	14 17 32	宮城県沖 宮城県 2 石巻市桃生町*=2.0 1 涌谷町新町裏=1.4 石巻市泉町=1.1 栗原市栗駒=1.0 石巻市大街道南*=1.0 登米市豊里町*=0.9 大崎市田尻*=0.9 石巻市北上町*=0.9 登米市中田町=0.8 石巻市雄勝町*=0.8 大崎市古川大崎=0.7 石巻市前谷地*=0.7 東松島市矢本*=0.7 大郷町粕川*=0.7 登米市米山町*=0.6 大崎市鹿島台*=0.6 登米市東和町*=0.5 石巻市鮎川浜*=0.5 南三陸町歌津*=0.5 大崎市古川三日町=0.5 岩手県 1 一関市室根町*=1.1 一関市千厩町*=0.8 一関市藤沢町*=0.8 大船渡市大船渡町=0.7 奥州市衣川*=0.6 釜石市中妻町*=0.6 住田町世田米*=0.6 一関市大東町=0.6	38° 20.5' N	142° 09.6' E	38km	M: 4.2
49	14 17 51	静岡県伊豆地方 静岡県 2 熱海市網代=2.3 1 熱海市泉*=1.4 熱海市中央町*=1.4 伊豆市中伊豆グラウンド=1.2 東伊豆町奈良本*=0.9 函南町平井*=0.7 三島市東本町=0.7 神奈川県 1 湯河原町中央=1.1	35° 02.9' N	139° 06.7' E	8km	M: 2.9
50	14 18 00	静岡県伊豆地方 静岡県 1 熱海市網代=1.2	35° 02.9' N	139° 06.5' E	8km	M: 2.2
51	15 02 05	茨城県南部 茨城県 2 桜川市真壁*=1.8 1 守谷市大柏*=1.3 坂東市馬立*=1.3 笠間市石井*=1.3 土浦市藤沢*=1.2 つくば市天王台*=1.1 坂東市役所*=1.1 桜川市羽田*=1.1 笠間市笠間*=1.1 筑西市舟生=1.0 土浦市常名=0.9 桜川市岩瀬*=0.9 石岡市柿岡=0.9 取手市寺田*=0.8 筑西市二本成*=0.8 下妻市本城町*=0.7 かすみがうら市上土田*=0.7 境町旭町*=0.7 石岡市八郷*=0.7 筑西市門井*=0.7 常陸大宮市北町*=0.6 城里町石塚*=0.6 稲敷市江戸崎甲*=0.6 小美玉市小川*=0.6 笠間市下郷*=0.6 筑西市海老ヶ島*=0.6 つくば市研究学園*=0.5 つくばみらい市福田*=0.5 栃木県 2 真岡市石島*=1.5 1 益子町益子=1.4 宇都宮市明保野町=0.9 栃木市岩舟町静*=0.9 下野市田中*=0.9 下野市笹原*=0.8 栃木市大平町富田*=0.7 小山市中央町*=0.7 真岡市田町*=0.7 栃木市旭町=0.7 壬生町壬生甲*=0.6 真岡市荒町*=0.5 小山市神鳥谷*=0.5 埼玉県 1 春日部市粕壁*=1.0 宮代町笠原*=0.7 春日部市金崎*=0.6 千葉県 1 野田市鶴奉*=1.1 柏市旭町=0.7 柏市柏*=0.7 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷*=0.7 習志野市鷺沼*=0.5	36° 06.7' N	139° 59.2' E	48km	M: 3.4
52	15 06 34	トカラ列島近海 鹿児島県 2 鹿児島十島村悪石島*=2.4	29° 25.0' N	129° 29.1' E	16km	M: 3.3
53	15 08 02	熊本県熊本地方 熊本県 1 宇城市松橋町=0.6	32° 38.9' N	130° 42.0' E	8km	M: 2.0
54	15 09 04	トカラ列島近海 鹿児島県 1 鹿児島十島村悪石島*=0.5	29° 22.9' N	129° 32.0' E	10km	M: 2.4

令和7年5月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
55	15 09 45	石川県能登地方 石川県 1 珠洲市正院町*=1.3 珠洲市大谷町*=0.9 輪島市鳳至町=0.7	37° 27.1' N	137° 07.8' E	11km	M: 3.2
56	15 13 51	茨城県南部 茨城県 1 桜川市真壁*=0.9 笠間市石井*=0.6	36° 06.6' N	139° 59.1' E	47km	M: 2.8
57 (注)	15 14 05 15 14 05	福島県中通り 福島県中通り 福島県 2 古殿町松川新桑原*=2.4 古殿町松川横川=2.2 いわき市三和町=2.2 いわき市錦町*=1.5 1 小野町中通*=1.3 田村市都路町*=1.2 小野町小野新町*=1.1 浅川町浅川*=1.0 田村市滝根町*=1.0 石川町長久保*=1.0 玉川村小高*=1.0 いわき市小名浜=0.8 矢祭町戸塚*=0.8 棚倉町棚倉中居野=0.7 いわき市平四ツ波*=0.6 鏡石町不時沼*=0.5 鮫川村赤坂中野*=0.5 茨城県 1 日立市助川小学校*=1.1 笠間市石井*=1.1 土浦市常名=0.9 常陸太田市高柿町*=0.8 常陸大宮市山方*=0.8 笠間市笠間*=0.7 石岡市柿岡=0.6 日立市役所*=0.6 常陸大宮市北町*=0.5 ひたちなか市南神敷台*=0.5 ひたちなか市東石川*=0.5 栃木県 1 宇都宮市明保野町=0.7	37° 05.9' N 37° 06.0' N	140° 38.4' E 140° 38.5' E	8km 7km	M: 4.0 M: 3.4
58	15 15 53	鹿児島県薩摩地方 鹿児島県 1 長島町鷹巣*=0.5	32° 11.2' N	130° 10.2' E	12km	M: 2.2
59	15 22 05	十勝地方中部 北海道 4 浦幌町桜町*=3.5 2 新得町2条*=2.4 豊頃町茂岩本町*=2.4 音更町元町*=2.3 十勝清水町南4条=2.3 幕別町本町*=2.3 帯広市東6条*=2.3 新冠町北星町*=2.2 本別町向陽町*=2.2 釧路市音別町中園*=2.2 十勝池田町西1条*=2.1 帯広市東4条=2.0 本別町北2丁目=1.9 足寄町南1条*=1.9 むかわ町穂別*=1.9 鹿追町東町*=1.8 幕別町忠類明和=1.8 幕別町忠類錦町*=1.8 白糠町西1条*=1.8 標茶町塘路*=1.7 中札内村東2条*=1.5 更別村更別*=1.5 十勝大樹町東本通*=1.5 三笠市幸町*=1.5 芽室町東2条*=1.5 上士幌町上士幌*=1.5 1 函館市新浜町*=1.4 安平町早来北進*=1.4 新ひだか町静内山手町=1.4 釧路市阿寒町中央*=1.4 厚真町鹿沼=1.3 士幌町士幌*=1.3 弟子屈町弟子屈*=1.3 むかわ町松風*=1.3 釧路町別保*=1.3 別海町常盤=1.3 鶴居村鶴居東*=1.2 厚真町京町*=1.2 根室市厚床*=1.2 上士幌町清水谷*=1.1 足寄町上螺湾=1.1 浜中町茶内*=1.1 広尾町並木通=1.0 平取町振内*=1.0 釧路市幸町=1.0 白老町竹浦=1.0 浦河町築地*=1.0 標茶町川上*=0.9 北見市留辺蘂町温根湯温泉=0.9 千歳市若草*=0.9 千歳市支笏湖温泉*=0.9 札幌清田区平岡*=0.9 厚岸町真栄*=0.9 浦河町潮見=0.9 浦河町野深=0.8 広尾町白樺通=0.8 北見市留辺蘂町栄町*=0.8 新千歳空港=0.8 南富良野町役場*=0.8 函館市泊町*=0.8 厚岸町尾幌=0.8 陸別町陸別*=0.8 新ひだか町三石旭町*=0.8 占冠村中央*=0.7 千歳市北栄=0.7 日高地方日高町日高*=0.7 根室市落石東*=0.7 日高地方日高町門別*=0.7 えりも町目黒*=0.6 室蘭市寿町*=0.6 苫小牧市末広町=0.6 札幌厚別区もみじ台*=0.6 標津町北2条*=0.5 札幌東区元町*=0.5 北広島市中の沢*=0.5 函館市川汲町*=0.5 新ひだか町静内御園=0.5 青森県 1 階上町道仏*=1.1 むつ市大畑町中島*=1.0 東通村砂子又沢内*=1.0 八戸市湊町=0.9 八戸市南郷*=0.9 八戸市内丸*=0.6 野辺地町野辺地*=0.6 七戸町森ノ上*=0.6 五戸町古館=0.6 青森南部町苦米地*=0.6 平内町小湊=0.6 東北町上北南*=0.5 外ヶ浜町蟹田*=0.5 五戸町倉石中市*=0.5 青森南部町平*=0.5 むつ市金曲=0.5 東通村砂子又蒲谷地=0.5 岩手県 1 盛岡市藪川*=0.8 久慈市枝成沢=0.5	42° 48.3' N	143° 19.2' E	95km	M: 4.7
60	16 22 04	福島県中通り 福島県 1 浅川町浅川*=0.5	37° 03.2' N	140° 26.2' E	8km	M: 1.8
61	16 22 15	釧路沖 北海道 2 浜中町茶内*=2.2 厚岸町尾幌=2.0 別海町西春別*=2.0 標茶町川上*=1.9 標茶町塘路*=1.8 標津町北2条*=1.6 厚岸町真栄*=1.6 釧路市黒金町*=1.5 1 別海町常盤=1.3 中標津町養老牛=1.2 根室市厚床*=1.2 十勝池田町西1条*=1.1 浦幌町桜町*=1.1 弟子屈町弟子屈*=1.1 釧路町別保*=1.0 釧路市音別町中園*=1.0 鶴居村鶴居東*=0.9 釧路市幸町=0.9 足寄町上螺湾=0.8 白糠町西1条*=0.7 別海町本別海*=0.7 十勝清水町南4条=0.7 斜里町ウトロ香川*=0.6	42° 52.7' N	144° 32.6' E	55km	M: 4.2
62	17 03 20	石川県西方沖 石川県 1 志賀町香能*=0.6	36° 55.9' N	136° 22.6' E	13km	M: 3.5
63	17 08 52	新潟県中越地方 新潟県 2 魚沼市下折立=1.8 1 魚沼市今泉*=1.4 魚沼市須原*=1.1	37° 13.5' N	139° 05.3' E	3km	M: 2.9
64	17 10 39	奄美大島近海 鹿児島県 1 奄美市住用町西仲間*=1.3 奄美市名瀬矢之脇町=1.1 瀬戸内町西古見=1.1 大和村思勝*=0.9 奄美市名瀬幸町*=0.7 奄美市笠利町里*=0.5	28° 13.9' N	129° 28.6' E	34km	M: 3.7
65	17 17 15	十勝地方南部 北海道 2 浦幌町桜町*=1.5 1 幕別町忠類錦町*=1.4 豊頃町茂岩本町*=0.8 更別村更別*=0.8 十勝池田町西1条*=0.7 本別町北2丁目=0.6	42° 27.6' N	143° 05.2' E	34km	M: 3.5

令和7年5月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
66	17 18 31	青森県西方沖 青森県	40° 41.0' N	139° 51.1' E	9km	M: 2.5
67	18 09 32	根室半島南東沖 北海道	42° 59.7' N	146° 36.0' E	40km	M: 4.5
68	18 10 19	岩手県内陸北部 岩手県	39° 39.9' N	141° 12.4' E	10km	M: 2.8
69	18 10 43	千葉県北東部 茨城県 千葉県	35° 52.2' N	140° 30.6' E	38km	M: 2.9
70	19 03 37	硫黄島近海 東京都	25° 38.2' N	141° 14.6' E	108km	M: 4.7
71	19 12 14	福島県沖 福島県	37° 10.8' N	141° 18.8' E	7km	M: 4.7
		茨城県				
		宮城県				
		山形県				
		栃木県				
		千葉県				
72	19 20 35	能登半島沖 石川県	37° 08.8' N	136° 40.1' E	6km	M: 2.1
73	19 21 22	岩手県沖 岩手県	39° 44.6' N	142° 15.4' E	21km	M: 3.5
74	20 05 16	上川地方北部 北海道	44° 50.6' N	142° 06.7' E	3km	M: 2.1
75	20 06 12	トカラ列島近海 鹿児島県	29° 23.2' N	129° 31.0' E	10km	M: 2.4
76	20 07 36	トカラ列島近海 鹿児島県	29° 11.3' N	129° 17.5' E	12km	M: 2.5
77	21 06 10	石川県能登地方 石川県	37° 23.8' N	136° 53.4' E	0km	M: 1.9
78	21 09 19	三重県北部 三重県 滋賀県	34° 55.8' N	136° 33.0' E	39km	M: 3.2
79	21 19 30	熊本県熊本地方 熊本県	32° 44.3' N	130° 38.4' E	14km	M: 2.8
80	21 20 49	和歌山県北部 三重県	34° 11.3' N	135° 35.7' E	72km	M: 3.6

令和7年5月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
		奈良県 1 御杖村菅野＊=0.9 吉野町上市＊=0.7 下北山村寺垣内＊=0.6 天川村洞川=0.5 和歌山県 1 橋本市東家＊=0.6 日高川町高津尾＊=0.5				
81	22 03 27	岩手県内陸北部 40° 10.7' N 岩手県 1 二戸市浄法寺町＊=1.4	141° 07.8' E	8km	M: 2.6	
82	22 15 33	沖縄本島近海 26° 03.5' N 沖縄県 2 久米島町謝名堂=1.5 1 久米島町山城=1.4 久米島町比嘉＊=1.4	126° 49.9' E	59km	M: 3.9	
83	23 03 46	山梨県中・西部 35° 45.6' N 山梨県 1 山梨市牧丘町窪平＊=1.1	138° 40.8' E	6km	M: 2.6	
84	23 06 28	浦河沖 41° 51.2' N 北海道 4 浦河町潮見=3.9 浦河町築地＊=3.9 様似町栄町＊=3.7 3 浦幌町桜町＊=3.2 十勝大樹町東本通＊=3.1 えりも町えりも岬＊=2.9 浦河町野深=2.8 幕別町忠類錦町＊=2.8 広尾町並木通=2.8 広尾町白樺通=2.8 新ひだか町三石旭町＊=2.7 えりも町目黒＊=2.5 釧路市音別町中園＊=2.5 2 新冠町北星町＊=2.4 新ひだか町静内山手町=2.3 釧路町別保＊=2.3 新ひだか町静内御幸町＊=2.2 白糠町西1条＊=2.2 豊頃町茂岩本町＊=2.1 安平町追分柏が丘＊=1.9 更別村更別＊=1.9 釧路市阿寒町中央＊=1.9 えりも町本町=1.9 芽室町東2条＊=1.9 標津町北2条＊=1.9 十勝池田町西1条＊=1.9 函館市泊町＊=1.8 釧路市黒金町＊=1.8 別海町西春別＊=1.8 むかわ町穂別＊=1.8 帯広市東6条＊=1.8 釧路市阿寒町阿寒湖温泉＊=1.7 函館市新浜町＊=1.7 厚真町鹿沼=1.7 平取町振内＊=1.7 別海町常盤=1.7 帯広市東4条=1.7 安平町早来北進＊=1.7 音更町元町＊=1.7 千歳市若草＊=1.6 中札内村東2条＊=1.6 鹿追町東町＊=1.6 厚真町京町＊=1.6 北広島市中の沢＊=1.6 白老町竹浦=1.6 新ひだか町静内御園=1.6 むかわ町松風＊=1.6 本別町北2丁目=1.5 標茶町塘路＊=1.5 本別町向陽町＊=1.5 十勝清水町南4条=1.5 札幌東区元町＊=1.5 幕別町本町＊=1.5 南幌町栄町＊=1.5 新得町2条＊=1.5 1 江別市緑町＊=1.4 恵庭市京町＊=1.4 中標津町丸山＊=1.4 別海町本別海＊=1.4 釧路市幸町=1.3 厚岸町真栄＊=1.3 新篠津村第47線＊=1.3 函館市川汲町＊=1.3 上士幌町上士幌＊=1.3 足寄町南1条＊=1.3 幕別町忠類明和=1.3 日高地方日高町門別＊=1.2 新ひだか町静内農屋＊=1.2 根室市落石東＊=1.2 千歳市支笏湖温泉＊=1.2 足寄町上螺湾=1.2 札幌白石区北郷＊=1.2 士幌町士幌＊=1.2 千歳市北栄=1.2 弟子屈町弟子屈＊=1.2 長沼町中央＊=1.2 室蘭市寿町＊=1.2 登別市桜木町＊=1.1 札幌北区篠路＊=1.1 札幌北区太平＊=1.1 三笠市幸町＊=1.1 鶴居村鶴居東＊=1.1 新千歳空港=1.1 胆振伊達市大滝区本町＊=1.1 根室市厚床＊=1.1 札幌厚別区もみじ台＊=1.1 上士幌町清水谷＊=1.0 根室市瑠瑠瑠＊=1.0 苫小牧市旭町＊=1.0 厚岸町尾幌=1.0 日高地方日高町日高＊=1.0 弟子屈町美里=0.9 鹿部町宮浜＊=0.9 岩見沢市栗沢町東本町＊=0.9 苫小牧市末広町=0.9 札幌北区新琴似＊=0.9 浜中町茶内＊=0.9 江別市高砂町=0.9 美幌町東3条=0.9 小清水町小清水＊=0.9 胆振伊達市梅本=0.8 札幌清田区平岡＊=0.8 木古内町木古内＊=0.8 岩見沢市5条=0.8 標茶町川上＊=0.8 札幌手稲区前田＊=0.8 登別市鉦山=0.8 羅臼町岬町＊=0.7 占冠村中央＊=0.7 当別町白樺＊=0.7 小樽市勝納町=0.7 南富良野町役場＊=0.7 岩見沢市鳩が丘＊=0.6 函館市尾札部町=0.6 石狩市花畔＊=0.6 由仁町新光＊=0.6 胆振伊達市末永町＊=0.6 余市町浜中町＊=0.6 石狩市聚富=0.6 中標津町養老牛=0.6 置戸町拓殖＊=0.5 渡島森町上台町＊=0.5 月形町円山公園＊=0.5 美唄市西3条＊=0.5 白老町緑丘＊=0.5 北見市留辺蘂町栄町＊=0.5 標津町古多糠=0.5 青森県 2 東通村砂子又沢内＊=2.2 八戸市南郷＊=1.9 野辺地町田狭沢＊=1.7 階上町道仏＊=1.7 八戸市湊町=1.6 七戸町森ノ上＊=1.6 青森南部町苔米地＊=1.6 青森南部町平＊=1.6 むつ市大畑町中島＊=1.6 野辺地町野辺地＊=1.5 五戸町古館=1.5 おいらせ町中下田＊=1.5 東通村砂子又蒲谷地=1.5 1 三沢市桜町＊=1.4 東北町上北南＊=1.4 八戸市内丸＊=1.3 六ヶ所村尾駈=1.3 五戸町倉石中市＊=1.3 むつ市金曲=1.3 六戸町大落瀬＊=1.2 おいらせ町上明堂＊=1.2 七戸町七戸＊=1.1 平内町小湊=1.1 外ヶ浜町蟹田＊=1.0 横浜町林ノ脇＊=0.9 東北町塔ノ沢山＊=0.9 三戸町在府小路町＊=0.9 青森南部町沖田面＊=0.9 むつ市川内町＊=0.9 十和田市西二番町＊=0.9 十和田市西十二番町＊=0.9 青森市花園=0.7 青森市中央＊=0.7 青森市浪岡＊=0.7 東通村白糠＊=0.7 横浜町寺下＊=0.7 藤崎町水木＊=0.7 つがる市市稲垣町＊=0.6 藤崎町西豊田＊=0.6 十和田市奥瀬＊=0.6 六ヶ所村出戸=0.5 蓬田村蓬田＊=0.5 田舎館村田舎館＊=0.5 大間町大間＊=0.5 東通村尻屋＊=0.5 風間浦村易国間＊=0.5 岩手県 2 盛岡市薮川＊=1.7 1 軽米町軽米＊=1.4 二戸市浄法寺町＊=1.3 久慈市枝成沢=1.1 盛岡市山王町=1.1 矢巾町南矢幅＊=1.1 八幡平市田頭＊=1.0 二戸市福岡=0.7 宮古市田老＊=0.6 岩手洋野町種市=0.6 八幡平市大更=0.6 遠野市青笹町＊=0.6 花巻市石鳥谷町＊=0.5 宮城県 1 登米市迫町＊=0.7 山形県 1 庄内町狩川＊=0.6				
85	23 16 49	豊後水道 33° 11.8' N 大分県 1 臼杵市臼杵＊=0.9 豊後大野市犬飼町黒松＊=0.7 豊後大野市犬飼町犬飼＊=0.7 豊後大野市千歳町＊=0.6	131° 52.6' E	63km	M: 3.2	
86	23 23 44	茨城県沖 36° 46.4' N 福島県 1 白河市新白河＊=1.4 天栄村下松本＊=0.7 川内村上川内早渡＊=0.7 檜峯町北田＊=0.5 茨城県 1 笠間市石井＊=1.0 日立市助川小学校＊=0.8 高萩市安良川＊=0.7 東海村東海＊=0.7 大子町池田＊=0.7	141° 21.5' E	29km	M: 4.3	
87	24 07 40	沖縄本島近海 27° 01.0' N 鹿児島県 1 与論町茶花＊=0.5	128° 36.2' E	15km	M: 3.4	

令和7年5月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
88	24 21 07	栃木県北部 栃木県 1 日光市鬼怒川温泉大原※=1.1	36° 50.0' N	139° 47.5' E	5km	M: 2.6
89	25 00 23	長野県南部 長野県 1 木曽町新開※=0.6 木曽町開田高原西野※=0.6	35° 54.6' N	137° 37.7' E	8km	M: 2.5
90	25 00 31	能登半島沖 石川県 1 志賀町香能※=0.6	37° 09.8' N	136° 40.5' E	3km	M: 1.5
91	25 02 49	苫小牧沖 北海道 青森県 1 函館市泊町※=0.9 1 東通村砂子又沢内※=0.7	41° 36.2' N	141° 57.3' E	61km	M: 3.5
92	26 09 56	宮城県沖 岩手県 3 大船渡市大船渡町=2.7 大船渡市猪川町=2.5 住田町世田米※=2.5 一関市室根町※=2.5 2 陸前高田市高田町※=2.4 一関市千厩町※=2.4 一関市藤沢町※=2.2 釜石市中妻町※=2.0 一関市東山町※=1.8 北上市相去町※=1.8 一関市大東町=1.8 釜石市只越町=1.8 大船渡市盛町※=1.7 奥州市衣川※=1.6 宮古市区界※=1.6 花巻市東和町※=1.5 遠野市青笹町※=1.5 1 大槌町上町※=1.4 盛岡市薮川※=1.4 遠野市宮守町※=1.4 一関市花泉町※=1.4 奥州市前沢※=1.4 花巻市大迫町=1.3 北上市柳原町=1.3 八幡平市田頭※=1.3 矢巾町南矢幅※=1.3 金ヶ崎町西根※=1.3 平泉町平泉※=1.3 奥州市胆沢※=1.2 盛岡市山王町=1.1 一関市川崎町※=1.1 宮古市田老※=1.1 花巻市石鳥谷町※=1.1 奥州市江刺※=1.1 花巻市大迫総合支所※=1.1 盛岡市洪民※=1.1 宮古市五月町※=1.0 宮古市川井※=1.0 西和賀町沢内川舟※=1.0 西和賀町沢内太田※=0.9 奥州市水沢佐倉河※=0.9 雫石町千刈田=0.9 山田町大沢※=0.9 一関市竹山町※=0.9 盛岡市馬場町※=0.9 宮古市茂市※=0.8 花巻市材木町※=0.8 久慈市枝成沢=0.8 葛巻町葛巻元木=0.8 九戸村伊保内※=0.7 岩手町五日市※=0.7 八幡平市大更=0.7 宮古市鉾ヶ崎=0.7 宮古市長沢=0.6 山田町八幡町=0.6 奥州市水沢大鐘町=0.5 宮城県 3 気仙沼市唐桑町※=3.1 気仙沼市笹が陣※=2.8 南三陸町歌津※=2.8 石巻市桃生町※=2.5 2 気仙沼市赤岩=2.4 登米市東和町※=2.4 気仙沼市本吉町西川内=2.2 栗原市栗駒=2.2 涌谷町新町裏=2.1 石巻市雄勝町※=2.1 大崎市古川三日町=2.0 大崎市古川大崎=2.0 石巻市北上町※=2.0 登米市中田町=2.0 女川町女川※=2.0 大崎市古川旭※=1.9 大崎市田尻※=1.8 気仙沼市本吉町津谷※=1.8 登米市米山町※=1.7 石巻市泉町=1.7 石巻市大街道南※=1.7 栗原市一迫※=1.7 栗原市高清水※=1.7 栗原市築館※=1.6 登米市豊里町※=1.6 岩沼市桜※=1.6 大崎市鹿島台※=1.5 登米市迫町※=1.5 登米市石越町※=1.5 仙台宮城野区苦竹※=1.5 栗原市鶯沢※=1.5 石巻市前谷地※=1.5 大崎市鳴子※=1.5 東松島市小野※=1.5 栗原市金成※=1.5 1 宮城美里町北浦※=1.4 宮城美里町木間塚※=1.4 石巻市鮎川浜※=1.4 東松島市矢本※=1.4 利府町利府※=1.4 栗原市若柳※=1.3 登米市南方町※=1.3 南三陸町志津川=1.3 蔵王町円田※=1.3 仙台泉区将監※=1.3 石巻市大瓜=1.3 松島町高城=1.3 大衡村大衡※=1.3 仙台青葉区作並※=1.2 宮城加美町中新田※=1.2 栗原市瀬峰※=1.2 栗原市志波姫※=1.2 名取市増田※=1.2 登米市登米町※=1.2 宮城川崎町前川※=1.2 仙台青葉区大倉=1.1 石巻市相野谷※=1.1 塩竈市今宮町※=1.1 大崎市松山※=1.1 大郷町粕川※=1.1 栗原市花山※=1.1 登米市津山町※=1.0 大河原町新南※=1.0 宮城加美町小野田※=0.9 七ヶ浜町東宮浜※=0.9 亘理町悠里※=0.8 仙台空港=0.8 仙台宮城野区五輪=0.8 仙台若林区遠見塚※=0.8 山元町浅生原※=0.7 大和町吉岡※=0.7 村田町村田※=0.7 多賀城市中央※=0.6 角田市角田※=0.6 柴田町船岡=0.6 仙台青葉区雨宮※=0.6 仙台青葉区落合※=0.6 青森県 1 八戸市南郷※=1.1 青森南部町苫米地※=1.0 階上町道仏※=0.8 八戸市湊町=0.6 青森南部町平※=0.5 三戸町在府小路町※=0.5 八戸市内丸※=0.5 秋田県 1 仙北市西木町上桧木内※=0.6	38° 30.6' N	142° 00.9' E	32km	M: 4.5
93	26 14 41	秋田県沿岸北部 秋田県 1 三種町森岳※=0.6	40° 23.0' N	140° 15.5' E	6km	M: 3.0
94	26 17 47	十勝地方南部 北海道 4 浦河町潮見=3.8 浦河町築地※=3.7 3 十勝大樹町東本通※=3.3 幕別町忠類錦町※=3.2 様似町栄町※=3.2 浦幌町桜町※=3.1 えりも町えりも岬※=3.0 十勝大樹町生花※=3.0 広尾町白樺通=3.0 えりも町目黒※=2.9 浦河町野深=2.9 更別村更別※=2.9 新ひだか町三石旭町※=2.6 十勝池田町西1条※=2.5 広尾町並木通=2.5 えりも町本町=2.5 2 安平町早来北進※=2.4 新冠町北星町※=2.4 厚真町鹿沼=2.3 千歳市若草※=2.3 白老町竹浦=2.3 新ひだか町静内山手町=2.3 鹿追町東町※=2.3 豊頃町茂岩本町※=2.3 釧路市阿寒町中央※=2.3 釧路市音別町中園※=2.3 白糠町西1条※=2.3 安平町追分柏が丘※=2.2 本別町向陽町※=2.2 中札内村東2条※=2.2 むかわ町穂別※=2.2 新ひだか町静内御幸町※=2.2 平取町振内※=2.2 芽室町東2条※=2.1 千歳市支笏湖温泉※=2.1 本別町北2丁目=2.1 函館市新浜町※=2.1 函館市泊町※=2.0 釧路町別保※=2.0 札幌東区元町※=2.0 むかわ町松風※=2.0 三笠市幸町※=1.9 日高地方日高町門別※=1.9 北広島市中の沢※=1.9 別海町西春別※=1.9 帯広市東6条※=1.9 釧路市黒金町※=1.9 函館市川汲町※=1.9 長沼町中央※=1.8 室蘭市寿町※=1.8 新得町2条※=1.8 足寄町南1条※=1.8 苫小牧市旭町※=1.8 十勝清水町南4条=1.8 札幌厚別区もみじ台※=1.8 江別市緑町※=1.8 厚真町京町※=1.8 札幌白石区北郷※=1.8 千歳市北栄=1.7 小樽市勝納町=1.7 幕別町忠類明和=1.7 標茶町塘路※=1.7 幕別町本町※=1.7 中標津町丸山※=1.7 新千歳空港=1.7 南幌町栄町※=1.7 恵庭市京町※=1.7 帯広市東4条=1.7 胆振伊達市大滝区本町※=1.7 音更町元町※=1.6 登別市桜木町※=1.6 札幌北区太平※=1.6 新ひだか町静内御園=1.6 標津町北2条※=1.6 札幌北区篠路※=1.5 札幌清田区平岡※=1.5 苫小牧市末広町=1.5 岩見沢市栗沢町東本町※=1.5 別海町常盤=1.5	42° 19.9' N	143° 04.2' E	50km	M: 5.3

令和7年5月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
		1 札幌北区新琴似※=1.4 江別市高砂町=1.4 鹿部町宮浜※=1.4 余市町浜中町※=1.4 新ひだか町静内農屋※=1.4 浜中町茶内※=1.4 別海町本別海※=1.4 足寄町上螺湾=1.3 士幌町士幌※=1.3 弟子屈町弟子屈※=1.3 釧路市幸町=1.3 釧路市阿寒町阿寒湖温泉※=1.3 栗山町松風※=1.3 新篠津村第4 7線※=1.3 根室市厚床※=1.3 鶴居村鶴居東※=1.2 札幌南区石山※=1.2 渡島森町砂原※=1.2 札幌手稲区前田※=1.2 札幌豊平区月寒東※=1.2 白老町緑丘※=1.2 日高地方日高町日高※=1.2 平取町本町※=1.2 上士幌町清水谷※=1.1 上士幌町上士幌※=1.1 小樽市花園町※=1.1 札幌中央区北2条=1.1 石狩市聚富=1.1 月形町円山公園※=1.1 当別町白樺※=1.0 岩見沢市5条=1.0 南富良野町役場※=1.0 占冠村中央※=1.0 厚岸町真栄※=1.0 登別市鉾山=1.0 由仁町新光※=1.0 余市町朝日町=0.9 石狩市花川=0.9 札幌西区琴似※=0.9 岩見沢市鳩が丘※=0.9 北見市留辺蘂町温根湯温泉=0.9 北見市留辺蘂町栄町※=0.9 置戸町拓殖※=0.9 胆振伊達市梅本=0.9 美唄市西3条※=0.9 函館市尾札幌部町=0.9 厚岸町尾幌=0.9 美幌町東3条=0.8 渡島森町上台町※=0.8 岩見沢市北村赤川※=0.8 平取町仁世宇=0.8 標茶町川上※=0.8 弟子屈町美里=0.8 中標津町養老牛=0.8 滝川市新町※=0.8 恵庭市漁平=0.8 根室市落石東※=0.8 札幌中央区南4条※=0.7 渡島森町御幸町=0.7 赤井川村赤井川※=0.7 倶知安町北4条※=0.7 札幌南区川沿※=0.7 七飯町桜町=0.7 七飯町本町※=0.7 積丹町美国町※=0.6 増毛町岩尾※=0.6 壮瞥町滝之町※=0.6 函館市美原=0.6 滝川市大町=0.6 石狩市厚田※=0.6 陸別町陸別※=0.6 根室市瑤瑤瑤※=0.6 夕張市若菜=0.5 石狩市浜益※=0.5 富良野市若松町=0.5 長万部町平里※=0.5 2 東通村砂子又沢内※=2.1 階上町道仏※=2.0 むつ市大畑町中島※=2.0 八戸市南郷※=1.8 青森南部町苫米地※=1.5 東通村砂子又蒲谷地=1.5 1 野辺地町野辺地※=1.3 七戸町森ノ上※=1.3 五戸町古館=1.3 青森南部町平※=1.3 むつ市金曲=1.3 八戸市湊町=1.2 三沢市桜町※=1.2 東北町上北南※=1.2 おいらせ町中下田※=1.2 五戸町倉石中市※=1.1 平内町小湊=1.1 外ヶ浜町蟹田※=1.1 六ヶ所村尾駈=1.0 八戸市内丸※=1.0 七戸町七戸※=0.9 六戸町犬落瀬※=0.9 おいらせ町上明堂※=0.9 東北町塔ノ沢山※=0.8 青森南部町沖田面※=0.8 むつ市川内町※=0.8 横浜町林ノ脇※=0.8 横浜町寺下※=0.7 十和田市西十二番町※=0.7 三戸町在府小路町※=0.7 青森市浪岡※=0.6 十和田市西二番町※=0.6 大間町大間※=0.6 風間浦村易国間※=0.6 東通村白糠※=0.5 佐井村長後※=0.5 青森市花園=0.5 五所川原市金木町※=0.5 むつ市大畑町奥薬研=0.5 1 二戸市浄法寺町※=1.1 盛岡市薮川※=1.0 軽米町軽米※=1.0 久慈市枝成沢=0.9 宮古市田老※=0.6 八幡平市田頭※=0.6				
95	26 23 30	日高地方東部 北海道	42° 19.4' N	143° 03.5' E	51km	M: 4.4
		2 浦河町潮見=2.0 浦河町築地※=2.0 白老町竹浦=1.8 新ひだか町静内山手町=1.6 浦河町野深=1.6 新ひだか町静内御幸町※=1.5 安平町追分柏が丘※=1.5 新冠町北星町※=1.5 千歳市若草※=1.5 幕別町忠類錦町※=1.5 浦幌町桜町※=1.5 1 千歳市文笏湖温泉※=1.4 安平町早来北進※=1.4 むかわ町穂別※=1.3 平取町振内※=1.3 新ひだか町三石旭町※=1.3 鹿追町東町※=1.3 芽室町東2条※=1.3 更別村更別※=1.3 恵庭市京町※=1.2 日高地方日高町門別※=1.2 北広島市中の沢※=1.2 函館市新浜町※=1.2 室蘭市寿町※=1.2 厚真町鹿沼=1.2 江別市緑町※=1.2 十勝大樹町東本通※=1.2 函館市泊町※=1.1 千歳市北栄=1.1 胆振伊達市大滝区本町※=1.1 むかわ町松風※=1.1 厚真町京町※=1.0 様似町栄町※=1.0 三笠市幸町※=1.0 新得町2条※=1.0 札幌東区元町※=1.0 札幌北区太平※=1.0 登別市桜木町※=1.0 函館市川汲町※=1.0 札幌厚別区もみじ台※=0.9 新千歳空港=0.9 札幌白石区北郷※=0.9 苫小牧市末広町=0.8 十勝清水町南4条=0.8 中札内村東2条※=0.7 札幌北区篠路※=0.7 鹿部町宮浜※=0.7 小樽市勝納町=0.7 本別町向陽町※=0.7 帯広市東6条※=0.6 江別市高砂町=0.6 余市町浜中町※=0.6 新ひだか町静内御園=0.5 帯広市東4条=0.5 豊頃町茂岩本町※=0.5 広尾町白樺通=0.5 本別町北2丁目=0.5 胆振伊達市梅本=0.5 1 東通村砂子又沢内※=1.1 むつ市大畑町中島※=0.8				
96	27 00 33	茨城県沖 茨城県	36° 07.4' N	141° 00.7' E	46km	M: 4.2
		2 茨城鹿嶋市宮中※=1.9 東海村東海※=1.7 水戸市金町=1.7 笠間市石井※=1.7 ひたちなか市南神敷台※=1.6 大洗町磯浜町※=1.6 水戸市栗崎町※=1.5 1 潮来市堀之内=1.4 那珂市福田※=1.3 桜川市岩瀬※=1.3 石岡市柿岡=1.3 水戸市千波町※=1.2 神栖市溝口※=1.2 笠間市笠間※=1.2 茨城鹿嶋市鉢形=1.1 大子町池田※=1.1 常陸大宮市山方※=1.1 鉾田市汲上※=1.1 鉾田市造谷※=1.1 土浦市常名=1.1 日立市助川小学校※=1.1 行方市麻生※=1.0 小美玉市小川※=1.0 桜川市真壁※=1.0 桜川市羽田※=1.0 ひたちなか市東石川※=1.0 常陸大宮市野口※=1.0 笠間市中央※=1.0 那珂市瓜連※=1.0 稲敷市江戸崎甲※=1.0 稲敷市須賀津※=1.0 城里町石塚※=1.0 取手市寺田※=0.9 つくば市小荖※=0.9 神栖市波崎※=0.9 小美玉市上玉里※=0.9 行方市山田※=0.9 常陸大宮市北町※=0.9 潮来市辻※=0.9 小美玉市堅倉※=0.9 稲敷市結佐※=0.9 牛久市中央※=0.8 筑西市二本成※=0.8 かすみがうら市上土田※=0.8 つくば市研究学園※=0.8 石岡市若宮※=0.8 稲敷市伊佐津※=0.8 高萩市安良川※=0.8 かすみがうら市大和田※=0.7 石岡市石岡※=0.7 鉾田市鉾田=0.7 常陸大宮市高部※=0.7 茨城町小堤※=0.7 城里町阿波山※=0.7 筑西市門井※=0.7 美浦村受領※=0.7 ひたちなか市山ノ上町=0.6 つくば市天王台※=0.6 土浦市藤沢※=0.6 笠間市下郷※=0.6 下妻市本城町※=0.6 常陸大宮市中富町=0.5 日立市役所※=0.5 高萩市本町※=0.5 2 香取市役所※=1.9 香取市仁良※=1.7 香取市佐原平田=1.6 1 旭市南堀之内※=1.4 香取市佐原諏訪台※=1.3 銚子市小畑新町=1.1 香取市羽根川※=1.1 野田市鶴奉※=1.0 成田市松子※=1.0 多古町多古=0.9 旭市萩園※=0.8 神崎町神崎本宿※=0.8 旭市二※=0.7 香取市岩部※=0.7 成田市名古屋=0.7 銚子市川口町=0.5 1 玉川村小高※=1.1 白河市東※=1.1 浅川町浅川※=0.6 矢祭町戸塚※=0.6 白河市新白河※=0.6 棚倉町棚倉中居野=0.5 須賀川市八幡山※=0.5 天栄村下松本※=0.5 1 益子町益子=1.3 壬生町壬生甲※=1.0 下野市笹原※=0.8 小山市神鳥谷※=0.7 真岡市田町※=0.6 栃木那珂川町小川※=0.6 真岡市石島※=0.5				

令和7年5月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
97	27 13 55	石川県西方沖 石川県 1 志賀町香能※=0.7	36° 57.3' N	136° 24.4' E	12km	M: 2.9
98	27 21 23	青森県東方沖 青森県 2 東通村砂子又沢内※=1.6 1 階上町道仏※=1.4 東通村砂子又蒲谷地=1.1 六ヶ所村尾駈=0.6 八戸市湊町=0.6 八戸市南郷※=0.6 野辺地町野辺地※=0.5 むつ市金曲=0.5 北海道 1 函館市泊町※=0.6 岩手県 1 久慈市枝成沢=0.8	41° 33.8' N	142° 06.4' E	54km	M: 4.2
99	28 09 31	千葉県東方沖 千葉県 1 銚子市小畑新町=0.5	35° 48.6' N	140° 53.9' E	12km	M: 3.3
100	28 12 13	福島県会津 福島県 1 檜枝岐村上河原※=1.2	36° 58.4' N	139° 23.2' E	4km	M: 1.9
101	28 15 49	福島県沖 福島県 1 田村市船引町=0.7 白河市新白河※=0.5 川内村下川内=0.5 茨城県 1 日立市助川小学校※=0.7 笠間市石井※=0.5 栃木県 1 栃木那珂川町小川※=0.8 宇都宮市中里町※=0.5 壬生町壬生甲※=0.5	37° 01.1' N	140° 59.4' E	92km	M: 3.6
102	28 19 52	奄美大島近海 鹿児島県 1 瀬戸内町西古見=1.1 奄美市名瀬矢之脇町=1.1 大和村思勝※=1.0 奄美市住用町西仲間※=0.9 奄美市笠利町里※=0.8 奄美市名瀬幸町※=0.7 宇検村湯湾※=0.5 瀬戸内町加計呂麻島※=0.5	28° 14.2' N	129° 28.6' E	34km	M: 3.5
103	29 03 27	福島県会津 福島県 1 檜枝岐村上河原※=0.7	37° 01.5' N	139° 22.8' E	8km	M: 2.0
104	29 05 33	福島県会津 福島県 1 檜枝岐村上河原※=0.6	37° 03.8' N	139° 23.9' E	8km	M: 1.9
105	29 06 15	福島県沖 福島県 1 白河市新白河※=0.8 川内村下川内=0.6 茨城県 1 北茨城市磯原町※=0.6	37° 04.7' N	141° 11.4' E	50km	M: 3.7
106	29 14 26	茨城県北部 茨城県 1 笠間市石井※=1.0 ひたちなか市東石川※=0.9 水戸市千波町※=0.7 常陸大宮市野口※=0.7 城里町石塚※=0.7 常陸大宮市山方※=0.6 日立市助川小学校※=0.5 水戸市金町=0.5 桜川市真壁※=0.5	36° 29.0' N	140° 31.4' E	58km	M: 3.2
107 (注)	29 15 28 29 15 29	岐阜県飛騨地方 岐阜県飛騨地方 岐阜県 4 高山市消防署※=3.7 高山市朝日町※=3.5 3 高山市丹生川町坊方※=3.3 高山市国府町※=3.3 高山市久々野町※=3.3 高山市桐生町=3.2 飛騨市古川町※=3.1 高山市一之宮町※=3.0 高山市上宝町本郷※=2.9 高山市高根町※=2.8 下呂市小坂町※=2.8 高山市清見町※=2.7 高山市荘川町※=2.5 郡上市高鷲町※=2.5 2 高山市奥飛騨温泉郷栃尾※=2.4 飛騨市宮川町※=2.4 下呂市萩原町※=2.4 中津川市加子母※=2.4 飛騨市河合町元田※=2.3 飛騨市神岡町東町※=2.3 飛騨市河合町角川※=2.2 下呂市下呂小学校※=2.1 下呂市馬瀬※=2.0 中津川市付知町※=2.0 飛騨市神岡町殿=1.9 高山市丹生川町森部=1.9 中津川市山口※=1.8 郡上市大和町※=1.8 下呂市森=1.7 白川村鳩谷※=1.7 郡上市八幡町島谷=1.6 中津川市本町※=1.6 中津川市川上※=1.5 郡上市明宝※=1.5 郡上市白鳥町白鳥※=1.5 中津川市坂下※=1.5 1 中津川市かやの木町=1.4 郡上市八幡町旭※=1.4 恵那市長島町※=1.3 岐南町八剣※=1.3 恵那市上矢作町※=1.2 恵那市長島小学校※=1.2 郡上市白鳥町長滝※=1.1 中津川市福岡※=1.1 瑞穂市別府※=1.1 下呂市金山町※=1.0 中津川市小栗山※=1.0 恵那市山岡町※=0.9 川辺町中川辺※=0.9 関市若草通り※=0.9 郡上市和良町※=0.9 岐阜市加納二之丸=0.8 岐阜市柳津町※=0.8 大垣市墨俣町※=0.8 笠松町司町※=0.8 岐阜山県市大門※=0.8 土岐市泉町※=0.7 土岐市肥田※=0.7 八百津町八百津※=0.7 多治見市笠原町※=0.7 美濃市役所※=0.7 羽島市竹鼻町※=0.7 中津川市蛭川※=0.7 瑞浪市上平町※=0.7 輪之内町四郷※=0.6 瑞穂市宮田※=0.6 郡上市美並町※=0.6 関市板取※=0.6 関市武芸川町※=0.6 関市洞戸市場※=0.6 各務原市那加桜町※=0.6 富加町滝田※=0.6 揖斐川町東津汲※=0.5 大野町大野※=0.5 岐阜山県市高富※=0.5 可児市広見※=0.5 海津市平田町※=0.5 富山県 2 南砺市下梨※=1.7 立山町吉峰=1.5 富山市石坂=1.5 富山市今泉※=1.5 1 舟橋村仏生寺※=1.3 上市町稗田※=1.3 南砺市利賀村上百瀬※=1.3 南砺市城端※=1.3 射水市二口※=1.3 南砺市上平細島※=1.2 射水市小島※=1.2 富山市新桜町※=1.2 富山市山田湯※=1.1 富山市婦中町笹倉※=1.0 富山市八尾町福島=1.0 滑川市寺家町※=0.9 高岡市広小路※=0.9 氷見市加納※=0.9 富山市花崎※=0.9 射水市加茂中部※=0.9 射水市橋下条※=0.8 小矢部市泉町=0.8 南砺市天池=0.7 射水市本町※=0.7 立山町米沢※=0.7 南砺市蛇喰※=0.7 立山町芦峯寺※=0.6 南砺市荒木※=0.6 富山市上二杉※=0.5 高岡市福岡町※=0.5 石川県 2 七尾市能登島向田町※=1.5 輪島市門前町走出※=1.5 1 輪島市鳳至町=1.4 志賀町富来領家町=1.1 七尾市本府中町=0.9 金沢市弥生※=0.7 穴水町大町※=0.7 能美市寺井町※=0.6 金沢市西念=0.6 羽咋市旭町※=0.5 小松市小馬出町=0.5 内灘町大学※=0.5 長野県 2 木曽町開田高原西野※=2.1 王滝村鈴ヶ沢※=2.1 松本市奈川※=2.0 王滝村役場※=1.6 木曽町三岳※=1.6 根羽村役場※=1.5	36° 03.8' N 36° 03.6' N	137° 17.0' E 137° 17.1' E	12km 13km	M: 4.5 M: 4.5

令和7年5月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
		愛知県 1 山形村役場*=1.4 長野高森町下市田*=1.4 南木曽町読書小学校*=1.4 木曽町新開*=1.3 塩尻市楡川保育園*=1.3 平谷村役場*=1.3 上松町役場*=1.2 南木曽町役場*=1.2 飯田市高羽町=1.2 飯田市上郷黒田*=1.1 木曽町日義*=1.0 木曽町福島*=1.0 下條村睦沢*=1.0 売木村役場*=1.0 茅野市葛井公園*=0.9 朝日村役場*=0.9 大桑村長野*=0.9 飯田市南信濃*=0.8 泰阜村役場*=0.8 諏訪市湖岸通り=0.7 塩尻市木曽平沢*=0.7 天龍村平岡*=0.6 大鹿村大河原*=0.5 2 新城市作手高里松風呂*=1.7 豊田市長興寺*=1.7 豊田市小坂町*=1.5 1 名古屋瑞穂区塩入町*=1.4 岡崎市若宮町=1.4 安城市横山町*=1.4 新城市作手清岳=1.3 安城市和泉町*=1.3 西尾市矢曾根町*=1.3 東海市加木屋町*=1.3 大府市中央町*=1.3 知立市弘法*=1.3 刈谷市寿町*=1.2 豊田市小坂本町=1.1 豊田市大沼町*=1.1 豊田市保見町*=1.1 新城市作手高里縄手上*=1.1 豊根村富山*=1.1 高浜市稗田町*=1.1 豊明市沓掛町*=1.1 東郷町春木*=1.1 幸田町菱池*=1.1 あま市木田*=1.1 名古屋港区金城ふ頭*=1.1 西尾市一色町=1.0 稲沢市平和町*=1.0 名古屋北区萩野通*=1.0 名古屋守山区下志段味*=1.0 愛知みよし市三好町*=1.0 豊田市駒場町*=1.0 豊橋市向山=0.9 常滑市飛香台=0.9 名古屋港区春田野*=0.9 日進市蟹甲町*=0.9 阿久比町卯坂*=0.9 名古屋天白区島田*=0.9 長久手市岩作城の内*=0.9 名古屋緑区有松町*=0.8 名古屋名東区名東本町*=0.8 一宮市千秋=0.8 飛島村竹之郷*=0.8 一宮市緑*=0.8 瀬戸市追分町*=0.8 愛西市江西町*=0.8 愛西市諏訪町*=0.8 北名古屋市井瀬木*=0.8 設楽町田口*=0.8 名古屋東区筒井*=0.8 名古屋熱田区一番*=0.8 豊山町豊場*=0.7 蟹江町蟹江本町*=0.7 東浦町緒川*=0.7 武豊町長尾山*=0.7 半田市東洋町*=0.7 碧南市松本町*=0.7 清須市春日振形*=0.7 豊田市足助町*=0.7 名古屋西区八筋町*=0.7 名古屋中村区大宮町*=0.7 西尾市西幡豆町*=0.7 西尾市吉良町*=0.7 小牧市安田町*=0.7 尾張旭市東大道町*=0.7 愛西市石田町*=0.6 豊田市小原町*=0.6 弥富市前ヶ須町*=0.6 名古屋中区県庁*=0.6 名古屋昭和区阿由知通*=0.6 名古屋港区善進本町*=0.6 稲沢市稲府町*=0.6 稲沢市祖父江町*=0.6 岩倉市川井町*=0.6 一宮市木曽川町*=0.6 豊川市一宮町*=0.6 愛知津島市埋田町*=0.6 豊根村下黒川*=0.6 名古屋千種区日和町=0.6 春日井市鳥居松町*=0.5 豊田市大洞町=0.5 名古屋中川区東春田*=0.5 蒲郡市御幸町*=0.5 蒲郡市水竹町*=0.5 豊田市小渡町*=0.5 新城市東入船*=0.5 福井県 1 大野市貝皿*=1.4 福井若狭町中央*=1.4 越前町西田中*=1.0 小浜市四谷町*=1.0 越前市粟田部*=0.8 福井市豊島=0.8 高浜町宮崎=0.8 勝山市旭町=0.7 福井市原目町*=0.6 福井美浜町郷市*=0.6 福井若狭町市場*=0.6 越前町織田*=0.5 敦賀市松栄町=0.5 大野市天神町*=0.5 山梨県 1 山梨北杜市長坂町*=0.9 富士川町鯨沢*=0.7 静岡県 1 浜松天竜区佐久間町*=1.4 袋井市浅名*=1.3 磐田市福田*=0.9 浜松浜名区三ヶ日町=0.6 浜松天竜区二俣町鹿島*=0.6 三重県 1 三重朝日町小向*=1.3 鈴鹿市西条=1.1 鈴鹿市神戸*=1.1 桑名市中央町*=0.9 東員町山田*=0.9 いなべ市員弁町笠田新田*=0.9 四日市市諏訪町*=0.8 桑名市多度町多度*=0.8 木曽岬町西対海地*=0.8 亀山市本丸町*=0.8 四日市市楠町北五味塚*=0.7 桑名市長島町松ヶ島*=0.7 川越町豊田一色*=0.7 四日市市新浜町*=0.6 津市安濃町東観音寺*=0.6 四日市市日永=0.5 滋賀県 1 高島市勝野*=1.2 彦根市城町=0.9 甲賀市信楽町*=0.9 長浜市余呉町中之郷*=0.8 滋賀日野町河原*=0.7 豊郷町石畑*=0.6 高島市朽木市場*=0.6 近江八幡市桜宮町=0.6 竜王町小口*=0.6 東近江市市子川原町*=0.6 長浜市湖北町速水*=0.5 近江八幡市出町*=0.5 京都府 1 京都伏見区醍醐*=0.7 宇治市折居台*=0.7 宇治市宇治琵琶=0.6 城陽市寺田*=0.6 八幡市八幡*=0.6 久御山町田井*=0.6 宇治田原町立川*=0.6 与謝野町加悦*=0.5 京都東山区清水*=0.5 大阪府 1 島本町若山台*=0.7 能勢町森上*=0.5 兵庫県 1 丹波市山南町*=0.7 丹波市春日町*=0.6				
108	29 16 21	岐阜県飛騨地方 岐阜県 2 高山市上宝町本郷*=1.8 高山市一之宮町*=1.7 高山市久々野町*=1.7 高山市国府町*=1.6 高山市消防署*=1.5 飛騨市古川町*=1.5 1 中津川市加子母*=1.4 飛騨市河合町元田*=1.3 下呂市馬瀬*=1.2 高山市清見町*=1.2 高山市荘川町*=1.1 下呂市小坂町*=1.1 中津川市付知町*=1.1 高山市桐生町=1.0 下呂市萩原町*=1.0 高山市丹生川町坊方*=1.0 飛騨市神岡町東町*=0.9 飛騨市河合町角川*=0.9 飛騨市宮川町*=0.8 下呂市下呂小学校*=0.8 高山市高根町*=0.8 郡上市明宝*=0.8 白川村鳩谷*=0.7 郡上市高鷲町*=0.7 郡上市八幡町旭*=0.6 中津川市川上*=0.6 中津川市福岡*=0.6 恵那市上矢作町*=0.5 高山市朝日町*=0.5 下呂市金山町*=0.5 下呂市森=0.5 福井県 1 大野市貝皿*=0.5 長野県 1 王滝村鈴ヶ沢*=1.2 木曽町開田高原西野*=1.0 木曽町三岳*=0.9 南木曽町読書小学校*=0.8 王滝村役場*=0.7 根羽村役場*=0.7 愛知県 1 豊田市小坂町*=0.5	36° 03.6′ N	137° 17.2′ E	12km	M: 3.7
109	29 21 01	岐阜県飛騨地方 岐阜県 2 高山市高根町*=2.1 高山市朝日町*=1.7 1 高山市消防署*=1.4 高山市丹生川町坊方*=1.4 高山市国府町*=1.1 高山市桐生町=1.0 飛騨市古川町*=1.0 高山市久々野町*=0.9 高山市上宝町本郷*=0.8 高山市清見町*=0.7 下呂市小坂町*=0.7 飛騨市神岡町東町*=0.6	36° 03.7′ N	137° 17.4′ E	12km	M: 3.2
110	29 21 16	岐阜県飛騨地方 岐阜県 1 高山市高根町*=1.0 飛騨市古川町*=1.0 飛騨市河合町元田*=0.9 高山市消防署*=0.9 高山市上宝町本郷*=0.7 高山市清見町*=0.7 高山市朝日町*=0.7 飛騨市河合町角川*=0.7 高山市国府町*=0.6 高山市一之宮町*=0.5	36° 03.7′ N	137° 17.4′ E	12km	M: 3.1
111	30 07 23	北海道東方沖 北海道 3 根室市落石東*=2.8 2 別海町常盤=2.3 根室市瑤瑤瑠*=2.2 中標津町丸山*=2.1 標津町北2条*=2.1 別海町本別海*=2.0	43° 42.8′ N	147° 11.5′ E	0km	M: 5.5

令和7年5月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
		標茶町塘路＊=1.9 根室市厚床＊=1.7 清里町羽衣町＊=1.7 浦幌町桜町＊=1.6 根室市牧の内＊=1.6 羅臼町岬町＊=1.5 白糠町西1条＊=1.5 1 釧路市阿寒町中央＊=1.4 浜中町茶内＊=1.4 根室市弥栄＊=1.4 釧路町別保＊=1.3 函館市新浜町＊=1.3 釧路市音別町中園＊=1.3 釧路市幸町=1.2 鶴居村鶴居東＊=1.2 羅臼町緑町＊=1.2 厚岸町真栄＊=1.2 標茶町川上＊=1.1 弟子屈町弟子屈＊=1.1 様似町栄町＊=1.0 厚岸町尾幌=1.0 十勝清水町南4条=1.0 斜里町本町=1.0 新ひだか町静内山手町=0.9 白老町竹浦=0.9 むかわ町松風＊=0.9 弟子屈町サワレンチサップ＊=0.8 根室市豊里=0.8 浦河町潮見=0.7 弟子屈町美里=0.7 浜中町湯沸=0.7 中標津町養老牛=0.7 標津町古多糠=0.7 本別町北2丁目=0.6 羅臼町春日=0.5 1 八戸市南郷＊=0.9 青森南部町苔米地＊=0.6 東北町上北南＊=0.5 1 盛岡市薮川＊=0.9				
112	31 01 47	青森県 岩手県 宮城県	38° 53.4' N	141° 58.2' E	49km	M: 3.5
		1 大船渡市猪川町=0.8 一関市千厩町＊=0.7 一関市室根町＊=0.6 釜石市中妻町＊=0.5 1 気仙沼市笹が陣＊=0.9 登米市東和町＊=0.6				
113	31 04 22	青森県 北海道 青森県	41° 34.8' N	142° 06.2' E	54km	M: 3.8
		1 函館市泊町＊=0.7 1 東通村砂子又沢内＊=1.4 東通村砂子又蒲谷地=0.6				
114	31 05 02	能登半島沖 石川県	37° 06.2' N	136° 36.8' E	9km	M: 3.0
		3 志賀町香能＊=2.7				
115 (注)	31 17 37 31 17 39	釧路沖 釧路沖 北海道	42° 19.6' N 42° 18.2' N	144° 27.1' E 144° 26.4' E	20km 12km	M: 6.0 M: 5.0
		4 浦幌町桜町＊=3.7 えりも町目黒＊=3.6 釧路市黒金町＊=3.6 釧路町別保＊=3.6 標茶町塘路＊=3.6 標津町北2条＊=3.5 3 新冠町北星町＊=3.4 十勝大樹町生花＊=3.4 釧路市阿寒町中央＊=3.4 釧路市音別町中園＊=3.4 厚岸町真栄＊=3.4 広尾町並木通=3.3 弟子屈町弟子屈＊=3.3 釧路市幸町=3.3 新得町2条＊=3.2 十勝大樹町東本通＊=3.2 鹿追町東町＊=3.2 浜中町茶内＊=3.2 白糠町西1条＊=3.2 厚岸町尾幌=3.1 十勝池田町西1条＊=3.1 根室市厚床＊=3.1 根室市落石東＊=3.1 鶴居村鶴居東＊=3.0 幕別町本町＊=3.0 別海町西春別＊=3.0 広尾町白樺通=3.0 浦河町潮見=3.0 浜中町湯沸=2.9 別海町本別海＊=2.9 清里町羽衣町＊=2.9 別海町常盤=2.9 更別村更別＊=2.8 帯広市東4条=2.8 新ひだか町静内山手町=2.8 様似町栄町＊=2.8 豊頃町茂岩本町＊=2.8 幕別町忠類錦町＊=2.7 中標津町丸山＊=2.7 新ひだか町静内御幸町＊=2.7 安平町早来北進＊=2.7 むかわ町松風＊=2.7 帯広市東6条＊=2.7 十勝清水町南4条=2.7 中札内村東2条＊=2.6 標津町古多糠=2.6 弟子屈町美里=2.6 音更町元町＊=2.6 浦河町築地＊=2.6 足寄町南1条＊=2.6 本別町向陽町＊=2.6 浦河町野深=2.5 新篠津村第47線＊=2.5 本別町北2丁目=2.5 えりも町えりも岬＊=2.5 根室市瑤瑤瑠＊=2.5 2 函館市新浜町＊=2.4 厚真町鹿沼=2.4 厚真町京町＊=2.4 足寄町上螺湾=2.4 芽室町東2条＊=2.4 釧路市阿寒町阿寒湖温泉＊=2.4 標茶町川上＊=2.4 美幌町東3条=2.3 幕別町忠類明和=2.3 弟子屈町サワレンチサップ＊=2.3 日高地方日高町門別＊=2.3 札幌東区元町＊=2.3 北見市留辺蘂町栄町＊=2.2 遠軽町丸瀬布金湧山=2.2 白老町竹浦=2.2 三笠市幸町＊=2.2 札幌清田区平岡＊=2.2 大空町東藻琴＊=2.2 中標津町養老牛=2.2 平取町振内＊=2.2 江別市緑町＊=2.1 斜里町本町=2.1 小清水町小清水＊=2.1 むかわ町穂別＊=2.1 札幌北区篠路＊=2.1 中富良野町本町＊=2.1 南富良野町役場＊=2.1 札幌北区新琴似＊=2.0 南幌町栄町＊=2.0 長沼町中央＊=2.0 大空町女満別西3条＊=2.0 新ひだか町静内御園=2.0 北見市留辺蘂町温根湯温泉=2.0 北見市常呂町常呂＊=2.0 札幌北区太平＊=2.0 訓子府町東町＊=2.0 函館市泊町＊=2.0 遠軽町生田原＊=2.0 湧別町栄町＊=2.0 羅臼町緑町＊=2.0 羅臼町岬町＊=2.0 根室市牧の内＊=2.0 網走市北2条＊=2.0 札幌白石区北郷＊=2.0 岩見沢市栗沢町東本町＊=1.9 札幌手稲区前田＊=1.9 平取町本町＊=1.9 千歳市支笏湖温泉＊=1.9 岩見沢市北村赤川＊=1.9 新ひだか町三石旭町＊=1.9 新ひだか町静内農屋＊=1.9 えりも町本町=1.9 上士幌町清水谷＊=1.9 北見市公園町=1.9 士幌町士幌＊=1.9 安平町追分柏が丘＊=1.9 千歳市若草＊=1.8 上士幌町上士幌＊=1.8 札幌厚別区もみじ台＊=1.8 陸別町陸別＊=1.8 当別町白樺＊=1.8 室蘭市寿町＊=1.8 津別町幸町＊=1.8 千歳市北栄=1.8 斜里町ウトロ香川＊=1.8 新千歳空港=1.8 栗山町松風＊=1.7 釧路町仲町＊=1.7 岩見沢市鳩が丘＊=1.7 洞爺湖町洞爺町＊=1.7 南富良野町幾寅=1.7 苫小牧市末広町=1.7 石狩市聚富=1.7 石狩市花畔＊=1.7 石狩市花川=1.7 赤井川村赤井川＊=1.7 倶知安町南1条=1.7 富良野市若松町=1.6 北見市常呂町東浜=1.6 根室市弥栄=1.6 岩見沢市5条=1.6 北広島市中の沢＊=1.6 砂川市西7条＊=1.6 新十津川町中央＊=1.6 美唄市西3条＊=1.6 胆振伊達市大滝区本町＊=1.5 北見市端野町二区＊=1.5 滝川市新町＊=1.5 置戸町拓殖＊=1.5 倶知安町北4条＊=1.5 白老町緑丘＊=1.5 猿払村浅茅野＊=1.5 月形町円山公園＊=1.5 1 石狩市厚田＊=1.4 札幌豊平区月寒東＊=1.4 渡島森町砂原＊=1.4 木古内町木古内＊=1.4 厚沢部町新町＊=1.4 小樽市勝納町=1.4 余市町浜中町＊=1.4 奈井江町奈井江＊=1.4 富良野市末広町＊=1.4 北見市南仲町＊=1.4 羅臼町春日=1.4 根室市豊里=1.4 占冠村中央＊=1.3 恵庭市京町＊=1.3 北見市留辺蘂町富士見＊=1.3 興部町興部＊=1.3 登別市桜木町＊=1.3 日高地方日高町日高＊=1.3 札幌中央区南4条＊=1.3 滝川市大町=1.3 札幌南区石山＊=1.3 江別市高砂町=1.3 上富良野町大町=1.3 遠軽町学田＊=1.2 ニセコ町中央通＊=1.2 鹿部町宮浜＊=1.2 札幌南区川沿＊=1.2 札幌中央区北2条=1.2 佐呂間町永代町＊=1.2 札幌西区琴似＊=1.1 長万部町平里＊=1.1 増毛町見晴町＊=1.1 網走市台町=1.1 恵庭市漁平=1.1 渡島森町御幸町=1.1 由仁町新光＊=1.1 美瑛町忠別＊=1.1 余市町朝日町=1.1 七飯町桜町=1.0 紋別市南が丘町=1.0 新得町トムラウシ＊=1.0 胆振伊達市梅本=1.0 函館市美原=0.9 平取町仁世宇=0.9 渡島森町上台町＊=0.9 函館市川汲町＊=0.9 美瑛町本町＊=0.9 岩内町清住＊=0.9 芦別市旭町=0.9 壮瞥町滝之町＊=0.8 紋別市北浜町＊=0.8 函館市尾札部町=0.8 七飯町本町＊=0.8 夕張市若菜=0.8 遠軽町白滝＊=0.7 和寒町西町＊=0.5 北竜町竜西=0.5 福島町福島＊=0.5				

令和7年5月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 緯度 経度 深さ 規模 各地の震度（計測震度）
		青森県 3 八戸市南郷＊=2.5 2 五戸町古館=2.1 東北町上北南＊=2.0 東通村砂子又沢内＊=2.0 野辺地町田狭沢＊=1.9 青森南部町平＊=1.9 野辺地町野辺地＊=1.8 七戸町森ノ上＊=1.8 五戸町倉石中市＊=1.8 青森南部町苫米地＊=1.8 むつ市大畑町中島＊=1.8 階上町道仏＊=1.7 おいらせ町中下田＊=1.7 むつ市金曲=1.7 外ヶ浜町蟹田＊=1.6 七戸町七戸＊=1.6 六戸町犬落瀬＊=1.6 八戸市湊町=1.5 八戸市内丸＊=1.5 おいらせ町上明堂＊=1.5 東通村砂子又蒲谷地=1.5 平内町小湊=1.5 1 むつ市金谷＊=1.4 三沢市桜町＊=1.3 青森市花園=1.2 青森市中央＊=1.2 青森市浪岡＊=1.2 藤崎町西豊田＊=1.2 十和田市西二番町＊=1.2 十和田市西十二番町＊=1.2 東北町塔ノ沢山＊=1.2 六ヶ所村尾駈=1.2 青森南部町沖田面＊=1.1 むつ市川内町＊=1.1 つがる市柏＊=1.1 つがる市稲垣町＊=1.1 つがる市木造＊=1.1 藤崎町水木＊=1.1 横浜町林ノ脇＊=1.0 横浜町寺下＊=1.0 つがる市車力町＊=1.0 三戸町在府小路町＊=1.0 蓬田村蓬田＊=1.0 板柳町板柳＊=1.0 大間町大間＊=1.0 中泊町中里＊=0.9 今別町今別＊=0.9 鶴岡町鶴岡＊=0.9 六ヶ所村出戸=0.9 田舎館村田舎館＊=0.8 五所川原市金木町＊=0.8 黒石市市ノ町＊=0.8 田子町田子＊=0.7 十和田市奥瀬＊=0.7 むつ市脇野沢＊=0.6 平内町東田沢＊=0.6 八戸市島守＊=0.5 五所川原市相内＊=0.5 東通村尻屋＊=0.5 風間浦村易国間＊=0.5 岩手県 2 盛岡市薮川＊=2.3 軽米町軽米＊=1.8 盛岡市渋民＊=1.6 二戸市浄法寺町＊=1.6 八幡平市田頭＊=1.5 滝沢市鶉飼＊=1.5 1 岩手町五日市＊=1.4 八幡平市野駄＊=1.3 矢巾町南矢幅＊=1.3 盛岡市山王町=1.2 一戸町高善寺＊=1.2 二戸市福岡=1.1 二戸市石切所＊=1.0 八幡平市大更=1.0 九戸村伊保内＊=1.0 一関市千厩町＊=1.0 久慈市枝成沢=0.9 釜石市中妻町＊=0.9 八幡平市叭田＊=0.9 宮古市区界＊=0.8 宮古市田老＊=0.8 岩手洋野町種市=0.8 遠野市青笹町＊=0.8 一関市室根町＊=0.7 奥州市水沢大鐘町=0.7 奥州市水沢佐倉河＊=0.7 大船渡市大船渡町=0.7 雫石町千刈田=0.7 葛巻町葛巻元木=0.7 花巻市石鳥谷町＊=0.7 宮古市五月町＊=0.6 住田町世田米＊=0.6 久慈市川崎町=0.5 北上市柳原町=0.5 大槌町上町＊=0.5 宮城県 1 石巻市桃生町＊=1.4 登米市迫町＊=1.2 宮城美里町木間塚＊=1.2 登米市登米町＊=1.1 登米市南方町＊=1.0 登米市米山町＊=1.0 大崎市田尻＊=1.0 石巻市大街道南＊=1.0 石巻市前谷地＊=1.0 登米市中田町=0.9 松島町高城=0.9 大崎市古川三日町=0.8 大崎市松山＊=0.8 岩沼市桜＊=0.8 石巻市相野谷＊=0.8 栗原市若柳＊=0.8 気仙沼市赤岩＊=0.7 気仙沼市笹が陣＊=0.7 東松島市矢本＊=0.7 色麻町四竈＊=0.6 栗原市栗駒=0.5 栗原市築館＊=0.5 秋田県 1 鹿角市花輪＊=0.6 福島県 1 田村市大越町＊=0.9 茨城県 1 笠間市石井＊=0.6 筑西市舟生=0.5 埼玉県 1 宮代町笠原＊=1.1 川島町下八ツ林＊=0.5
116	31 17 43	釧路沖 42° 19.8' N 144° 29.5' E 20km M: 4.1 北海道 1 十勝大樹町生花＊=0.8 標津町北2条＊=0.6
117	31 17 49	釧路沖 42° 18.8' N 144° 31.6' E 17km M: 4.6 北海道 1 十勝大樹町生花＊=1.0 標茶町塘路＊=0.9 釧路市幸町=0.7 標津町北2条＊=0.7 白糠町西1条＊=0.6
118	31 17 56	釧路沖 42° 20.0' N 144° 27.9' E 20km M: 4.1 北海道 1 標茶町塘路＊=0.5
119	31 20 15	四国沖 33° 30.5' N 134° 51.7' E 35km M: 3.8 徳島県 2 美波町西の地＊=1.6 1 阿南市山口町＊=1.4 阿南市富岡町=1.1 阿南市羽ノ浦町＊=0.9 牟岐町中村＊=0.8 徳島市津田町＊=0.7 那賀町和食＊=0.6 和歌山県 1 御坊市湯川＊=1.2 日高川町土生＊=1.1 御坊市藺=1.1 みなべ町芝＊=0.8 湯浅町青木＊=0.6 白浜町消防本部=0.5
120	31 20 37	釧路沖 42° 21.1' N 144° 33.9' E 20km M: 4.7 北海道 2 釧路市黒金町＊=2.1 標茶町塘路＊=1.8 白糠町西1条＊=1.5 標津町北2条＊=1.5 1 釧路市幸町=1.4 釧路町別保＊=1.4 浜中町茶内＊=1.4 浦幌町桜町＊=1.3 鶴居村鶴居東＊=1.2 弟子屈町弟子屈＊=1.1 釧路市阿寒町中央＊=1.1 釧路市音別町中園＊=1.1 厚岸町尾幌=1.0 厚岸町真栄＊=1.0 新得町2条＊=0.9 別海町常盤=0.8 本別町北2丁目=0.7 弟子屈町美里=0.6 根室市落石東＊=0.6 中標津町養老牛=0.5 標茶町川上＊=0.5 別海町本別海＊=0.5 浜中町湯沸=0.5
121	31 21 29	釧路沖 42° 19.0' N 144° 27.9' E 17km M: 4.7 北海道 1 釧路市音別町中園＊=1.2 標津町北2条＊=0.9 標茶町塘路＊=0.8 えりも町目黒＊=0.8 広尾町並木通=0.7 広尾町白樺通=0.6 白糠町西1条＊=0.6 幕別町本町＊=0.6 十勝大樹町東本通＊=0.5 釧路市幸町=0.5
122	31 23 47	釧路沖 42° 19.3' N 144° 32.6' E 17km M: 4.4 北海道 1 標茶町塘路＊=0.7

● 付録2. 過去1年間に震度1以上を観測した地震の最大震度別の月別回数
 <令和6年（2024年）6月～令和7年（2025年）5月>

	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	計	記事
令和6年（2024年）											
6月	96	43	14	3		1				157	3日 石川県能登地方（震度5強） 「令和6年能登半島地震」の地震活動 （6月中：震度5強：1回、震度4：1回、震度3：1回、震度2：5回、震度1：27回） トカラ列島近海（小宝島付近）の地震活動 （6月中：震度3：3回、震度2：4回、震度1：9回）
7月	89	25	15	4						133	「令和6年能登半島地震」の地震活動 （7月中：震度3：1回、震度2：3回、震度1：16回）
8月	106	28	10	2	2		1			149	8日 日向灘（震度6弱） （8月中：震度6弱：1回、震度3：3回、震度2：5回、震度1：16回） 9日 神奈川県西部（震度5弱） 19日 茨城県北部（震度5弱） 「令和6年能登半島地震」の地震活動 （8月中：震度3：1回、震度2：4回、震度1：13回）
9月	98	30	6	3						137	「令和6年能登半島地震」の地震活動 （9月中：震度2：4回、震度1：14回）
10月	98	34	11							143	「令和6年能登半島地震」の地震活動 （10月中：震度2：6回、震度1：8回） 和歌山県北部の地震活動 （10月中：震度3：1回、震度2：4回、震度1：7回）
11月	172	72	18	3	1					266	26日 石川県西方沖（震度5弱） 「令和6年能登半島地震」の地震活動 （11月中：震度5弱：1回、震度4：1回、震度3：5回、震度2：41回、震度1：88回）
12月	102	37	9	2						150	「令和6年能登半島地震」の地震活動 （12月中：震度3：1回、震度2：12回、震度1：24回）
令和7年（2025年）											
1月	136	60	15	2	2					215	13日 日向灘（震度5弱） （1月中：震度5弱：1回、震度4：1回、震度3：1回、震度2：7回、震度1：6回） 23日 福島県会津（震度5弱） （1月中：震度5弱：1回、震度4：1回、震度3：6回、震度2：24回、震度1：53回） 「令和6年能登半島地震」の地震活動 （1月中：震度3：2回、震度2：2回、震度1：8回）
2月	91	34	10	1						136	「令和6年能登半島地震」の地震活動 （2月中：震度3：2回、震度2：5回、震度1：18回）
3月	86	39	9	3						137	「令和6年能登半島地震」の地震活動 （3月中：震度4：1回、震度3：1回、震度2：3回、震度1：7回） 奄美大島北東沖の地震活動 （3月中：震度4：1回、震度3：1回、震度2：4回、震度1：6回）
4月	133	45	13	4	1					196	「令和6年能登半島地震」の地震活動 （4月中：震度2：2回、震度1：10回） 大分県中部の地震活動 （4月中：震度3：1回、震度2：4回、震度1：8回） 18日 長野県北部の地震活動（震度5弱） （4月中：震度5弱：1回、震度4：2回、震度3：3回、震度2：13回、震度1：46回）
5月	82	30	5	5	0					122	
2025年計	528	208	52	15	3	0	0	0	0	806	
過去1年計	1289	477	135	32	6	1	1	0	0	1941	（令和6年6月～令和7年5月）

注）「記事」の欄には主に震度5弱以上を観測した地震、または震度1以上を10回以上観測した地震活動について記載した。

● 付録3. 日本及びその周辺におけるマグニチュード（M）別の月別地震回数
 ＜令和6年（2024年）6月～令和7年（2025年）5月＞

	M3.0 ～ M3.9	M4.0 ～ M4.9	M5.0 ～ M5.9	M6.0 ～ M6.9	M7.0 以上	計 M3.0 以上	計 M4.0 以上	記事
令和6年（2024年）								
6月	318	84	9	1		412	94	3日 石川県能登地方（M6.0）
7月	356	89	15	1		461	105	8日 小笠原諸島西方沖（M6.4）
8月	397	82	6	2	1	488	91	8日 日向灘（M7.1） 10日 オホーツク海南部（M6.7） 16日 台湾付近（M6.1）
9月※	329	79	12			420	91	
10月	331	77	5			413	82	
11月	549	166	31	3		749	200	7日 硫黄島近海（M6.3） 11日 マリアナ諸島（M6.0） 26日 石川県西方沖（M6.6）
12月	458	92	4	3		557	99	8日 千島列島（M6.1） 27日06時02分 鳥島近海（M6.2） 27日21時47分 千島列島（M6.8）
令和7年（2025年）								
1月	458	113	21	2		594	136	13日 日向灘（M6.6） 21日 台湾付近（M6.1）
2月	328	71	11			410	82	
3月	361	71	9			441	80	
4月	348	82	8	1		439	91	2日 大隅半島東方沖（M6.1）
5月	345	81	9	2		437	92	5日 台湾付近（M6.0） 31日 釧路沖（M6.0）
2025年計	1840	418	58	5	0	2321	481	
過去1年計	4578	1087	140	15	1	5821	1243	（令和6年6月～令和7年5月）

※ 2024年9月中の回数には、9月24日の鳥島近海の地震（M5.8）を含む。この地震は震源決定精度がやや劣るものである。

注）日本及びその周辺：原則、北緯20～49度、東経120～154度の範囲。「記事」の欄には主にM6.0以上の地震を記載した。

● 付録4. 長周期地震動階級1以上を観測した地震

令和7年5月に長周期地震動階級※1以上を観測した地震はなかった。

平成25年3月～令和7年5月に長周期地震動階級1以上を観測した地震の月別回数

年 \ 月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
平成25年 (2013年)			1	4	1	0	0	1	1	1	1	1	11
平成26年 (2014年)	0	1	1	0	1	1	3	0	1	1	1	0	10
平成27年 (2015年)	0	3	0	1	2	0	2	0	0	0	1	0	9
平成28年 (2016年)	1	0	0	13	1	1	0	2	0	2	4	1	25
平成29年 (2017年)	1	2	0	0	0	1	2	0	1	1	0	1	9
平成30年 (2018年)	1	0	1	1	1	2	2	0	2	2	0	0	12
平成31年 /令和元年 (2019年)	1	1	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	6
令和2年 (2020年)	1	1	1	1	0	2	0	0	2	0	1	2	11
令和3年 (2021年)	0	1	1	0	2	0	0	0	1	1	0	0	6
令和4年 (2022年)	2	0	3	0	1	1	0	0	0	1	0	0	8
令和5年 (2023年)	0	1	1	0	5	1	0	1	2	0	0	0	11
令和6年 (2024年)	15	0	1	4	0	1	0	1	0	0	1	0	23
令和7年 (2025年)	1	0	1	1	0								3

長周期地震動階級関連解説表

	長周期地震動階級	人の体感・行動	室内の状況	備考
	長周期地震動階級1	室内にいたほとんどの人が揺れを感じる。驚く人もいる。	ブラインドなど吊り下げもの大きく揺れる。	—
	長周期地震動階級2	室内で大きな揺れを感じ、物につかまりたいと感じる。物につかまらなと歩くことが難しいなど、行動に支障を感じる。	キャスター付き什器がわずかに動く。棚にある食器類、書棚の本が落ちることがある。	—
	長周期地震動階級3	立っていることが困難になる。	キャスター付き什器が大きく動く。固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。	間仕切壁などにひび割れ・亀裂が入ることがある。
	長周期地震動階級4	立っていることができず、はわないと動くことができない。揺れにほんろうされる。	キャスター付き什器が大きく動き、転倒するものがある。固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。	間仕切壁などにひび割れ・亀裂が多くなる。

※ 長周期地震動階級に関する詳細は、「地震・火山月報（防災編）」令和6年12月号の付録10「長周期地震動階級関連解説表」を参照のこと。

https://www.data.jma.go.jp/egev/data/gaikyo/monthly/202412/202412furoku_10.pdf

● 付録5. 緊急地震速報の提供状況

令和7年5月に緊急地震速報（警報）を発表した地震はなかった。また、緊急地震速報（予報）を発表した回数は54回であった。

平成19年10月～令和7年5月に発表した緊急地震速報の月別回数

年 \ 月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
平成19年 (2007年)										0(48)	0(33)	0(39)	0(120)
平成20年 (2008年)	0(35)	0(41)	0(48)	1(42)	1(70)	3(75)	2(63)	0(47)	1(58)	0(46)	1(40)	0(57)	9(622)
平成21年 (2009年)	0(44)	0(39)	0(34)	0(34)	0(24)	0(54)	0(36)	2(65)	0(47)	1(44)	0(39)	0(47)	3(507)
平成22年 (2010年)	0(53)	1(44)	1(50)	0(36)	0(27)	0(35)	0(47)	0(51)	1(40)	1(50)	0(40)	1(34)	5(507)
平成23年 (2011年)	0(50)	0(74)	45(1191)	26(770)	5(425)	5(304)	5(248)	3(239)	4(188)	1(163)	2(135)	1(136)	97(3923)
平成24年 (2012年)	2(149)	3(141)	3(142)	2(128)	1(129)	3(118)	0(102)	1(107)	0(70)	0(109)	0(77)	1(134)	16(1406)
平成25年 (2013年)	0(81)	2(99)	0(53)	3(103)	0(91)	0(83)	0(102)	2(97)	1(61)	0(80)	0(93)	1(67)	9(1010)
平成26年 (2014年)	0(70)	0(70)	1(68)	0(62)	0(53)	0(57)	2(97)	1(96)	1(68)	0(84)	1(87)	0(75)	6(887)
平成27年 (2015年)	0(67)	1(88)	0(90)	1(77)	3(71)	0(84)	1(74)	0(88)	0(81)	0(92)	1(86)	0(75)	7(973)
平成28年 (2016年)	1(76)	0(71)	0(65)	20(228)	1(101)	2(89)	0(95)	0(71)	1(80)	3(92)	2(124)	1(86)	31(1178)
平成29年 (2017年)	0(77)	0(72)	0(61)	0(60)	0(52)	1(55)	1(79)	1(73)	2(52)	1(53)	0(57)	1(77)	7(768)
平成30年 (2018年)	2(64)	0(61)	1(76)	2(80)	1(52)	2(70)	1(55)	0(58)	2(158)	4(97)	1(68)	0(69)	16(908)
平成31年 / 令和元年 (2019年)	1(66)	1(62)	0(63)	0(88)	1(64)	2(59)	0(59)	1(56)	0(50)	0(72)	0(56)	2(68)	8(763)
令和2年 (2020年)	1(60)	1(54)	1(60)	2(76)	4(74)	1(96)	2(59)	0(46)	1(67)	0(42)	1(43)	3(77)	17(754)
令和3年 (2021年)	0(62)	1(90)	1(75)	0(74)	1(79)	0(52)	0(80)	0(80)	1(60)	3(56)	2(60)	2(92)	11(860)
令和4年 (2022年)	2(81)	0(63)	6(150)	0(74)	2(83)	2(78)	0(49)	1(64)	0(68)	1(65)	1(66)	0(72)	15(913)
令和5年 (2023年)	1(59)	1(45)	0(56)	0(70)	12(155)	1(74)	0(49)	0(51)	1(82)	1(60)	0(61)	0(62)	17(824)
令和6年 (2024年)	20(376)	2(104)	2(82)	4(90)	0(54)	2(81)	0(68)	2(65)	0(62)	0(61)	1(109)	0(63)	33(1215)
令和7年 (2025年)	1(82)	0(54)	1(60)	1(71)	0(54)								3(321)

※ 表中の数字は緊急地震速報（警報）の発表回数、（ ）内の数字は緊急地震速報（予報）の発表回数を示す。

緊急地震速報（警報及び予報）の提供には、気象庁の地震計の観測データに加え、国立研究開発法人防災科学技術研究所の地震観測データを利用している。